

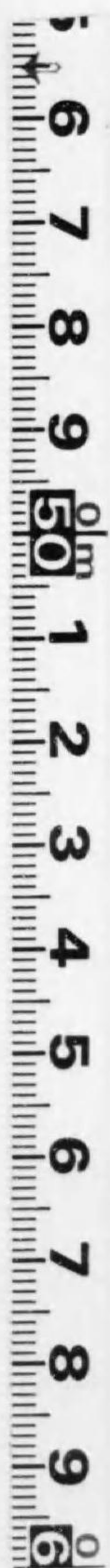
51Z

Z884

鐵道省運輸局編纂

米ニ關スル經濟調査

凸版印刷株式會社發行



始



512
2884



例言

一本冊子ハ曩ニ當局ニ於テ刊行シタル石炭及木炭ニ關スル經濟調査ノ姉妹編ナリ。

三本冊子ハ成ルベク各方面ニ配付シ一般ノ參考資料ニ供シタキモ經費等ノ都合上其ノ意ヲ得ザルハ洵ニ遺憾トスル所ナリ。依テモ今回之ヲ一般ニ販賣スルコトヲ東京市本所區番場町四番地凸版印刷株式會社本所分工場ニ認メタレバ、御所望ノ向ハ同社ニ申込マル、コトヲ望ム。

大正十四年八月

鐵道省運輸局

大正
14. 9. 4
内交

米ニ關スル經濟調査

目次

第一章 總說	一
第一節 種類	一
第二節 栽培法	一二
第三節 米穀審査	二三
第四節 荷造	二七
第五節 用途	三六
第二章 生産	四三
第一節 全國ヨリ觀タル狀勢	四三
第二節 内地	四三
第三節 朝鮮	七七
第四節 臺灣	八六

第五節	內地米生産増加策	一〇七
第六節	生産費	一一六
第三章 消費		
第一節	日本全國ヨリ觀タル米穀消費	一五五
第二節	內地	一五七
第三節	朝鮮	一九六
第四節	臺灣	一九八
第五節	樺太	二〇一
第六節	用途別消費量(内地)	二〇二
第七節	貿易	二二七
第一項	内地	二二七
第二項	朝鮮ニ於ケル貿易	二三五
第三項	臺灣ニ於ケル貿易	二三九
第四項	樺太ニ於ケル貿易	二四一
第五項	米穀關稅及移出入稅	二四二
第四章 運輸		
		二四三

第一節 陸運		
第一項	鐵道累年米輸送數量並運賃	二四三
第二項	米ノ鐵道貨物トシテノ地位	二四四
第三項	米ノ季節別輸送概況	二五三
第四項	米ノ主要發著驛別數量	二五五
第五項	主要都市到著米輸送方法別數量	二九三
第六項	關門間青函間航路輸送數量	四〇〇
第七項	米運賃沿革	四〇一
第八項	主要驛ニ於ケル米ノ積卸其ノ他ノ費用	四〇四
第二節 海運		
第一項	主要發著港別米數量	四五三
第二項	主要港灣ニ於ケル米ノ汽船賃及積卸其ノ他諸掛費	四五四
第五章 價格		
第一節	主要市場ニ於ケル銘柄及價格	五〇一
第二節	總物價ト米價格トノ比較	五四六
第三節	米價ト米平均輸送哩運賃比率	五四七

第四節	米價ト米ノ鐵道運賃比率	五四八
第五節	米價ト米ノ汽船運賃比率	五四九
第六節	米價ト米ノ鐵道及船舶運賃比率	五五〇
第六章 米穀取引		
第一節	總說	五五一
第二節	東京市ニ於ケル取引	五五二
第三節	大阪ニ於ケル正米ノ取引概況及其方法	五五八
第七章 米穀保管倉庫		
第一節	倉庫ノ業務	五六一
第二節	倉庫ノ種類	五六四
第一項	個人倉庫	五六五
第二項	農業倉庫	五六五
第三項	米券倉庫	五七五
附 錄		
	農業倉庫業法	一
	農業倉庫業法施行規則	三

四

	農業倉庫獎勵規則	五
	米穀法	七
	農會法	七
	農會法施行規則	一四
	農會補助金交付規則	一〇
	小作調停法	一〇

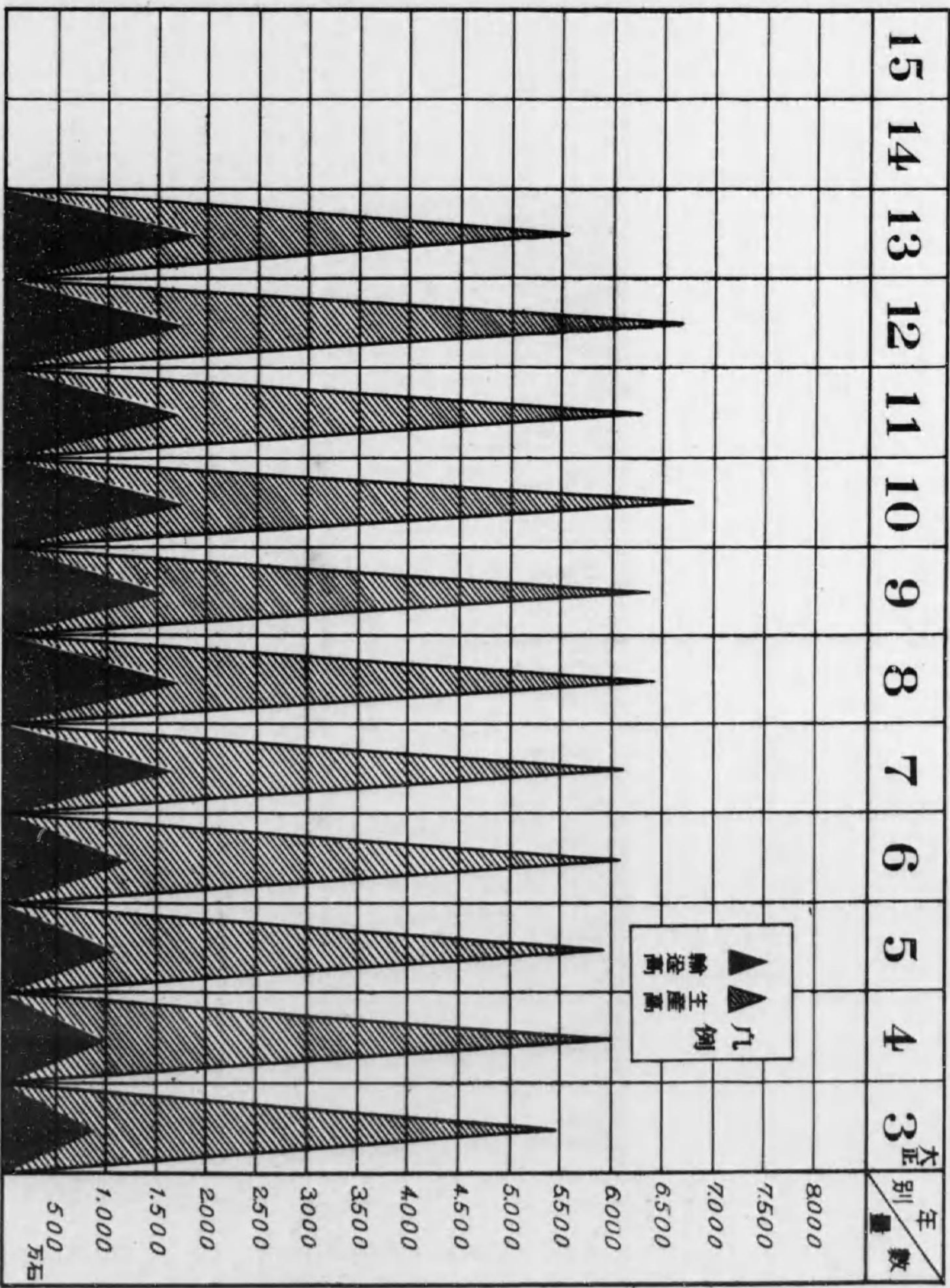
米ニ關スル經濟調査目次 終

五

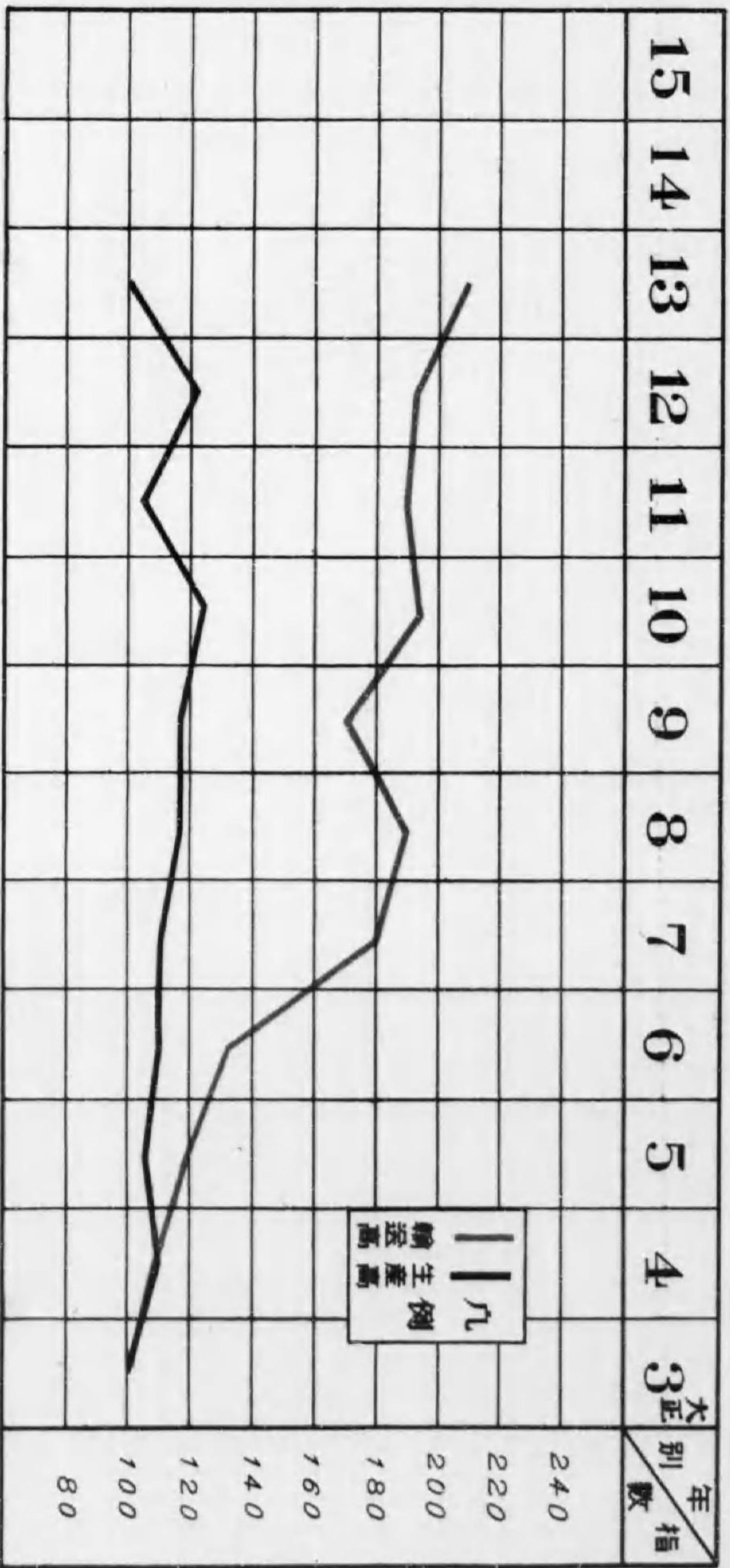
大正三年以来降米产生高及其及鐵道輸送高比較表

考備

- 一 本圖表ノ鐵道輸送數量中大正三年以降大正八年迄ノ數量ハ切扱ノミニテ大正九年以降大正十三年迄ノ數量ハ山口扱ヲ含ム
- 二 鐵道輸送數量中大正三年以降大正七年迄ハ會計年度大正八年以降ハ曆年ニ依ル
- 三 生産高ハ前年度産米ニ自年度内ニ於ケル輸移入米ヲ加算セリ 但シ大正十三年度ハ之ヲ加算セズ
- 四 一噸ハ石四斗トシ換算セリ



同増加比率比較



米ニ關スル經濟調査

第一章 總說

第一節 種類



現今本邦ニ於テ栽培セラル、稻ノ種類ハ其ノ數極メテ多ケレドモ、其ノ重ナルモノハ粳米（ウルチ米及糯米（モチ米）ナリ。

粳米

産額 本邦ニ産スル米ノ九割ハ粳米ニシテ、大正十三年ノ産額五千二百六萬石ニ及ベリ。

成分 粳米ハ大約七十五乃至七十八%ノ澱粉質、十二乃至十五%ノ水分、五乃至八%ノ蛋白質、一乃至三%ノ木纖維、一乃至一八%ノ灰分ヲ含有ス。灰分ハ磷酸加里、マグネシヤ、曹達、石灰、硅酸、酸化鐵、硫酸、鹽素ヨリ成ル。玄米ヲ精白スレバ多少ノ木纖維及灰分ヲ減ズルモ他ノ含有物ニハ其ノ量ニ大ナル變化ヲ與ヘズ。

稻種 現今本邦ニ於テ栽培セラル、粳米ノ稻種次ノ如シ。



内地産梗米府縣別稻種調

一、東北區

早生種

中生種

晩生種

青森縣

地種嘉瀬早生

細程細程坊主世界一

相馬仙臺坊主近成

岩手縣

白稻若松廿日早生

赤稻關山女夫

豐後白豊後白坊主

宮城縣

岩賀大竹懸田

早生愛國龜ノ尾豊後

愛國元録青坊主

秋田縣

關山福島細程

龜ノ尾短穗庄内

名古屋白大細程

山形縣

早生大野小野寺

龜ノ尾所不嫌金子

敷島東郷早生島

福島縣

白早生赤早生

豊後金子最上坊主

愛國大黒近成

二、關東區

茨城縣

信州金子藤早生

愛國關取荒木

神力都竹成

栃木縣

藤早生信州金子

愛國荒木多摩錦

關取竹成神力

群馬縣

信州金子加賀早生

愛國竊坊主荒木

張白藤須賀一本

埼玉縣

四十日烏早生保村

愛國都賀錦關取

竹成

千葉縣

撰出上總信州

關取愛國荒木

神力須賀一本西國

東京府

品川長早生信州

關取愛國高砂

都神力須賀一本

神奈川縣

伊豆早生廣川

早神力關取愛國

神力黒穗

三、北陸區

新潟縣

高田早生早坊主

石白愛國大場

二本三晩高宮萬七

富山縣

前澤水島加賀早生

大場石白萬倍

高島群益愛國

石川縣

赤見出白早生

大場巾着石白

晚巾着晚一本

福井縣

美濃大場加賀六

信州巾着妙見

白珍好八幡一本

四、東山區

山梨縣

千本竊坊主寒氣不知

高砂穗揃明治錦

三光森川金比羅

長野縣

野澤早生京早生

珍好信州金子毛京

竊坊主江州坊主

岐阜縣

京早生荒木丸龜

早神力群益關取

神力倒十竹成

五、東海區

静岡縣

愛國美濃撰

神力雄町大和錦

白笹千本笹二本

愛知縣

愛國群益信州

早神力器量良竹成

神力白笹千本

三重縣

石白錦選

竹成關取伊勢錦

神力白笹須賀一本

六、近畿區

滋賀縣

早神力小川加賀六

中生神力關取善光寺

神力渡船近江錦

京都府

早生神力四國坊主

中生神力伊勢錦

神力雄町天皇

大阪府

早生神力二本穗

天神穗長者穗三把

神力之けな

兵庫縣

雄町白玉福山

神力荒地政岡

七

奈良縣 早生神力四國坊主 中生神力雄町白玉 神力竹成關取
和歌山縣 早生神力二本早生 中生神力雄町大和錦 神力白玉器量良

中國區 鳥取縣 茶早生母不里知 福山丸山二本梗 龜治赤二本四國

島根縣 道明茶早生 母里不知群益小腹 龜治神力關取

岡山縣 穀良郡群益 雄町郡多平選 神力日出選古備穗

廣島縣 出雲早生道明 白玉福山雄町 神力小天狗竹田

山口縣 穀良郡高津 白玉都雄町 神力

八

四國區 德島縣 權八小櫻萬倍 大和錦大政官倒十 神力一本白笹

香川縣 鷹尾富田二本 白玉雄町中生神力 香川神力神力久吉

愛媛縣 赤千木白千木 雄町中生神力筑前選 神力相徳金時

高知縣 出雲早生衣笠早生 穀良郡白坊主仁井 山城島戸金作

九州區 福岡縣 穀良郡白紅屋 白玉雄町萬作 神力青選自利

佐賀縣 白紅屋赤紅屋 白玉雄町萬作 神力西宮

長崎縣 穀良郡愛國 白玉雄町關取 神力竹成美綠

熊本縣 早穗増早神力 雄町穗増白藤 神力晚白笹

大分縣 辨慶穀良郡 白玉雄町渡船 神力關取大和錦

宮崎縣 土佐坊主慶徳 白玉右割穗増 神力雄町三ヶ濱

鹿兒島縣 かませかはしこ 薩摩白玉雄町 神力曲玉晚白笹

沖繩縣 赤ひけ白ひけ黒ひけ (期節不明)

北海道 赤毛坊主札幌白毛地米ノ中前一種ヲ主トス。 但シ北海道ニ於テハ中晩兩生種ハ渡島及上川地方ニ限ラレ他ハ一般ニ早熟種ナリ。

著名稻種ノ特性 右ノ中著名ナルモノニ付キ其ノ特性ヲ舉ゲレバ次ノ如シ。(香月氏著日本食糧作物大全ニ依ル)

イ 神力 無芒短粒中粒ニシテ腹白(米粒ノ側面ニ在ル白斑部)アリ。稈短クシテ二尺六寸乃至三尺細クシテ分蘗(根ニ近キ莖節ヨリ生ズル枝稈)多ク強健ナリ。一株ノ莖數二十本以上ニ及ブモノ多シ穗ノ長サ平均六寸餘穀粒密著シ一穗ニハ約二三十粒アリ。畿内山陽地方ノ平坦部ニテハ九月上旬ニ出穂シ十一月中旬ニ成熟ス。米ノ品質ハ中等ニシテ又靱ノ脫離シ易キ缺點アルモ收穫多キハ此ノ種ノ優點ナリ。主トシテ九州山陽東海畿内四國等ノ平坦部ニ栽培セラレ作付反別六十餘萬町歩實ニ全稻作反別ノ約五分ノ一ニ及ブ。

健ナリ。倒ル、コト少キニヨリ名付クト。一株ノ莖數二十本以上ニ達スルコト多シ。穂ノ長サ六寸五分許、粒著密ニシテ一穂平均百十粒許リヲ算ス。米質佳良ニシテ收穫亦多ク東京市場ニ上ルコト夥シ。畿内地方ニテハ八月下旬出穂シ十月下旬ニ成熟ス。關東、東海、東山地方ニ多ク栽培セララル。

六

ハ雄町 有芒、短粒、大粒ニシテ腹白アリ、(穀類ノ細毛)ノ長サ三分乃至一寸、稈ノ長サ三尺二寸乃至四尺、稈ノ大サ中位ニシテ分蘗又中等、一株ノ莖數十五本乃至二十本アリ。穂ノ長サ六寸乃至七寸、一穂ノ粒數平均三四十粒アリ、米質甚ダ佳良ナレドモ收量稍少シ。中國地方ニテハ九月上旬ニ出穂シ十月下旬ニ成熟スル性アリ、中國九州地方ニ主トシテ栽培セララル。

ニ白玉 短芒、短粒、大粒ナリ、腹白ノ著大ナルニヨリ名ヅケラル。稈長三尺五寸乃至四尺、稍太キモ倒レ易キガ如シ、分蘗中位ニシテ一株十五六本ヲ數エ、穂ノ長サ六寸五分乃至七寸、一穂ニ百二三十粒ヲ算ス、腹白ノ著大ナルハ本種ノ特徴ニシテ亦缺點ナレドモ、品質一般ニ佳良ナルノミナラズ、大粒ナルヲ以テ海外輸出向キナリ。山陽地方ノ平坦部ニテハ九月上旬ニ出穂シ十月中旬ニ成熟ス。

ホ竹成 無芒、短粒、小粒ニシテ腹白ナシ。稈長二尺四寸乃至二尺八寸、分蘗稍多ク一株平均二十本、穂長六寸五分餘、粒數百二十ヲ數フベシ、收量多キヲ以テ貴バル。米質ハ中等ナリ。關東地方ニ於テハ九月上旬出穂シ十一月月上旬成熟ス。本種ハ關東、關西ニ多ク栽培セララル。
ヘ荒木 有芒、短粒、小粒ナリ。芒ハ三分乃至二寸、稀ニ腹白アリ、稈長三尺内外分蘗中等ニ

シテ一株平均十四五本、穂長七寸四五分、粒著疏ニシテ百十粒内外トス。光澤アリテ品質收量共ニ多シ。關東地方ニテハ八月下旬出穂シ十月中旬成熟ス。

ト都 無芒、短粒、大粒、腹白アリ、稈長四尺内外、分蘗中等ニシテ一株平均十七八本、穂長七寸位、粒著密ニシテ一穂百三四十粒ヲ數フ。成熟期ニ至リ穀ノ落チ易キ缺點アルモ品質優良ニシテ收量多キヲ以テ貴バル、輸出ニ適ス。山陽地方ニテハ九月上旬ニ出穂シ十月下旬ニ成熟スル性アリ、鹿兒島、山口ヲ中心トシテ九州、山陽地方ニ廣ク栽培セララル。

チ福山 有芒、短粒、中粒ニシテ腹白アリ。芒ノ長サ一寸乃至三寸、稈長三尺内外ニシテ分蘗力稍弱ク一株平均十四五本アリ、穂長六寸四五分、一穂粒數百二十三十ヲ數ヘ腹白アレドモ色澤、品質共ニ佳良ナリ、唯倒伏シ易キヲ缺點トス。山陰地方ニテハ八月下旬ニ出穂シ十月月上旬成熟ス。鳥取、島根、兵庫地方ニ栽培セララル。

リ大場 無芒、短粒、中粒ニシテ稈ノ長サ稍短ク二尺七八寸ニシテ細ケレドモ強シ。分蘗力稍強ク一株十八九本ニ及ブ。穂長六寸五分内外、粒著一穂ニ付百十粒ヲ數フ。少シク腹白アレドモ品質良好ニシテ收量多シ。石川縣ノ平坦地方ニテハ八月月上旬出穂シ九月中旬成熟スル性アリ。主トシテ裏日本ノ北部ニ栽培セララル。

ヌ愛國 有芒、短粒、中粒ニシテ芒ハ二分乃至一寸アリ。稈ノ大サ中等ニシテ分蘗力稍強ク、一株平均二十本ニ及ブ。穂長六寸前後、粒著稍密ニシテ一穂百三四十粒ヲ數フ。米質中等ナレドモ收量多キヲ以テ貴バル。腹白アリ、福島地方ニテハ八月下旬乃至九月上旬ニ出穂シ

七

十月中旬ヨリ十一月月上旬ノ間ニ成熟ス。關東ヲ中心トシテ奥羽ノ南部ニ及ブ。

ル信州

無芒短粒小粒ニシテ腹白ナシ。稈長三尺内外細ケレドモ強ク分蘖多シ。穂長平均六寸三分許粒著中等ニシテ一穂百粒内外ヲ數フ。米粒色澤純一ニシテ剛性强ク品質佳良ナリ。東北地方ニテハ八月下旬ニ出穂シ十月上旬成熟ス。關東東北地方ニ廣ク栽培セララル。

ヲ龜ノ尾

無芒短粒中粒ニシテ腹白アリ。稈長三尺六寸位分蘖中等ニシテ一株凡ソ十五本、穂長六寸内外粒著中位ナリ。收量多ク山形地方ニテハ一反當リ收穫高三石ヲ上グルコト難カラズト言フ。米質良好ニシテ一升ノ重量三百八十七匁ニ及ブ。秋田地方ニテハ八月中旬出穂シ九月中旬成熟スト言フ。主トシテ東北地方ニ栽培セララル。

ヲ龜治

無芒短粒中粒ニシテ腹白アリ。稈長四尺三寸位分蘖力強ク一株平均十本内外アリ。穂長六寸七分位粒數百二十ヲ數フ。米質ハ不良ナルモ收量多ク且稻熱病ニ堪フル力強キヲ以テ貴バル。山陰地方ニテハ九月上旬出穂シ十一月初旬成熟スト言フ。島根縣ヲ中心トシテ中國地方ニ普及スル傾向アリ。

カ須賀一本

無芒短粒中粒ニシテ外白僅カニ在リ。稈長三尺四五寸分蘖力中等ニシテ一株平均十五本許アリ。穂長六寸五分一穂ニ付百粒以上ヲ數フ。米質中等ニシテ收量多シ。東海道地方ニテハ九月上旬出穂シ十一月初旬成熟ス。三重縣以東殊ニ關東ニ廣ク栽培セララル。

ヨ曲玉

無芒中粒ニシテ稈ノ高サ三尺二寸内外分蘖力ハ稍弱ク一株平均十四五本位、穂長凡ソ七寸ニシテ粒著多ク品質ハ佳良ナラザルモ年柄ニヨリ多收セララル。九州地方ノ暖地

ニテハ九月上旬ニ出穂シ十月下旬ニ成熟スル性アリ。四國九州ノ平坦部ニ栽培セララル。

太白笹

無芒小粒ニシテ稈ノ高サ二尺七八寸強クシテ倒伏スルコト少シ。分蘖力稍強クシテ一株平均十八九本ニ達ス。穂ノ長サ六寸餘品質不良ナルモ多收ナルヲ以テ貴バル。九州地方ニテハ九月上旬ニ出穂シ十一月上旬ニ成熟ス。蓋シ晚種中ノ晚ナルベシ。九州地方ニ多ク栽培セララル、モ亦東海附近ニモ適スベシ。

レ石白

無芒小粒ニシテ稈長三尺六寸乃至三尺九寸分蘖十八本ヨリ二十本ニ及ブ。穂長凡ソ七寸粒著疎ニシテ百ニ滿タズ時ニ腹白アルモ概シテ中等ノ品質ヲ有ス。北陸ニテハ八月下旬出穂シ九月下旬成熟ス。主トシテ北陸地方ノ稻種ナリ。

ソ關山

有芒中粒ニシテ芒ハ赤褐色ヲ呈ス。分蘖力弱ケレドモ極メテ早熟ニシテ且稻熱病ニ耐フル力強キニヨリ寒冷地方ニ適ス。八月月上旬出穂シ九月中旬成熟ス。米質中等ニシテ腹白ナシ。東北地方ノ一稻種ナリ。

糯米

年産五百十一萬石(大正十三年)本邦産米總額ノ約一割ニ過ギザレドモ需要ノ點ヨリ觀レバ糯米獨得ノ範圍アリ。由來糯米ハ硬米ニ比シテ質的ニ異ルモノニアラズ粘着力ニ於テハ却テ優ルノ長アリ。サレバ硬米ト同ジク飯用(小豆飯其ノ他ノ混合飯ハ勿論)ニ供セララル、ハ言フ迄モナク餅ノ製造ニハ缺クベカラザルモノナリ。現今本邦ニテ栽培セララル、糯米ノ主タル稻種ヲ擧ゲレバ次ノ如シ。

(一)東北區

白糯、黑糯、雀糯、辨慶糯、白坊主糯、能糯、黒子糯、柴搦糯、赤糯、目黒糯、女官糯、黄肌糯、御膳糯、江戸糯

(二)關東區

三次郎糯、雜穀糯、白髮糯、太郎兵衛糯、目黒糯、烏糯、赤糯、金佐糯、一郎坊主糯、銀糯、石上糯、天朝糯、常盤糯

(三)北陸區

大場糯、穀糯、化糯、黒糯、石白糯、山崎糯、御膳糯、越ヶ谷糯、片貝糯

(四)東山區

飯村糯、馬鹿糯、早生糯、赤穂糯、七化糯、神力糯、善光寺糯、早糯、篠原糯、力糯、種村糯、能加糯

(五)東海區

神力糯、谷糯、こぼれ糯、黒糯、烏糯、白須糯、おんぢ糯、末廣糯

(六)近畿區

九州糯、神力糯、千本糯、五色糯、早生糯、白糯、鶴糯、元氣糯

(七)中國區

大山糯、太吉糯、鶴首糯、白糯、太郎兵衛糯、七里引張糯、乘兼糯、彌之次糯

(八)四國區

白糯、玄海灘糯、江川糯、神力糯、能糯、一本糯、銀糯、彦糯、早生糯、清水糯、神樂屋糯、長岸糯

(九)九州區

金時糯、神力糯、羽二重糯、七里引張糯、赤糯、白糯、大阪糯、目黒糯

附記

尙參考ノ爲メ朝鮮、臺灣及關東州ニ於ケル栽培水稻ノ稻種ニ付キ香月喜六氏ノ著述ヲ借リテソノ大様ヲ掲グルコト、セリ。(詳細ハ同氏著日本食糧作物大全參照)

朝鮮ニ於ケル水稻品種

内地優良稻種ノ移殖盛ニシテ在來種ハ爲メニ益々排斥セララル、ニ至レリ。今主トシテ栽培セラル、モノニシテ成績優良ナルモノヲ舉グレバ早神力、穀良都、多摩錦、高千穂、日ノ出、都、錦、石白、關山等ニシテ早神力及多摩錦ハ朝鮮中部ニ適シ、穀良都、高千穂、都及錦ノ五種ハ京畿道以南ノ地ニ適シ、日ノ出ハ京畿道以北ノ地ニ適スト。

臺灣ニ於ケル水稻品種

臺灣ハ内地ト風土ヲ異ニスルヲ以テ内地種ノ移殖成績ハ常ニ在種ニ及バザルガ如シ。今臺灣ニ於テ好成绩ヲ舉ゲツ、アル稻種ヲ舉グレバ次ノ如シ。

一、北部地方

第一期作 低脚花螺、短廣花螺、柳州
第二期作 晚清油、格仔、高脚格仔

二、中部地方

第一期作 求仔變、烏穀、大烏

第二期作 清流、青縞、岸仔

三、南部地方

第一期作 烏粒、白葉、中生烏穀

第二期作 求舊、白求舊、烏占

但第一期作トハ一月下旬播種三月下旬挿秧スルモノヲ謂ヒ、第二期作トハ六月下旬播種七月中旬挿秧スルモノヲ謂フ。

關東州ニ於ケル水稻品種

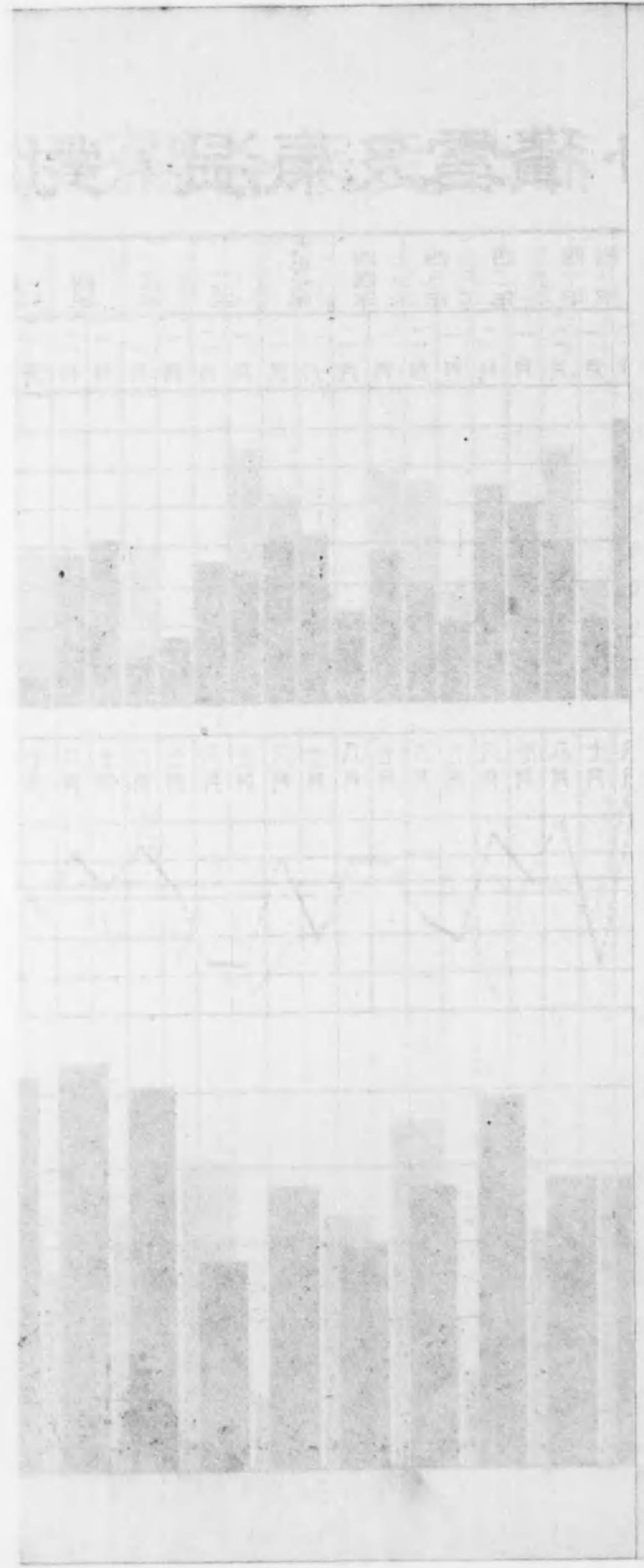
從來關東州ニ於テハ朝鮮產稻種ヲ移殖栽培シ來レルモ大正三年内地稻種ヲ移入シ栽培シテ以來漸次效果ヲ收メツ、アリ、近年甚シク之ガ普及ヲ觀タリト聞ク。因ニ内地產稻種ニシテ彼地ニ適スルハ衣笠早生、關山、相馬、龜ノ尾、豊後、仙臺坊主、信州金子、日ノ出、高田坊主、早坊主、大場、出雲早生、權八ノ諸種ナリト。

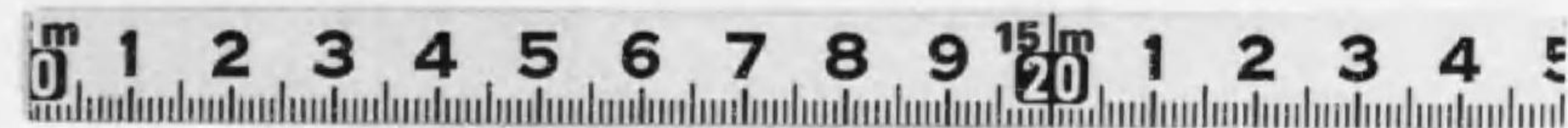
第二節 栽培法

自然力

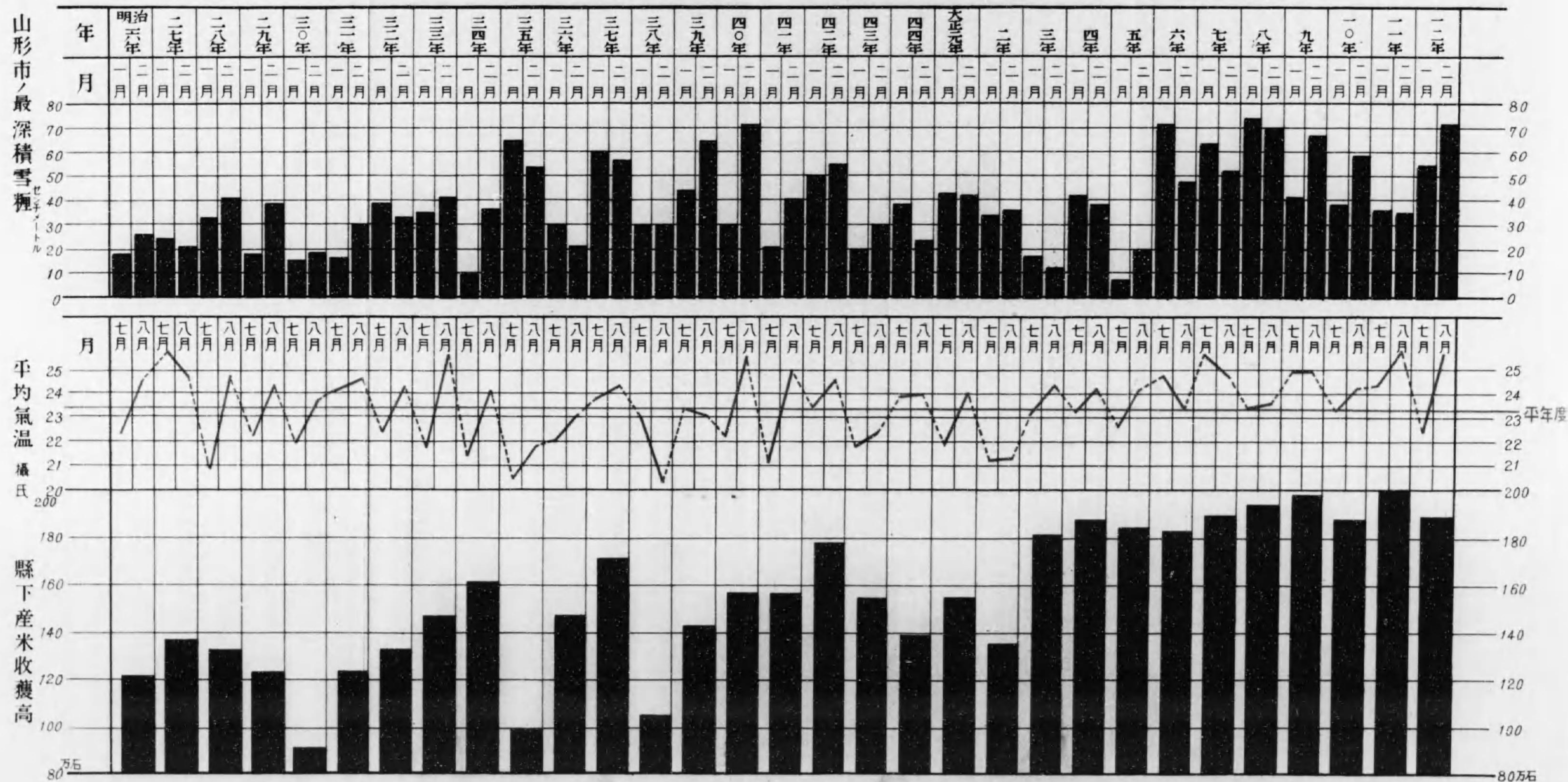
土地、風向、日光其ノ他ノ自然力ガ米ノ生産ニ及ボス影響ノ重大ナルハ嗚々ノ要ナカルベシ。就中最モ緊要ナルハ氣温ナリ、夏季ニ於テ特ニ然リ。俗ニ雪ハ豊年ノ兆トノ俚諺アレドモ、事實ハ之ニ反シ、夏季ニ於ケル暑氣コソ豊年ノ兆タルガ如シ。左ニ山形縣ニ於ケル之ガ調査ヲ掲グ。

度

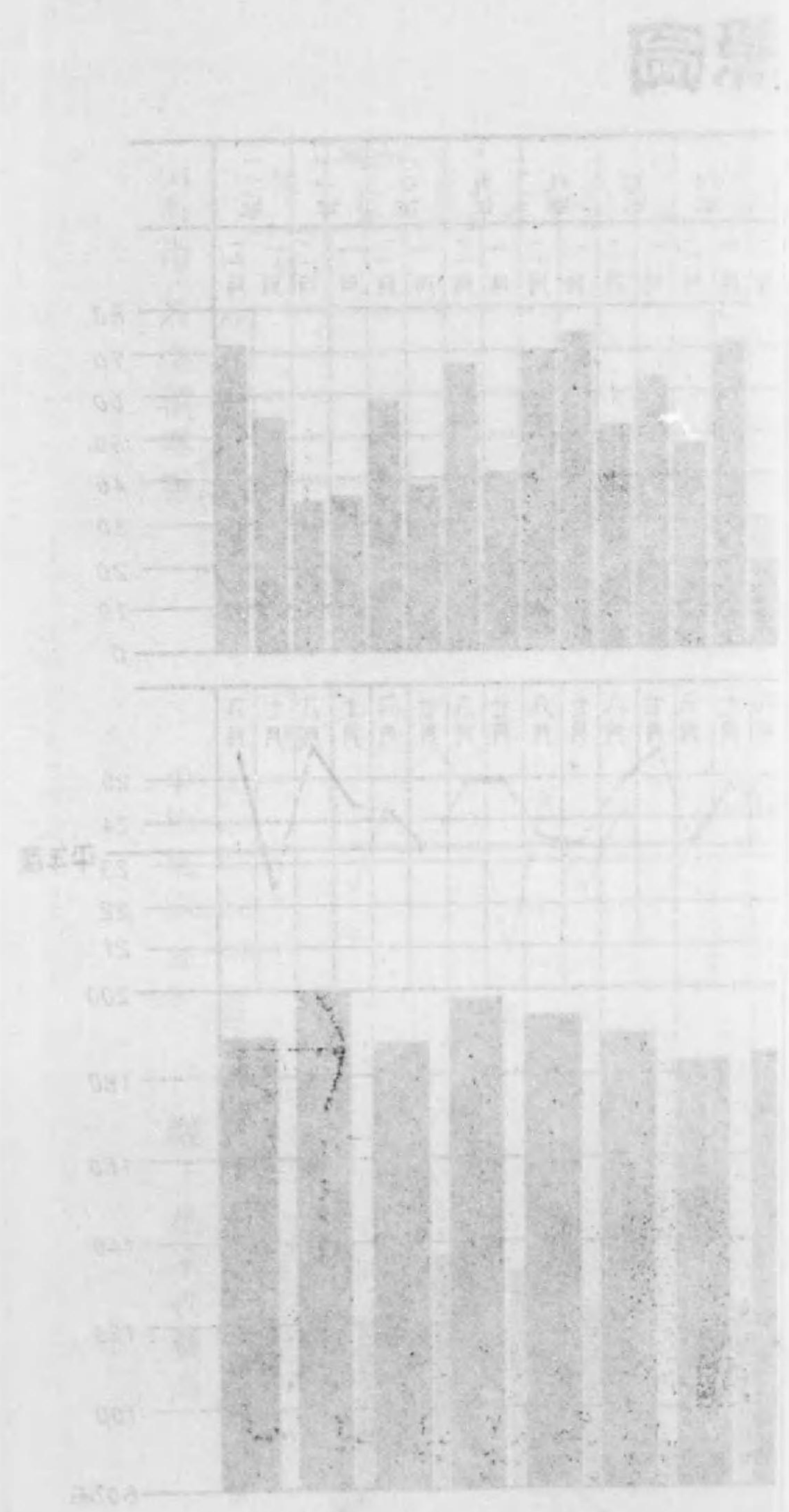




山形縣各年度米高ト積雪及氣温ノ對照圖



土地風向、日光其ノ他ノ自然力ガ米ノ生産ニ及ボス影響ノ重大ナルハ畝々ノ要ナカルベシ。就中最モ緊要ナルハ氣温ナリ、夏季ニ於テ特ニ然リ。俗ニ「雪ハ豐年ノ兆トノ伴テアレドモ、事實ハ之ニ反シ、夏季ニ於ケル暑氣コソ豐年ノ兆タルガ如シ。左ニ山形縣ニ於ケル之ガ調査ヲ掲ゲ。



上圖ハ單ニ一縣ノ統計ニ過ギザレドモ、米ノ生産ニハ夏季中ノ氣温ガ積雪ヨリモ影響スル所大ナルヲ窺知スルノ資タルベシ。

氣温ニ次デ重要ナルハ天候ニシテ、播種、插秧、兩期ニ於ケル降雨、收穫期ニ於ケル強キ日光開花期ニ於テ風ナキコト等ハ年ノ豊凶ヲ支配ス。

栽培法

斯クノ如ク米ノ生産ニ自然力ノ影響大ナルハ上述ノ如クナレドモ人爲ガ生産ヲ支配スル力又決シテ侮ルベカラズ。

本邦ノ如ク地形著シク南北ニ狹長ナル國ニ於テ普遍的妥當ナル栽培法ハ之ヲ得ルコト困難ナリ。以下比較的廣キ範圍ニ於テ採用セラレベキ栽培法ニ付キ米ノ生成順序ニ從ヒ説述スベシ。

一、**地域ノ撰定** 米作ニ付最モ必要缺クベカラザル條件ハ土地ナリ。如何ニ其ノ他ノ點ニ於テ缺クル所ナシトスルモ土地ナクバ米ノ生産ハ得テ望ムベカラズ。然レドモ土地ノ中ニモ米作ニ適當ナルモノト然ラザルモノトアリ。土地ヲ撰定スルニハ次ノ二條件ヲ考慮スルノ要アリ。

- イ 平坦ナルコト
 - ロ 水利ニ便ナルコト
- 然レドモ一國ノ土地ニハ制限アルヲ以テ、人爲ヲ施サズシテ前記ニ要件ヲ具備スル土地ノ

ミテ撰定耕作シ然ラザルモノハ棄テ、顧ミザルガ如キハ土地ノ供給充分ナラサル近時ニ於テ許サルベキコトニアラズ。寧ロ不適ノ土地ト雖モ之ヲ開墾整理シテ相當ノ生産力ヲ與フルコト肝要ナリ。

二、地味 土地ノ沃度ハ今日ノ如ク科學ノ進歩セル時代ニ於テハ耕作上左迄重要ナル問題ニ非ズト雖モ米ノ風味ハ之ガ耕作地ノ沃度ニ因ルコト大ナル點ヨリ觀ルトキハ地味モ亦決シテ輕視スルコトヲ得ズ。加之地味ハ外害ニ對スル抵抗力ノ強弱ヲ成ス原因トナルモノニシテ、稻ノ育成力ニ重大ナル關係ヲ有ス。

然レドモ一國ノ沃地ニハ限アリ、殊ニ本邦ノ如キハ肥田沃野年ト共ニ漸減シ、農民ノ土地撰擇條件ハ漸次低下ヲ餘儀ナクセラレ、今ハ開墾ノ可能カ否カヲ問フニ過ギザルノ狀勢ニアリ。

三、整地 耕作地ノ撰定ラバ之ヲ整理シ、可及的深耕ヲ施スコト肝要ナリ。深耕ハ米作増收ノ秘訣ニシテ、古諺ニモ「土一寸米一升ト」深耕ノ程度ハ地質、氣候等ニ依リテ一様ナラザレドモ、概ネ暖地ニ於テハ冬耕六寸、春耕五寸、寒地ニ於テハ冬耕五寸、春耕四寸ヲ適度トス。現今整地ニハ一般ニ鋤、鋤等ノ農具及馬牛等ノ動物力ヲ利用スルモ、相當ノ方法ニ依レバ機械力ヲ利用スルコトハ決シテ不可能ニアラザルベク、是レ生産能率ヲ増進スル所以タルベシ。

四、播種並育苗 播種ニ先チ考慮スベキハ播布スベキ種子ノ撰擇ニシテ、之ヲ過タバ良好ナル自然的及人爲的條件モ其ノ效果ヲ實現スルコト難ク、時トシテハ之ガ爲メ一箇年ノ稻作ハ失敗ニ了ルベシ。稻種ニ付キテハ既ニ述ベタリ。種子ノ撰擇ハ土地ノ性狀、風習等ニ依リテ

異レドモ、概シテ次ノ標準ニ依ルヲ可トス。

イ 實量 實量大ナルモノ

ロ 比重 比重ハ概シテ實量ト正比例スルモノ

ハ 唐箕選及鹽水選 共ニ重量鑑査ノ方法ニシテ、唐箕選ハ風力、鹽水選ハ水壓ニ依リテ鑑別スルモノナリ。前法ニ依リテ殘リタルモノ、後法ニ依リテ沈下セルモノ

ニ 容量 容量大ナルモノ

之ヲ要スルニ各土地ニ相應スル稻種中良質ヲ撰ブベキハ勿論ナレドモ、同一稻種中ニ在リテハ中粒種子ヲ原種トシテ栽培シ、之ヨリ產出セル種子中ノ重ク大ナルモノヲ可トス。

種子ノ撰擇了リタルトキハ之ヲ浸水投漬シ、發芽ニ適當ナル程度ニ至レルトキ引キ上ゲ、苗代一坪當リ浸漬糶二合乃至三合(播種量ハ地方ニ依リ異ル、詳細ノ割合ニテ播種ス。ハ後掲府縣別耕作法一覽參照)

播種期ハ一般ニ八十八夜―五月一、二日頃―ヲ適當トスレドモ實際ニ於テハ其以前ニ播種ヲ開始シ、八十八夜頃ニハ既ニ播キ了ルヲ常トス。

本邦現行地方別實際播種期次ノ如シ。

北海道 (全土) 五月上旬

東北地方 (青森、秋田、山形、岩手) 四月下旬ヨリ五月上旬

北陸地方 (新潟、富山、石川、福井) 四月中旬ヨリ五月上旬

關東地方 (群馬、茨城、東京、千葉) 四月中旬ヨリ五月上旬

東海地方 (静岡、愛知、三重) 四月下旬ヨリ五月中旬
 東山地方 (長野、岐阜、滋賀) 五月上旬ヨリ五月下旬
 近畿地方 (京都、大阪、奈良) 四月上旬ヨリ四月下旬
 山陽地方 (岡山、廣島) 四月上旬ヨリ五月上旬
 山陰地方 (島根、鳥取) 四月上旬ヨリ五月上旬
 四國地方 (徳島、香川、愛媛) 五月上旬
 高知地方 (二期作) 三月下旬
 九州地方 四月下旬ヨリ五月上旬

(日本主要農作物耕種要綱ニ依ル)

種子ノ發芽シタル後ハ苗田ヲ適宜ニ見廻リ、數回ニ亘リ異種及弱性ノ苗ヲ間引(ウロスクコト)シ強壯ナル苗ノミヲ育成ス。
 五、挿秧 苗ノ育成了レバ、良好ナルモノヲ撰ビ本田ニ挿秧ス。挿秧一株ノ本數ハ一本挿又ハ一粒挿トシ、株間ノ距離ハ土地ノ沃度ニ依リテ異レドモ畦幅九寸、株間五寸乃至六寸餘ヲ普通トス。
 六、施肥 施肥ハ稻作中最モ重要ナリ。然レドモ又施肥餘リニ多キトキハ罹病、倒伏、發育不足等ノ基因ヲ爲スベシ。
 現今稻作肥料トシテ使用セラレツ、アルモノ及其ノ含有分ヲ擧グレバ次ノ如シ。

肥料名	窒	素	磷	酸	加里
人糞尿		〇、五七		〇、一三	〇、二七
人糞		一、〇四		〇、三六	〇、三四
新鮮牛糞(敷藁共)		〇、五〇		〇、〇五	〇、二一
馬糞(同)		〇、三四		〇、一六	〇、四〇
同 豚糞(同)		〇、五八		〇、二八	〇、五三
乾燥鶏糞		〇、四五		〇、一九	〇、六〇
新鮮鹿肥		三、八〇		二、八二	一、〇七
中熟鹿肥		〇、三九		〇、一八	〇、四五
廢熟堆肥		〇、五〇		〇、二六	〇、六三
鯉糞		〇、五八		〇、三〇	〇、五〇
鯉糞		八、三〇		五、六〇	〇、七〇
紫雲英(生)		九、七〇		四、〇〇	〇、五〇
同 紫雲英(乾)		〇、四八		〇、〇九	〇、三七
青刈大豆(生)		二、二五		〇、四一	〇、七三
同 青刈大豆(乾)		〇、五八		〇、〇八	〇、七三
蠶豆(生)		二、四九		〇、三六	三、一三
同 蠶豆(乾)		〇、五五		〇、一二	〇、四五

野	草(生)	〇、五四	〇、一五	〇、四六
野	草(乾)	一、五五	〇、四一	一、三三
大	豆	六、五九	〇、七〇	二、四〇
油	粕	五、〇五	二、〇〇	一、三〇
米	糠	二、〇八	三、七八	一、四〇
木	灰	一五、五〇	二、一〇	四、五〇
智	利	一五、〇〇	二、九〇	一、七〇
石	灰	一五、〇〇	二、九〇	一、七〇
硫酸	アンモニア	二〇、〇〇	一五、〇〇	一、七〇
過	燐酸石灰	二〇、〇〇	一五、〇〇	一、七〇
重	過燐酸石灰	〇、三八	四一、六〇	〇、〇二
骨	粉	〇、三八	二、三二	〇、〇二

七、選株 出穂期ニ入ルトキハ異種變種及出穂ノ早晚ニ注意シテ相當ニ整理除去シ、發育不良ナル稻株及異品種ヲ混ジタル部分ハ除去ル。

八、收穫 田面一望黄色ヲ呈シ、光澤明快トナリタルトキハ刈取ニ著手ス。刈取ニハ通常刈リ鎌ト稱スル薄身ノ長キ鎌ヲ用ヒ、刈取リタル稻ハ之ヲ適當ナル束トシ秩序良ク散列ス。稈ハ稍長ク之ヲ刈リ、枯ラシテ米俵ノ料トス。切株ハ後ニ掘返シテ肥料ノ資ニ供スル爲メ普

通二寸乃至四寸ヲ殘存ス。

九、調製 刈取リタル稻ハ地方ニ依リ其儘乾田ニ並ベ又ハ竹木製ノ乾機双端ニ強キ柱ヲ立テ、之ニ横木ヲ數段ニ渡シタルモノニ跨ギ掛ケテ乾燥ス。一般ニ陰乾、厚乾等徐々ニ乾燥スルヲ可トス。蓋シ強烈ナル日光ノ直射ヲ受クルトキハ胴割其ノ他ノ障害ヲ生ズル虞アレバナリ。斯クテ充分乾燥シタルトキハ清潔、整備セル調製稻扱キ、扱摺白、唐箕等ニ依リ相當ノ操作ヲ爲シ、混沓セル異品種若クハ雜物ヲ除去ス。

現今各府縣ニ於ケル生産過程ノ時期等次ノ如シ。

一 水稻 (數字ハ月ヲ、上中下ハ旬ヲ示シ、「」ハ乃至ノ略符トス)

府縣別	種別	整地期	播種期	一步當播種量	插秧期	除草期			出穂期		成熟期		
						第一回	第二回	第三回	早	中	早	中	晚
北海道	中下	中五	上六	七合六	中七	上七	中七	上八	中八	下九	下十	上十	中
青森	中中	中五	上五	一升内外	中六	下七	中七	中八	中中	下八	下九	上十	中
秋田	中上	中五	上五	合六	上六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中
山形	中下	中五	上四	八合	中六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中
岩手	中中	中五	上五	一斗	中六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中
宮城	中上	中五	上五	一斗	中六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中
福島	中上	中五	上五	一斗	中六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中
新潟	中中	中四	上五	合六	上六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中
富山	中中	中四	上五	合六	上六	下七	中七	上八	中中	下八	下九	上十	中

府縣別	種別	整地期	播種期	播種量	播種期	除草期			出穂期		成熟期			
						第一回	第二回	第三回	早	中	晚	早	中	晚
福島	馬	四下	五上	四上	五上	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
群馬	馬	五中	五中	中	中	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
栃木	五	下	五中	下	中	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
茨城	五	五	中	二	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
千葉	五	上	上	八	七	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
東京	五	上	上	八	七	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
神奈川	五	下	上	一	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
長野	四	上	四	一	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
山梨	四	上	四	一	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
静岡	四	上	四	一	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
愛知	五	中	五	中	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
岐阜	五	上	五	中	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
滋賀	五	上	五	中	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
三重	五	上	五	中	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
奈良	四	上	四	中	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上
和歌山	四	中	四	中	六	六中	六中	六中	八中	八中	九中	十上	十中	十一上

府縣別	種別	整地期	播種期	播種量	播種期	除草期			出穂期		成熟期		
						第一回	第二回	第三回	早	中	晚	早	中
京都	五	中	五	中	七	七	七	八	九	九	十	十中	十一上
兵庫	六	上	六	上	七	七	七	八	九	九	十	十中	十一上
鳥取	四	下	四	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
島根	五	上	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
岡山	五	上	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
広島	五	上	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
山口	五	上	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
徳島	五	中	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
高知	五	下	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
佐賀	四	上	四	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
長崎	四	上	四	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
大分	五	中	五	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
宮崎	四	下	四	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
熊本	四	下	四	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中
鹿児島	四	下	四	中	六	六	六	七	八	八	九	十	十中

第三節 米穀審査

審査ノ必要
米穀審査トハ米穀ノ品位ヲ決定スルコトニシテ、價格決定ノ基因ヲ爲シ、從テ生産者ニ對ス

ル經濟的成果ノ大小ノ岐ル、處ナリ。而シテ審査ノ結果優良ノ査定ヲ受ケタル米ノ生産者ハ將來ニ對シテモ自家生産品ノ聲價ヲ維持向上セシムル爲メ、益々改善ニ努力スルニ至ルモノニシテ、是レ體テ一國産米ノ改良增收ノ好果ヲ齎ラス基因タルモノナリ。

審査法

米穀審査法ニ學術的審査ト通常審査ノ二アリ。前者ハ分析、實驗等學術的研究ニ依ル審査法ニシテ、後者ハ多年ノ經驗ニ基ク肉眼鑑定、觸感鑑定、味感鑑定等人體ノ感應ニ依ル審査法ナリ。學術的審査ハ概シテ通常審査ニ優レドモ、専門的知識ト諸機械ノ使用ヲ必要トスルヲ以テ急速ヲ要スル場合ニ適セズ。殊ニ其ノ方法ノ煩瑣ナルト久シキニ巨ル慣習トニ因リ況ク行ハル、ハ通常審査法ナリ。以下通常審査ノ方法並標準ニ付テ述ブ。

審査セラル、米ノ態様ニ依リテ審査ヲ分テバ稻株審査、粃審査、玄米審査、白米審査ノ四種ト爲ストラ得ベシ。

一、稻株審査

稻ヲ脱却セザル稻株其儘ノ状態ニ於テ行ハル、審査ニシテ、概ネ次ノ要件ヲ具備スルモノヲ可トシ、然ラザルモノハ其ノ程度ニ從ヒテ品等ヲ低下セシム。

イ、穗長大ニシテ粒密著シ、而モ批（粒穀ノミニシテ内實ナキモノ）少ナク、粒充實セルモノ

ロ、分蘗多ク強性ニシテ風水害ニ耐ヘ、後穂ノ少キモノ

ハ、鬚根長ク且多キモノ

ニ、各稻種相當ノ状態ニ於テ適宜ニ發育シ、色彩美麗ニシテ光澤アリ、而モ彈力ニ富ムモノ

米穀審査ニハ審査員ハ先ヅ各自ノ所持スル探點帳ニ各要件毎ノ探點ヲ記入シ、其總點數ヲ平均シ各審査員協議ノ上意見ヲ纏メ、等級決定ヲ爲ス方法アレドモ、多クハ各種ノ條件ニ對スル總評的意見ヲ以テ等級ヲ査定ス。以下ノ諸審査ニ付テモ亦同ジ。

二、粃審査 粃ノ儘ノ審査ニシテ次ノ要件ヲ具備スルモノヲ良シトス。

イ、地方獎勵品種ナルモノ

ロ、一升ノ重量凡ソ二百八十匁ナルモノ

ハ、調製佳良ニシテ整頓シ雜物ノ混入ナキモノ

ニ、乾燥充分ナルモノ

ホ、黄金色ヲ呈シテ光澤アリ、一見好感ヲ與フルモノ

ヘ、形狀均一ナルモノ

三、玄米審査

分チテ生産検査移出検査ノ二トス。共ニ品位ノ査定ヲ爲スモノナレドモ前者ハ専ラ生産米ノ改良統一ヲ主眼トナシ、後者ハ進ンデ自府縣ニ産スル移出米ノ販路擴張上當該產品ガ對外的聲價ノ維持向上ニ障害ヲ來スナキヤ否ヤヲ檢スルヲ主目的トス。サレバ同一府縣内ニ於ケル消費米ハ單ニ生産検査ヲ爲スノミナレドモ、他府縣ニ移出スルモノニ付テハ通常移出検査ヲ爲ス。サレド生産検査ト移出検査トハ検査標準ニ顯著ナル差異ナク、後者ニ於テハ荷造ニ關シ特ニ検査ヲ併行スルノ差アルノミ。玄米検査標準中各府縣ニ共通セル良品ノ條件ヲ擧グレバ次ノ如シ。



米穀検査事業一覽表

道府縣事業トシテ米穀検査ヲ施行スルモノ

(農商務省調査)

Main table with columns for Prefecture (道府縣名), Product Type (穀物ノ種類), Production Grade (生産検査等級), Transfer Grade (移出検査等級), Capacity (容量), Packaging (包装), Inspection Period (検査ノ有効期間), Transfer Fee (移出検査手数料), and Remarks (備考). Rows list various prefectures like Hokkaido, Tohoku, Kanto, etc.

組合名	産物ノ種類	生産検査等級	移出検査等級	容量	包装	検査ノ有効期間	移出検査手数料	備考
山形	生産検査 米	一等ヨリ四等及等外	特等ヨリ四等及等外	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	七	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
秋田	生産検査 米	一等ヨリ四等	一等ヨリ四等	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	七	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
岩手	生産検査 米	一等ヨリ四等	一等ヨリ四等	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	七	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
青森	生産検査 米	合格上、中、並	合格上、中、並	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
愛知	生産検査 米	合格上、中	合格上、中	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
神奈川	生産検査 米	甲、乙、丙及等外	甲、乙、丙及等外	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
三重	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
岐阜	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
京都	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	四	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
大阪	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	四	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
奈良	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	四	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
和歌山	生産検査 米	甲、乙、丙及等外	甲、乙、丙及等外	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	四	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
兵庫	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
岡山	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
広島	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
鳥取	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
徳島	生産検査 米	一等ヨリ五等	一等ヨリ五等	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
香川	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
愛媛	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	七	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
福岡	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	四	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
佐賀	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	四	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
大分	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
熊本	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
宮崎	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	五	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
鹿児島	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	七	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
山口	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
防長	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ
同業組合	生産検査 米	合格	合格	斗	生産検査 一重依 移出検査 二重依	移出検査後 三十日	六	米ハ生産検査済ニ非ラサレハ移出検査ヲ受ケルコトヲ得ズ

◎同業組合ノ事業トシテ米穀検査ヲ施行スルモノ (縣ヲ地區トスルモノ)

鳥縣又ハ十三貫(宮城縣)ニ達スルモノアリ。

包裝

依裝ヲ原則トシ精白米、輸出米又ハ粃ニ限り叭又ハ袋入ト爲ス地方アリ。依ハ藁製ノモノヲ使用シ、移出米ハ二重俵縣内消費米(主トシテ生産検査ノミヲ了ヘタルモノ)ハ一重俵ト爲ス。尙主要産縣ニシテ而モ輸送上密接ナル關係ヲ有スル諸縣ニ於ケル米穀検査規定中荷造ニ關スルモノヲ擧グレバ次ノ如シ。

一、新潟縣

新潟縣令第三號米穀検査規定第七條

検査ヲ受クヘキ米穀ハ左ノ各號ニ依ルヘシ但シ特別ノ事由アルモノニシテ知事ノ認可ヲ得タルモノ(註)ハ第五號乃至第七號ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

- 一、異種米及新古米ハ勿論同種米ト雖品質ノ差異アルモノヲ混合セサルコト
- 二、乾燥ヲ充分ナラシムルコト
- 三、調製ヲ完全ニシ粃、稗、屑米、碎米、土砂、塵埃其他夾雜物ヲ除去スルコト
- 四、精米ハ搗精加工濟一ニシテ粃、稗、屑米、碎米、土砂、糠等ノ附著混入ナキコト
- 五、容量ハ四斗トスルコト
- 六、包裝ハ二重俵トスルコト但外依ニ藁ヲ使用シ又ハ精米ニ限り叭ヲ使用スルコトヲ得
- 七、二重俵ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

- (イ) 内依ハ乾燥セル前年産選藁ヲ用ヒ四箇所編ミトシ長サ三尺七寸編目ノ間隔中央七寸左右各六寸兩端五寸重量ハ四百五十匁乃至五百五十匁トス
- (ロ) 外依ハ乾燥セル選藁ヲ用ヒ四箇所編ミトシ長サ四尺編目ノ間隔中央七寸左右各六寸五分兩端六寸重量ハ四百匁乃至五百匁トス
- (ハ) 棧依ハ乾燥セル前年産選藁ヲ用ヒ直徑九寸乃至一尺ニ編ミ重量ハ七十匁乃至八十匁トス
- (ニ) 繩ハ總テ打チ柔ケタル藁ヲ以テ製シ小口繩及横繩ハ周リ八分乃至一寸縱繩ハ周リ一寸乃至一寸二分トシ外依ニ用ユル繩ハ摺掛ケトス
- (ホ) 内依小口摺リハ三封摺ヒ八箇所掛ケ外依ハ三封摺ヒ九箇所掛ケトシ脱粒ノ虞レナキ様緊括シ其ノ結ヒ目ニ卷封ヲ施シ得キ部分ヲ設クヘシ
- (ヘ) 横繩ハ内依三箇所外依五箇所各二廻リ結ヒトシ縱繩ハ一筋ヲ以テ四方掛ケトシ兩端ノ横繩ニハ蛙股ニ其他ノ横繩ニハ各下ヨリ引掛ケ緊括ス但生産検査ノ依裝ニハ縱繩ヲ用ヒサルモ妨ケナシ
- 八、外依ニ藁ヲ使用スル場合ニハ左ノ方法ニ依ルヘシ
- (イ) 藁ハ乾燥セル良好ナル藁ヲ用ヒ密ニ織上ケ長サ四尺三寸幅三尺二寸重量ハ三百匁乃至四百匁トス
- (ロ) 包裝ノ方法ハ總テ依ト同一ニ造ルヘシ
- 九、叭ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

(イ) 藁ハ質良好ナルモノヲ用ヒ縁方ハ兩端耳繩ヲ除キ三十二目以上トシ密ニ縫上ケ其重量ハ四百五十匁以上トス

(ロ) 繩ハ依ノ横繩ト同様ノモノヲ用ヒ横繩ハ二廻リ三箇所掛ケトシ兩耳繩ノ端ハ中央ニ於テ結合ス縱繩ハ二筋ニテ二箇所掛ケトシ各横繩ニ引掛ケ緊括シ其結ヒ目ニ卷封ヲ施シ得可キ部分ヲ一箇所設クヘシ

註 同規則第一條ニヨル 一、四斗未滿ノ端米 二、縣外産米タル證憑アルモノ 三、法令ノ規定ニ依リ引渡ヲ爲ス米穀 四、自家消費ノ米穀ヲ他人ニ委託加工セシムルモノニシテ検査吏員ノ證明アルモノ 五、學術若ハ試験ニ供スルモノニシテ知事ノ認可ヲ得タルモノ等ヲ謂フ。

新潟縣告示第三百十六號

大正五年一月縣令第三號新潟縣米穀検査規則ニ依ル生産検査ノ依裝ハ當分ノ内左ノ方法ニ依リ一重依ニテ検査ヲ受クルコトヲ得

一、依及繩 棧依ハ米穀検査規則第七條内依ノ規定ニヨルコト但小口籾リハ脱粒ノ虞レナキ様緊括シ其結ヒ目ニ卷封ヲ施シ得ヘキ部分ヲ設クルコト

二、横繩ハ五箇所各二廻リ結ヒトスルコト

二、愛知縣

米穀検査規則 大正九年九月二十四日改正第五條

検査ヲ受クヘキ米穀ノ容量依裝ハ左ノ各號ニ該當スルコトヲ要ス
一、一依ノ容量ハ四斗トスルコト

二、依裝ハ二重依トシ左ノ方法ニ依リ堅牢ニ包裝スルコト

(イ) 内依ハ能ク乾燥セル前年ノ藁ヲ用ヒ四箇所編ミトシ重量ハ凡五百五十匁トス

(ロ) 外依ハ能ク乾燥セル「スグリ」藁ヲ用ヒ四箇所編ミトシ重量ハ凡三百五十匁トス

(ハ) 棧依ハ能ク乾燥セル藁ヲ用ヒ直徑凡九寸重量凡八十匁トス

(ニ) 依裝ニ用ユル藁ハ能ク打チ柔ケタル繩ヲ以テ綯ヒ横繩及小口繩ハ周圍凡一寸縱繩ハ周圍凡一寸三分トス

但外依ニ用ユルモノハ總テ摺繩トス

(ホ) 横繩ハ内依三箇所以上外依五箇所各二廻リ捻込トス

但精米ニ限リ内依ノ横繩ヲ省略スルコトヲ得

(ヘ) 縱繩ハ一筋四方掛トシ各横繩ニ引掛ケ小口ノ肩口ニ於テ結ヒ止ムルモノトス但郡市長ハ土地ノ狀況ニ依リ必要ナシト認ムルトキハ生産検査ヲ受クル場合ニ限リ縱繩ノ掛方ヲ變更シ又ハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

三、移出米穀ニシテ特殊ノ事情アルモノハ知事ノ認可ヲ經テ本條ノ質量及包裝ニ依ラサルコトヲ得

尙依裝標準ニ關シテハ農商務省發愛知縣内務部長宛通牒明治四十五年五月二十三日農發
第百十二號ニ依ルモノヲ示セハ次ノ如シ。

依裝標準

(内 依)

封間 各間六寸五分兩端小口鬚五寸五分

封數 六十乃至七十

編上 三尺八寸

目方 凡五百五十匁

編繩 一枚分九尋半(一尋五尺)トス以下同シ

但乾燥セル越年ノ藁ヲ用ヒ四箇所編トス

(外 依)

各間七寸宛兩端小口鬚五寸八分

八十乃至百

四尺

凡三百五十匁

一枚分九尋

但乾燥シタル藁ヲ能クスグリタルモノヲ用ヒ

四箇所編トス

(棧 依)

乾燥セル越年ノ藁ヲ用ヒ列へ組及菊花組トシ直徑約九寸トス

目方 一箇凡八十匁

内依ノ小口ニ當テ脱粒ノ虞ナキヲ要ス

(小口括リ方)

括リ繩ハ能ク打チ柔ケタル藁ヲ以テ製シ周リ七八分程度トス

片方括リ繩ノ長サ三尋半

外依ノ目抜ハ九箇所ニ封拘トナシ四廻リ目ヨリ一ツ飛ニシ括ルモノトス

(横 繩)

能ク打チ柔ケタル藁ヲ以テ普通ヨリ町寧ニ繩ヒ周リ凡一寸トス
外依ハ五箇所内依ハ二箇所各二廻リ捻込ミトシ中央ヲ稍々細ク緊縮ス
横繩一箇所結ヒ分二尋半

(縦 繩)

能ク打チ柔ケタル藁ヲ以テ普通ノ繩ヨリ少シク町寧ニ繩ヒ摺リ掛ケ周リ凡一寸三分トス
外依ハ一筋ノ繩ヲ以テ四方掛トシ悉ク横繩ニ引掛ケ四ツ目結ヒトシ掛仕舞ノ繩ヲ繩ヒ合セ巻封
ラ施スヘキ部分ヲ存シ其先端ヲ縦繩及小口繩ニ結付クヘシ
縦繩一依掛ケ分凡五尋

三、山形縣

米穀検査規則第九條

検査ヲ受ク可キ米穀ハ左ノ各號ニ據ルヘシ但特別ノ事由アルモノニシテ穀物検査所長ノ承認ヲ
得タルモノハ第四號乃至第六號ノ規定ニ據ラサルコトヲ得

- 一、乾燥ヲ佳良トスルコト
- 二、碎米、粃、赤米、死米、青米、土砂等ヲ除去スルコト
- 三、白米ハ純良ヲ旨トシ精白ノ整一ニ注意シ糠ノ附著ヲ少カラシムルコト
- 四、品質粒形ノ差大ナルモノ及新古米ヲ混合セサルコト
- 五、一依ノ容量ハ四斗トスルコト
- 六、依裝ハ左ノ標準ニヨリ緊縮ヲ十分ニシ脱粒又ハ破損ノ虞ナカラシムルコト
 - (イ) 移出米ハ二重依生産米ハ一重依又ハ二重依トシ内外依共ニ乾燥セル藁ヲ用ヒ外依ハ藁又ハ建トス繩ハ摺掛ト爲ス
 - (ロ) 内依ハ左ノ方法ニ依ルコト

一、 依 長四尺幅二尺六寸乃至二尺七寸
重量五百匁乃至六百匁

二、 棧依 徑一尺一寸重量二箇ニテ百五十匁

三、 繩 能ク打チタル藁ヲ用ヒ横繩

四、 掛ケ方 一重依ニテ生産検査ヲ受クルモノハ横繩五箇所二廻リ結ヒ其他ハ横繩三箇所
二廻リ結ヒ小口ハ共ニ九ツ目通シ

(ハ) 外依ハ左ノ方法ニ依ルコト

一、 藁 長サ四尺五寸幅三尺乃至三尺一寸

重量三百五十匁乃至四百五十匁

封四箇所編九十手以上封間七寸(ヒゲ)五寸

二、 藁 長サ四尺三寸幅二尺六寸(ヒゲ)三寸ツ、
重量三百匁乃至四百匁

三、 繩 能ク打チタル藁ヲ用ヒ横繩ハ周リ一寸小口(カガリ)繩周リ一分縱繩周リ一寸五分

四、 掛ケ方 目通シ八十ト爲シ横繩五箇所二廻リ結ヒ縱繩一本立四方掛横繩ニ三箇所引掛

ケ二箇所蛙股小口蛙股ト爲シ側方ニ結フ

備考 山居鶴岡、本間ノ諸倉庫ノ如キハ特殊認可倉庫トシテ縣検査ヲ受ケサルモ、標準ニ付テハ何等異ナル處ナク、單ニ依裝ノ際繩ノ或箇所ヲ色繩トスルヲ異ニスルノミ、但シ細太其他ノ點ハ上記ニ等シ。

四、 熊本縣

熊本縣米穀検査規則第八條

検査ヲ受クヘキ米穀ハ左ノ各號ニ依ルヘシ但特別ノ事由ニ依リ特殊ノ包装ヲ爲シテ縣外ニ移出

セムトスル者ハ其事由及包装ノ方法並數量仕向先ヲ具申シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一、 一依一吠一袋ノ容量ハ四斗トシ粗ハ五斗精米ハ二斗又ハ三斗入りト爲スコトヲ得但玄米ハ

五月一日ヨリ七月末日迄ハ四斗三合ニ充タサルトキハ定量ヲ缺クモノト看做ス

二、 包装ハ粗及玄米ハ二重依裝精米ハ二重依裝吠入又ハ袋入トシ其包装ハ左ノ方法ニ依ルヘシ

(イ) 内依ハ乾燥セル前年産實質ノ藁ヲ用ヒ小繩ニテ四十五封内外ニ四箇所編ミトシ編目ノ間

隔各六寸五分兩端ノ藁端各七寸重量ハ八百匁乃至九百匁依ノ廻リ四尺五寸ヲ度トス

(ロ) 外依ハ乾燥セル實質ノ脫袴藁ヲ用ヒ小繩ニテ百封内外ニ四箇所編ミトシ編目ノ間隔ハ中

央六寸五分左右各七寸兩端ノ藁端六寸五分量目ハ四百匁乃至五百匁依ノ廻リ四尺七寸ヲ度

トス

(ハ) 繩ハ總テ打チ柔ケタル藁ヲ以テ手編ヒ摺掛トシ小口繩ハ廻リ九分乃至一寸横及縱繩ハ廻

リ一寸二分ヲ下ラサルコト

(ニ) 依口ノ取方ハ内依ニ在リテハ三封越シ二封ヲ拘ヒテ九ツ目貫ト爲シ初メヨリ一ツ越トシ

外依ニ在リテハ六封越シ三封ヲ拘ヒテ十一日貫ト爲シ初メハ皆掛ケ二廻目ヨリ二ツ掛ケ一

ツ越トシ脱粒ノ虞ナキ様緊括スルコト

(ホ) 結繩ハ内依ニ在リテハ横繩二廻リトシ三箇所ヲ結ヒ外依ニ在リテハ横繩二廻リトシ五箇

所ヲ結ヒ之ニ縱繩二筋ヲ以テ中央ノ横繩ヲ除キ其他ノ横繩四箇所ニ悉ク卷キ掛ケ依口ニ交

又スル所ヲ結掛ケ依口止メ四方掛ト爲シ更ニ中央横繩ノ上ニ二廻リノ横繩ヲ施スコト

(ヘ) 吠ハ藁ノ品質良好ナルモノヲ用ヒ密ニ織上ケ其ノ重量ハ四百匁以上トシ兩耳繩ノ端ヲ中

中央ニ於テ結合シ横繩ハ二廻リ三箇所掛ケトシ縱繩ハ二筋ヲ以テ二箇所掛ケトシ各横繩ハ卷掛ケ緊括スルコト

(ト) 袋ノ仕立方ハ其小口ヲ卷キ太キ麻絲ヲ以テ口縫ヲ爲シ縱繩二箇所横繩三箇所ヲ施シ緊括スルコト

第五節 用途

用途ノ分類

用途ノ量的研究ニ付テハ章ヲ更メ後ニ之ヲ述ブルコト、シ(第三章參照)茲ニハ專ラ之ガ質的研究ヲ爲スベシ。往時米ノ用途ハ飯用及酒造用ニ限ラレシガ、近時ニ至リ其ノ用途ノ範圍漸次擴大シ菓子、餡餅、麴、酢、味噌、粉糊等ノ製造用ニ供セラル、モノ亦尠カラザルニ至レリ。

一、飯用 是レ米ノ最モ有效ナル用途ニシテ邦人現時ノ常食全ク之ニ賴ル。小豆飯、粟飯、赤飯ノ如キ混合飯ヲ除キ飯用ニ供スル米ハ殆ンド全部粳米ナリ。粳米食ニモ玄米食、白米食、半搗米食ノ三アリ。糯米ハ單ニ粘力ニ於テ粳米ニ優ルノミ。

玄米食 米ヲ全ク精白セザル儘炊キテ食スルモノニシテ、近時米不足、米價騰貴、家庭衛生思想ノ普及ニ伴ヒ、巷間玄米食ノ聲ヲ聞クコト漸ク大ナリ。太古ニアリテハ上下共ニ米ハ玄米ノ儘食用ニ供シタリ。元明、稱徳天皇時代、印度及支那ノ文化傳來シテ國民ノ生活程度向上セリト雖モ、玄米ヲ瓶ニ容レテ蒸シ、以テ強飯トシテ食スルノ風ニ變化ナク、時ニ上流人士ノ精米食ヲ爲シタルコトアリタルモ、是レ又現時ノ半搗米ナリ。平安朝時代ニ及ビ高貴紳士間偶々

々白米食行ハレ今日ニ於ケル風習ノ端ヲ拓ケリ。

玄米食主張者ノ論據ハ概ネ次ノ如シ

(イ) 米ヲ搗白スルトキハ約一割五分(玄米一石ノ重量ハ粳米二百四十斤、糯米平均二百三十五斤、粳玄米一石ヲ精白スレバ白米八斗五升乃至九斗一升、碎米七合乃至二升、糠一升乃至二升五合餘ヲ生ズ、因ニ白米一石ノ重量ハ略二百五十斤)ノ搗減ヲ生ズ。乃チ全國民一箇年ノ食用米ヲ五千六百萬石トセバ其ノ搗減ハ實ニ八百四十萬石ナリ。輸入年額ヲ平均五百萬石トスレバ、國民一般ノ玄米食ヲ爲スニ依リテ容易ニ米ノ輸入ヲ防止スルコトヲ得。

(ロ) 精白ニ依ル損失八百四十萬石ヲ假リニ一石平均四拾圓トスレバ實ニ參億參千六百萬圓トナリ、搗白ニ要スル勞力並ニ動力ノ費用ヲ假リニ參千四百萬圓トスレバ合計四億圓ノ損失トナル。玄米食ヲ爲ストセバ從テ此損失ヲ節減シ得ベク、又精白ニ要スル「クレシ」粘土輸入ノ必要ナキニ至ルベシ。

(ハ) 玄米ハ白米ヨリ價格低廉ニシテ且白米ノ如ク糠、搗粉、土ダ粉、小米等ノ損失(白米一斗ヲ洗ヘバ九升二、三合ト爲ル)ナキノミナラズ玄米ヲ食用ニ供スルトセバ營養副食物ヲ減ジ得ベシ。

(ニ) 玄米ハ脂肪、蛋白質、纖維、灰分等身體ノ發育ヲ完全ニシ、機能ヲ増進スルニ必要ナル營養分ヲ含有ス。然ルニ此衛生上必要ナル成分ヲ含ム糠層ヲ去リタル白米ヲ食スレバ漸次身體營養ノ調節ヲ失ヒ、身神共ニ虛弱トナリ、殊ニ一種ノ刺戟成分タル「ビタミン」ヲ耗失スルヲ以テ脚氣病ノ流行ヲ惹起スベシ。

(ホ) 米ヲ搗白スルニ用フル砂ハ全ク洗ヒ去ル事能ハザルヲ以テ、永年ノ間ニハ齒ヲ害シ、胃腸ヲ損ズ、殊ニ近來苦鹽汁ヲ入レテ搗クモノアルニ及ビテ其害一層大ナリ。

如斯玄米食論者ハ經濟及衛生ノ二點ヨリ玄米食ノ利益ヲ高唱スレドモ、反對論者ハ又玄米食ノ白米食ニ比シテ消化劣ルコト、味力惡キコト、碎米及糠ノ副産物ナキコト、薪材ノ如キ燃料ノ消耗多キコト

トヲ以テ之ヲ駁シ、白米食ノ必シモ玄米食ニ比シテ不利ナラザルコトヲ力説ス。然ルニ他方又折衷
説トシテ半搗米食ヲ主張スルモノアリテ歸一スル所ヲ知ラズ。

三八

白米食 白米食ノ濫觴ハ既ニ述ベタルガ如ク平安朝時代ニアルモノ、如シ。然レ共其
末期兵亂相次ギ世運衰退シ、天災飢饉頻リニ起リ白米食ノ風又衰ヘシガ、源平時代ニ入リテ其
勢復歸シ、室町時代ニハ益々此風増大シ（當時ノ記録ニヨレバ色白キ尾花粥、或ハ白雪ニ似タ
ル白粥ト稱シ、白米粥ノ貴紳風客間ニ用ヒラレタルガ如シ）、元龜天皇ノ戰亂時代ニ於テ武士
ハ概ネ玄米食ヲ續ケタリシモ、徳川時代殊ニ明曆ノ頃ヨリ白米食ノ風汎ク、享保ニ至リテ愈々
擴マリ、遂ニ今日ノ如キ白米食ノ風ヲ馴致スルニ至レリ。

白米飯ノ炊キ方ニ付キテハ茲ニ説述ヲ省略スベシ。

半搗米食 玄米食ト白米食ノ長所ヲ併有ストシテ、最近其ノ風習一部ニ行ハル。

二、酒造用 造酒ノ起源ハ太古時代ニアリテ、當時既ニ米ヲ原料トセリ。サレド其醸造
法ニ於テハ今日ニ於ケルト格段ノ差異アリタルモノニシテ、應神天皇時代ノ如キハ米ヲ口
ニ含ミテ嚙ミ潰シ、唾液ニ含ムテ、アスターゼノ作用ニ依リテ之ヲ糖化シ、箱又ハ甕ニ吐出シタ
ルモノガ酸酵作用ヲ起シ、以テ酒トナリタルモノナリ（現今臺灣生蕃間稀ニ此法ヲ見ル）。

麴ヲ酒造ノ用ニ供シタル起源ハ詳ナラズ。二説アリ、一ハ應神天皇ノ御宇ト爲シ他ハ慶長
年間ト爲ス。共ニ支那及朝鮮ヲ經テ本土ニ傳ハリタリト唱フ。

酒ノ類ハ多ケレドモ清酒、濁酒、味淋酒、白酒ニ大別スルコトヲ得。酒ニ付テハ後日獨立ニ調

査スベク、從テ其ノ醸造法ハ茲ニ述ブルコトヲ省ク。

三、製麴用 酒味、噌、酢等ノ製造増加スルニ伴ヒ、麴ノ需要モ亦激増シ、米ノ用途トシテ看

過スベカラザルモノアルニ至レリ。

麴ヲ製スルニハ蒸米ヲ筵上ニ散布シテ三十度乃至三十五度ノ溫度ニ冷却セシメ、之ヲ麴室
内ノ床上ニ引キ込ミ、數時間丘狀ニ堆積シ、筵ヲ以テ圍ミ溫度ト水分ト均一ナラシメ蒸米ノ
表面ニ種麴ノ孢子ヲ均シク分布ス。斯クテ尙堆積スルトキハ孢子ハ漸次發芽シ、其菌絲ハ發
育シテ米ノ表面ニ白色ノ斑點ヲ生ズ（通稱破精、床揉後約十三時間乃至十八時間ヲ經レバ堆積
ヲ混和ス、之ヲ床返シト謂フ。床返後四時間乃至六時間、破精漸次増加スレバ更ニ良ク混和シ、
麴蓋ト稱スル扁平ナル箱通常長一尺五寸乃至二尺、巾一尺深一寸五分乃至一寸七分ニ八合乃
至一升ヲ盛り込ミ丘狀ト爲ス。盛込後三四時間ヲ經過シ菌ノ繁殖漸増シ溫度又上昇スルト
キハ、内容物ヲ能ク混和シ、麴蓋ノ順序ヲ變更シ可及的均一ヲ保タシム。之ヲ仲仕事又ハ晝仕
事ト稱ス。仲仕事後八九時間ヲ經レバ菌ノ生育益々進ミ破精廻リ八九分ニ達シ、溫度四十度
内外ニ上昇スレバ、更ニ攪拌シテ空氣ニ接觸スル面ヲ多カラシムル爲、麴面ニ數條ノ溝ヲ作り
麴蓋配置順序ヲ變更スルコト又前例ノ如クス。俗ニ之ヲ仕舞仕事ト稱ス。麴ノ混和ハ爾後
行ハズ五六時間ヲ經テ單ニ積替ヲ爲スノミ。菌絲旺ニ繁殖シ麴ノ全部塊狀ヲ爲スニ至ラバ
漸次溫度ヲ下降セシメ孢子ヲ形成セザル様注意ス。積替後七八時間ヲ經タルトキハ之ヲ室
外ニ取出シ冷却シテ發育ヲ止ムレバ茲ニ麴ヲ得。引込ヨリ茲ニ至ル迄約四十五時間乃至五

三九

十五時間ヲ要ス。

四〇

四、製味噌用

味噌ハ本邦特有ノ調味用嗜好品ノ一ニシテ又生活必需品ナリ。味噌ノ主要原料ハ大豆及食鹽ナレドモ其ノ副原料ハ米及麥ナリ。サレバ味噌ノ生産増加スレバ此ノ方面ニ於ケル米ノ消費モ亦加ハルナリ。

味噌ヲ造ルニハ酸酵劑トシテ米又ハ麥ヲ用フレドモ、米麴ヲ用ヒタル味噌ハ其ノ味美ナリ。味噌ノ種類ニ依リテ之ニ用フル麴ニモ差異ヲ生ズ。

白味噌 白色ニシテ食鹽量少ク甘味多シ。米麴ヲ用フ。長期貯藏ニ耐ヘザルノ難アリ。

江戸味噌 主トシテ米麴ヲ用フ。甘味多ク二箇月内外ニテ製セラレ。

田舎味噌 主トシテ麥麴ヲ用ヒ、多量ノ食鹽ヲ要シ、製造ニ四五箇月ヲ要ス。

仙臺味噌 米麴ヲ以テシ、其ノ製造ニハ一年乃至二年ノ長キ期間ヲ要ス。赤褐色ニシテ鹹味強シ。

赤味噌 米又ハ麥ヲ用フレドモ、概シテ米麴ノ多量ト食鹽ノ多量ヲ以テセラレ、久シキ貯藏ニ耐フ。

味噌ノ製法ハ一ニシテ止マラズ、種類ニ依リ異レドモ、通常大豆ヲ充分ニ洗ヒ一夜内外浸漬シテ後蒸煮トシ、之ヲ踏碎又ハ搗碎シテ適當ナル程度ニ至リシ時之ニ定量ノ麴ト食鹽ヲ混和シ、大桶ニ移入シテ時々攪拌シ除ロニ酸酵セシメテ熟成ヲ待ツ。熟成ニ要スル期間ハ原料混合ノ程度又ハ味噌ノ種類ニ依リテ長短アリ。

五、製酢用 酢ヲ製スルニハ米又ハ酒粕ヲ原料トス。原料ニ依リテ米酢粕酢ノ別ヲ生ズ。米酢ハ白米及麴水ヲ原料トシ、酒精酸酵ヲ起サシメテ後搾汁シ、酒精含有量六乃至七%ニ至ル迄水ヲ加ヘテ之ヲ稀釋シ、之ニ種酢ト稱スル醋酸菌ヲ含ム既成酢ヲ添加シ、攝氏三十五度乃至三十六度ノ溫度ヲ加ヘテ醋酸酸酵ヲ營マシメタル後、清澄精製ス。粕酢ハ酒粕ヲ原料トスルモノナレドモ其ノ製法ハ米酢ニ同ジ。

六、製餅用 餅ノ起源ハ詳ナラザレドモ、孝謙天皇ノ御宇、餅ヲ造ルノ戸ヲ停ムトノ記事アルヨリスレバ(百科辭典参照)當時既ニ餅商人ノ存在シタルヲ推知シ得ベシ。古來餅ハ主トシテ食用ニ供シタレドモ、又祭儀ノ用ニモ供シタリ。

餅ノ製法ニ付キ其ノ梗概ヲ述ブレバ、先ヅ糯米ヲ水ニテ良ク洗磨シ、終夜水ニ浸シ置キテ翌朝、笹ニ上ゲ、水ヲ去リテ蒸櫃ニ入レテ之ヲ蒸シ、適當ナル軟度ニ至レルトキ白ニ移シ、杵ニテ小搗キ、漸次大搗キシテ米粒ノ形態全ク失セ、質滑カトナリタルトキ板ノ上ニ取り、梗米ノ粉ヲ振り掛ケ所要ノ形態ト成シ、冷却凝固セシムルナリ。

七、菓子製造用 生活程度ノ向上ニ伴ヒ菓子ノ種類モ亦雜多トナリ、從テ之ニ對スル米利用ノ方法モ頗ル多様ニ亘リ到底茲ニ概說スルヲ得ズ。米ヲ菓子製造用ニ供スルニ當リテハ米本來ノ形狀ニ於テスルコト殆ンドナク、或ハ餅トシ、或ハ煎米トシ、或ハ又米粉トシテ其ノ用ニ供ス。近時殘飯ノ利用盛ナリ。

八、製飴用 飴ハ滋養分ニ富ミ消化容易ナルノミナラズ、其ノ味又佳ナルヲ以テ近時飴

四一

ノ需要激増シ、從テ製飴用ニ供セラル、米ノ量又尠カラザルニ至レリ。

四二

飴ノ原料ハ糯米及麥芽ニシテ、先ヅ麥芽ヲ採取シテ充分日光ニテ干シ、白ニ入レテ春キ、麥芽ノ根ヲ蒐取シ石臼ニテ挽キ、次ニ糯米ヲ浙ギ一晝夜冷水ニ浸シ之ヲ蒸桶ニ入レテ蒸シ、飯ノ冷エザル間ニ豫メ熱湯ヲ入レ置キタル仕込桶ニ移シ、之ニ前述麥芽ノ挽割リシモノヲ混入シ、大柄杓ヲ以テ充分攪拌シ、更ニ其桶ヲ暖カニ包ミテ八時間餘暖ヲ保タシム。麥芽ト糯米トノ割合ハ大略糯米一斗ニ麥芽八合トシ、熱湯ハ華氏百十度内外ノモノ一斗四升ヲ適當トス。斯クテ後桶中ノ液汁及粕ヲ木綿袋ニ入レテ搾リ白水狀ノ汁ヲ得。此ノ汁ヲ煮沸シ水分ヲ蒸發セシムルトキハ茲ニ飴ヲ得。晒飴、堅飴、其他各種ノ飴製品ハ之ニ加工セルモノナリ。

九、製糊用 近時諸種工業ノ發達ニ伴ヒ洗濯用トシテハ勿論織物緯絲用、同仕上用、細工用障子張用、捺染用等糊ノ需要ハ其ノ範圍數量共漸増シ、從テ之等ノ用ニ供スル米ノ消費モ亦相當ノ量ニ及ブ。糊ノ原料ニハ米、麥、蕨等種々アリ。

糊ヲ製スルニハ梗、糯、原料米ノ如何ヲ問ハズ之ヲ水ニテ浙ギ、二三日間水ニ浸シ後之ヲ磨潰シ(石臼ニテ挽ク地方アリ)、布袋ニ入レ水ヲ注ギテ、澱粉ヲ白色乳トナシ沈澱セシメテ上澄ヲ流シ澱粉ノミヲ集メテ之ヲ糞詰ムルナリ。斯クシテ得タル糊ハ俗ニ姫糊トイフ。瓶詰糊ハ此姫糊ニ防腐劑トシテ、サルチル酸又ハ硼酸ヲ加ヘタルモノナリ。

一〇、種子用 粃ノ儘用ヒラル、モノニシテ、之ガ用法ニ付テハ第二節米ノ栽培法中播種ノ項ニ於テ述ベタリ。

第二章 生 産

第一節 全國ヨリ觀タル狀勢

大正十二年ニ於ケル日本全國ノ米作狀況ヲ觀ルニ、作付段別内地米三百十四萬七千五百六十一町步、朝鮮米百五十五萬三千九百九十九町步、臺灣米年二回作ニ付一二期延算(五十一萬一千四百七十一町步)總計五百二十萬九千四百三十一町步、收穫高内地米五千五百四十四萬四千八百九石、朝鮮米一千五百七十七萬四千六百四十五石、臺灣米(二期延算)四百八十六萬五千二百七十七石、總計七千五百四十八萬四千一百一十石ナリ。之ヲ全世界ノ米ノ作付段別一億町步、產額十億石ニ比スルトキハ作付段別ニ於テ約五%收穫高ニ於テ約七%ニ當ル。

第二節 内 地

大正十三年ニ於ケル内地ノ作付段別ハ水稻三百萬四千七百八十六町步(粃米二百七十四萬二千六百三十町步)、糯米二十六萬二千五百五十七町步、陸稻十三萬八千二百八十八町步、合計三百四十八萬二千八百四十四町步ニシテ、内地全面積三千八百八十七萬三千四百三十七町步ニ對シテ約八分同總耕地面積六百三萬九千二百二十二町步ニ對シテ約五割二分ニ該當ス。而シテ此ノ作付段別ヨリ生産セラル、米ハ水稻を米五千六百十六萬七千三百三十九石(粃米五千五百五十八萬四

四三

千五百九十五石、糯米四百五十八萬二千七百四十四石、陸稻玄米百萬三千百十石、合計五千七百十七萬四千四十九石、價格貳拾貳億壹千四百四拾參萬八千圓ニ上リ、一段歩當リ收穫高水稻玄米一石八斗六升九合、稷米一石八斗八升一合、糯米一石七斗四升八合、陸稻玄米七斗二升七合、總平均一石八斗一升九合ナリ。

抑々本邦ノ地勢タル狹長ニシテ山嶽脊梁ヲ爲シ、其ノ裾太平洋及日本海ニ没スル所僅カニ平地ヲ爲スニ止マルヲ以テ、耕地ニ乏シク其ノ面積ハ總面積ノ一割五分五厘ヲ占ムルニ過ギズ。就中米作付段別ノ如キハ其ノ約半ニ止マレドモ、古來農業立國ノ國是ニ據リ開墾ノ事業發達セシノミナラズ、輒近文明ノ進展ニ伴ヒ農業ノ文化モ亦著シク耕地ノ整理、山野ノ開墾等耕地ノ擴大ニ對スル施設殆ンド餘蘊ナク、殊ニ其ノ收穫高ニ於テハ耕作機具、肥料、水利其他栽培ニ關スル諸般ノ發明改良相次ギ著大ナル増加ヲ來セリ。

左ニ明治二十一年以後ニ於ケル米作付段別及收穫高増大ノ經過ヲ示スベシ。

年次	作付段別	收穫高	
		一段歩當平	百トセル指數
明治二十一年	二、六八六、七〇九町	一〇〇	一〇〇
明治三十一年	二、八一七、六二四〇	一〇五	一二三
明治四十一年	二、九二二、三八七八	一〇九	一三四
大正三年	三、〇二三、三六八四	一一三	一四八
大正十三年	三、一四二、八一四四	一一七	一四八

即チ明治二十一年ニ比スル時ハ作付段別ニ於テ明治三十一年ハ五分、四十一年ハ九分、大正三年ハ一割三分、大正十三年ハ一割六分ノ増加ナルニ、收穫高ニ於テハ三十一年既ニ二割三分、四十一年ハ三割四分、大正三年ハ四割八分ノ増加ヲ爲シ爾後一進一退シタレドモ大正十三年ニ於テハ同ジク四割八分ヲ示セリ。

内地米作付段別並收穫高調 (米穀統計)

年次	作付段別	收穫高		一段歩當平	百トセル指數
		水稻玄米	陸稻玄米		
明治二一	三、六六六、七〇九町	三、八四〇、〇五五	一、〇五二、一六五	一〇九	一〇〇
二二	三、七三六、三九九	三、七九八、一七七	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二三	三、七四七、七九七	三、七六六、三三三	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二四	三、七三三、三〇二	三、七九〇、五三四	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二五	三、七〇〇、六六一	三、七〇六、四七七	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二六	三、七五五、三三九	三、七六九、九三三	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二七	三、七三六、四四六	三、七三〇、二五〇	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二八	三、七八四、六二五	三、九五六、一〇二	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
二九	三、七九三、四九四	三、八三九、一九九	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
三〇	三、七八九、一八二	三、八三〇、一六〇	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一
三一	三、八七六、三〇〇	三、八七六、三〇〇	一、〇九四、〇九	一一一	一〇一

種別	年次	水	陸	合計
三	三	三三八九,五五〇三	五九,四六八四六	一,三九八,〇一八
三	三	三三八八,四九九九	四〇,八一七七八	一,四二九,三一九七
三	三	三八四七,四六八三	四六,一九九三三	一,四九四,六六二〇
三	三	三八四七,一九一九	三六,三三三九九	一,五一四,五三一九
三	三	三八四四,二九九一	四八,八二一三三	一,五三三,一一〇四
三	三	三八八〇,七四九九	五〇,八四八,〇三三	一,五五九,五九八二
三	三	三八八一,五四八五	三九,七九〇,〇七	一,五八〇,三三九二
四	四	三九〇六,〇九九	四八,二二五,四七	一,六〇八,二二五四
四	四	三九三二,五七八	五二,〇五二,三三	一,六三〇,五八一一
四	四	三九三九,〇七五八	五二,五五七,〇〇	一,六五二,六三二八
四	四	三九四九,四九九九	四七,七〇,九五六	一,六七〇,一四〇五
四	四	三九七三,〇九九〇	四九,三六二,三八四	一,六八二,四〇二四
元	元	四〇〇二,九九七九	四九,一五九,〇八二	一,七〇一,一五七〇
二	二	四〇三三,七四一九	五〇,八七七,九五四	一,七二二,〇二七四
三	三	四〇三三,五八四四	五〇,五六一,四三九	一,七三九,一〇〇三
四	四	四〇七二,六六四	五二,〇五九,六四〇	一,七六二,七二四四
五	五	四〇七二,六六四	五二,〇五九,六四〇	一,七六二,七二四四
六	六	四〇八三,四七七	五三,四三三,一一〇	一,七八六,一五八七

四六

種別	年次	水	陸	合計
七	七	四〇九三,〇三〇三	五三,四七三,二六一	一,八四六,五〇三
八	八	四一〇四,六四三	五三,四三三,〇六	一,八五八,〇七六
九	九	四一三六,五三五四	六二,三六二,二八	一,九〇〇,八九七
〇	〇	四一三六,八六二六	五九,三七〇,三三八	一,九一六,二三六
一	一	四一四二,一四六七	五九,三三七,七三二	一,九三五,五二四
二	二	四一四七,五六一四	五九,四二二,三三〇	一,九五七,〇〇四
三	三	四一四二,八四四四	五六,一六七,三九九	一,九〇九,〇一四

作付段別

種別	年次	水	陸	合計
一	一	三三六八,六四三	三四八,九七五三	三,七一七,六一六
二	二	三三九七,八五五四	三三三,〇六三三	三,七三〇,九一八
三	三	三三三六,三九九六	三三三,七七三四	三,六七〇,一七三〇
四	四	三三三六,三九九六	三二九,七二五五	三,六六六,一二五一
五	五	三三三九,三三三	三二九,三七四〇	三,六六八,七〇三
六	六	三三五一,九七五七	三三〇,六一五〇	三,六四二,五二七
七	七	三三三九,六六六	三三二,九三八〇	三,六七二,六四六
八	八	三三三九,六六六	三三〇,七六六	三,六七〇,四三二

四七

收穫高

年 次 別	種別		水 米	稻 米	雜 米	計	陸 稻 玄 米	合 計
	水 米	稻 米						
明治六	三三,九四七,七四	六三,一〇〇	三三,九四七,七四	六三,一〇〇	三三,九四七,七四	六三,一〇〇	三三,九四七,七四	三三,九四七,七四
七	三三,七五六,六六九	一五〇,二四三	三三,七五六,六六九	一五〇,二四三	三三,七五六,六六九	一五〇,二四三	三三,七五六,六六九	三三,七五六,六六九
八	三三,六七〇,五七	一〇,六六,二九四	三三,六七〇,五七	一〇,六六,二九四	三三,六七〇,五七	一〇,六六,二九四	三三,六七〇,五七	三三,六七〇,五七
九	三三,四八,三三	二,四九,六一九	三三,四八,三三	二,四九,六一九	三三,四八,三三	二,四九,六一九	三三,四八,三三	三三,四八,三三
〇	三三,七六,〇一	二,〇〇,六三九	三三,七六,〇一	二,〇〇,六三九	三三,七六,〇一	二,〇〇,六三九	三三,七六,〇一	三三,七六,〇一
一	三三,〇五,八六九	三,六三,六〇〇	三三,〇五,八六九	三,六三,六〇〇	三三,〇五,八六九	三,六三,六〇〇	三三,〇五,八六九	三三,〇五,八六九
二	三三,六九,三六八	二,六六,〇一一	三三,六九,三六八	二,六六,〇一一	三三,六九,三六八	二,六六,〇一一	三三,六九,三六八	三三,六九,三六八
三	三三,四八,三六一	三,三九,六三三	三三,四八,三六一	三,三九,六三三	三三,四八,三六一	三,三九,六三三	三三,四八,三六一	三三,四八,三六一
四	三三,七六,七〇六	二,四四,二五一	三三,七六,七〇六	二,四四,二五一	三三,七六,七〇六	二,四四,二五一	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
五	三三,九四,三五四	三,四七,〇五六	三三,九四,三五四	三,四七,〇五六	三三,九四,三五四	三,四七,〇五六	三三,九四,三五四	三三,九四,三五四
六	三三,七六,七〇六	三,三六,五六八	三三,七六,七〇六	三,三六,五六八	三三,七六,七〇六	三,三六,五六八	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
七	三三,九四,三五四	三,三九,四七三	三三,九四,三五四	三,三九,四七三	三三,九四,三五四	三,三九,四七三	三三,九四,三五四	三三,九四,三五四
八	三三,〇三,三五五	三,九四,九三三	三三,〇三,三五五	三,九四,九三三	三三,〇三,三五五	三,九四,九三三	三三,〇三,三五五	三三,〇三,三五五
九	三三,六七,七五五	三,一〇,一五三	三三,六七,七五五	三,一〇,一五三	三三,六七,七五五	三,一〇,一五三	三三,六七,七五五	三三,六七,七五五

二一	三三,四〇,一〇五	三〇,五九,二五一	三三,四〇,一〇五	三〇,五九,二五一	三三,四〇,一〇五	三〇,五九,二五一	三三,四〇,一〇五	三三,四〇,一〇五
二二	三三,七六,七〇七	三〇,三〇,六〇〇	三三,七六,七〇七	三〇,三〇,六〇〇	三三,七六,七〇七	三〇,三〇,六〇〇	三三,七六,七〇七	三三,七六,七〇七
二三	三三,八八,六八九	三〇,九一,九三三	三三,八八,六八九	三〇,九一,九三三	三三,八八,六八九	三〇,九一,九三三	三三,八八,六八九	三三,八八,六八九
二四	三三,五九,三〇三	三〇,四六,〇六一	三三,五九,三〇三	三〇,四六,〇六一	三三,五九,三〇三	三〇,四六,〇六一	三三,五九,三〇三	三三,五九,三〇三
二五	三三,七六,七〇六	三〇,七八,七一一	三三,七六,七〇六	三〇,七八,七一一	三三,七六,七〇六	三〇,七八,七一一	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
二六	三三,五九,三〇三	三〇,四一,〇五八	三三,五九,三〇三	三〇,四一,〇五八	三三,五九,三〇三	三〇,四一,〇五八	三三,五九,三〇三	三三,五九,三〇三
二七	三三,七六,七〇六	三〇,九一,九三三	三三,七六,七〇六	三〇,九一,九三三	三三,七六,七〇六	三〇,九一,九三三	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
二八	三三,九四,三五四	三〇,六九,三三七	三三,九四,三五四	三〇,六九,三三七	三三,九四,三五四	三〇,六九,三三七	三三,九四,三五四	三三,九四,三五四
二九	三三,六〇,八八七	三〇,三九,六三二	三三,六〇,八八七	三〇,三九,六三二	三三,六〇,八八七	三〇,三九,六三二	三三,六〇,八八七	三三,六〇,八八七
三〇	三三,七六,七〇六	三〇,七八,七一一	三三,七六,七〇六	三〇,七八,七一一	三三,七六,七〇六	三〇,七八,七一一	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
三一	三三,七六,七〇六	三〇,五五,六九〇	三三,七六,七〇六	三〇,五五,六九〇	三三,七六,七〇六	三〇,五五,六九〇	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
三二	三三,六〇,八八七	三〇,九七,三〇九	三三,六〇,八八七	三〇,九七,三〇九	三三,六〇,八八七	三〇,九七,三〇九	三三,六〇,八八七	三三,六〇,八八七
三三	三三,七六,七〇六	三〇,五五,六九〇	三三,七六,七〇六	三〇,五五,六九〇	三三,七六,七〇六	三〇,五五,六九〇	三三,七六,七〇六	三三,七六,七〇六
三四	三三,〇七,八七三	三〇,〇六,〇四〇	三三,〇七,八七三	三〇,〇六,〇四〇	三三,〇七,八七三	三〇,〇六,〇四〇	三三,〇七,八七三	三三,〇七,八七三
三五	三三,一八,八三七	三〇,三七,三六二	三三,一八,八三七	三〇,三七,三六二	三三,一八,八三七	三〇,三七,三六二	三三,一八,八三七	三三,一八,八三七
三六	三三,四八,三六一	三〇,九八,三三三	三三,四八,三六一	三〇,九八,三三三	三三,四八,三六一	三〇,九八,三三三	三三,四八,三六一	三三,四八,三六一
三七	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三三,四八,三六一
三八	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三三,四八,三六一
三九	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三〇,三三,四七二	三三,四八,三六一	三三,四八,三六一

一段當收穫高

年別	種別		陸稻		水稲	
	支	米	支	米	支	米
明治一	〇・九〇七	一・〇一五	〇・六九一	一・〇一五	一・五二六	一・五二六
二	一・一三五	一・二五一	〇・六三三	一・二五一	一・四〇二	一・四〇二
三	一・一四五	一・一七四	〇・六六二	一・一七四	一・五九〇	一・五九〇
四	一・〇九一	一・一九四	〇・六五七	一・一九四	一・二二五	一・二二五
五	一・〇九一	一・一七四	〇・六八二	一・一七四	一・四三〇	一・四三〇
六	一・〇七一	一・一七八	〇・四五三	一・一七八	一・五三三	一・五三三
七	〇・九九九	一・〇四七	〇・四七五	一・〇四七	一・四三四	一・四三四
八	一・二二六	一・三一二	〇・七五二	一・三一二	一・五〇〇	一・五〇〇
九	一・三八五	一・四三〇	〇・五七六	一・四三〇	一・四三〇	一・四三〇
〇	一・四三七	一・五二五	〇・七五五	一・五二五	一・四三〇	一・四三〇
一	一・三八六	一・四四五	〇・七六二	一・四四五	一・四三〇	一・四三〇
二	一・一四一	一・二一七	〇・六六九	一・二一七	一・五九〇	一・五九〇
三	一・一五二	一・五七七	〇・七七一	一・五七七	一・四〇二	一・四〇二
四	一・三一二	一・三九三	〇・六九〇	一・三九三	一・五二六	一・五二六
五	一・四一〇	一・五一四	〇・七八一	一・五一四		
總平均					一・〇一五	一・〇一五

五三

年別	種別		陸稻		水稲	
	支	米	支	米	支	米
大正一	四・六三二	四・六三二	七九七・五三	四・六三二	四・六三二	四・六三二
二	四・六七一	四・六七一	八八三・六三	四・六七一	四・六七一	四・六七一
三	四・七〇二	四・七〇二	八九〇・五三	四・七〇二	四・七〇二	四・七〇二
四	四・八六六	四・八六六	九三〇・四〇	四・八六六	四・八六六	四・八六六
五	四・八六六	四・八六六	九三〇・四〇	四・八六六	四・八六六	四・八六六
六	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
七	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
八	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
九	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
〇	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
一	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
二	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
三	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
四	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
五	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
六	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
七	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
八	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
九	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
〇	四・九〇二	四・九〇二	九六二・〇〇	四・九〇二	四・九〇二	四・九〇二
總平均					四・九〇二	四・九〇二

五二

四	四	四	四	四	三	三	三	三	三	三	三	三	三	二	二	二	二
四	三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七
一・七六四	一・五六〇	一・四六一	一・三二〇	一・二〇九	一・七一九	一・四二六	一・四九七	一・六八六	一・三二八	一・六六五	一・八三四	一・三五三	一・六三二	一・七二二	一・八一五	一・八二三	一・六一五
一・二六八	一・四二六	一・三三七	一・二一七	一・〇七六	一・五三〇	一・三〇六	一・三四二	一・五一三	一・一八九	一・四九八	一・六五三	一・二〇〇	一・四六五	一・五五八	一・六三八	一・六六五	一・四五三
一・三五五	一・五四七	一・四四八	一・三一一	一・一九六	一・七〇一	一・四一四	一・四八二	一・六六九	一・三一五	一・六四九	一・八一七	一・三三九	一・六一六	一・七〇七	一・七九八	一・八〇八	一・六〇〇
〇・六五九	〇・五八〇	〇・七五一	〇・七一一	〇・七〇六	〇・九一九	〇・七七四	〇・八七五	〇・九〇二	〇・七二一	〇・七六八	〇・七〇四	〇・七九一	〇・九〇一	一・〇一二	一・〇五四	一・〇二一	一・〇〇九
一・三四三	一・五三一	一・四三五	一・二九八	一・一八五	一・六八二	一・三九八	一・四六六	一・六四八	一・二九七	一・六二三	一・七八五	一・三二五	一・五九七	一・六八八	一・七七七	一・七八五	一・五八一
一・七三九																	一・七三九

五四

大	正	元	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三	二	一	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六
一・七六一	一・七〇一	一・九三五	一・八七四	一・九四六	一・八二〇	一・八一八	二・〇〇八	二・〇六八	一・八〇四	一・八九二	一・八一	一・八八一	一・七四八	一・五六三	一・五六二	一・七六一	一・七四六
一・五六三	一・五六二	一・七六一	一・七四六	一・八〇九	一・七〇七	一・六九四	一・八六六	一・九二三	一・六八八	一・八五七	一・六九四	一・七四八	一・七四八	一・五六三	一・五六二	一・七六一	一・七四六
一・七〇三	一・六八九	一・九二〇	一・八六二	一・九三四	一・八一〇	一・八〇七	一・九九六	二・〇五六	一・七九四	一・九八〇	一・八〇〇	一・八六九	一・八六九	一・七〇三	一・六八九	一・九二〇	一・八六二
〇・八七四	〇・九二一	〇・九一四	一・〇六二	一・二一〇	〇・八六四	〇・九一九	一・一五〇	一・三〇二	一・〇三九	〇・九三九	〇・九三三	〇・七二七	〇・七二七	〇・八七四	〇・九二一	〇・九一四	一・〇六二
一・六七二	一・六五九	一・八七九	一・九〇三	一・七七〇	一・七六九	一・九五九	二・〇二二	一・七六〇	一・九三二	一・七六一	一・八一九	一・八一九	一・八一九	一・六七二	一・六五九	一・八七九	一・九〇三

更ニ各府縣別ニ觀ルニ、作付段別ニ於テモ收穫高ニ於テモ新潟縣ヲ以テ第一位ト爲シ、作付段別ニ於テ茨城、北海道、千葉、福岡、兵庫、秋田、愛知諸縣此ノ順位ニテ之ニ亞ギ、收穫高ハ年ニ依リ異ナレドモ概ネ福岡、山形、兵庫、秋田、愛知、千葉、北海道、茨城、富山、宮城、熊本、福島、滋賀、岡山諸縣同ジク之ニ亞グ。

米作ニ自然的條件ノ緊要ナルコト既ニ之ヲ述ベタリ。府縣ノ米作ニ付キ之ヲ觀ルニ、新潟

縣ニ越後平野及信濃川ノ水利アリ。福岡縣ニ筑後川流域ノ平野アリ。其他生産夥多ナル縣亦土地ノ平坦ナルコト及水利ニ便ナルコトガ米作ノ二要件ナルコトヲ立證セザルナシ。

府縣別	大正元年		大正二年		大正三年	
	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
東京	町	三二,〇三九	町	三二,六三九	町	三三,三三六
京都	町	八三,三三七	町	八六,〇五三	町	九八,一八四
大阪	町	一七,七〇四	町	一七,七四三	町	一七,三三三
兵庫	町	一八,七五五	町	一八,八八八	町	一九,〇二二
神奈川	町	一六,四三三	町	一六,四九一	町	一六,八八七
長崎	町	一五,九三三	町	一五,九三三	町	一五,九三三
新潟	町	一四,九三三	町	一四,九三三	町	一四,九三三
埼玉	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三
群馬	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三
茨城	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三
栃木	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三
奈良	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三
三重	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三
愛知	町	一三,九三三	町	一三,九三三	町	一三,九三三

府縣別	大正元年		大正二年		大正三年	
	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
静岡	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
山梨	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
滋賀	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
岐阜	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
長野	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
宮城	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
福島	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
山形	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
青森	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
岩手	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
福井	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
石川	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
富山	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
鳥取	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
島根	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
岡山	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
広島	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三
山口	町	一七,四三三	町	一七,四三三	町	一七,四三三

府縣別	種別	大正四年		大正五年		大正六年	
		作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
和歌山	計	三三,一〇四八	六四,四九三	三三,一〇四六	六四,四九〇	三三,一〇四六	六四,四九〇
德島	計	三〇,三七〇五	四〇,八九九	三〇,八三七	四〇,八二六	三〇,六八〇	四〇,〇〇三
香川	計	三八,四七七〇	七三,三三六	三八,四三〇四	八八,一三三	三八,五一九三	九七,八二五
愛媛	計	四七,七六九九	九〇,五八六	四八,〇八四	一〇〇,〇八七	四八,一八六	一〇〇,六二七
高知	計	三三,四四〇一	六七,一五七	三三,四四〇一	六七,一五七	三三,四四〇一	六七,一五七
福岡	計	二二,三二八七	三〇,〇八三	二二,三二八七	三〇,〇八三	二二,三二八七	三〇,〇八三
大分	計	三三,六六五七	八四,八七七	三三,六六五七	八四,八七七	三三,六六五七	八四,八七七
佐賀	計	五二,五五三四	九九,四四五	五二,五五三四	九九,四四五	五二,五五三四	九九,四四五
熊本	計	七八,三三四	一三三,〇四三	七八,三三四	一三三,〇四三	七八,三三四	一三三,〇四三
鹿兒島	計	七〇,四四三一	一〇九,九三三	七〇,四四三一	一〇九,九三三	七〇,四四三一	一〇九,九三三
沖繩	計	八〇,四七一	一〇九,九三三	八〇,四七一	一〇九,九三三	八〇,四七一	一〇九,九三三
北海道	計	四七,七〇二六	六〇,六七一	四七,七〇二六	六〇,六七一	四七,七〇二六	六〇,六七一
計	計	三〇〇,〇五九	五〇,三三三	三〇〇,〇五九	五〇,三三三	三〇〇,〇五九	五〇,三三三

府縣別	種別	大正四年		大正五年		大正六年	
		作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
大阪	計	五三,二八七九	一三,一〇三	五三,二八七九	一三,一〇三	五三,二八七九	一三,一〇三
神奈川	計	三九,〇三三〇	五二,一三四	三九,〇三三〇	五二,一三四	三九,〇三三〇	五二,一三四
兵庫	計	一〇,一六二	二二,五六二	一〇,一六二	二二,五六二	一〇,一六二	二二,五六二
長崎	計	三三,五六七五	三〇,三七九	三三,五六七五	三〇,三七九	三三,五六七五	三〇,三七九
新潟	計	一七,九二五	二二,〇七〇	一七,九二五	二二,〇七〇	一七,九二五	二二,〇七〇
埼玉	計	七,三九四六	一〇,二三五	七,三九四六	一〇,二三五	七,三九四六	一〇,二三五
群馬	計	二,五五五	六,四九六	二,五五五	六,四九六	二,五五五	六,四九六
千葉	計	一,九八八六	二,六八二	一,九八八六	二,六八二	一,九八八六	二,六八二
茨城	計	一,九八八六	二,六八二	一,九八八六	二,六八二	一,九八八六	二,六八二
栃木	計	八,〇七六七	一〇,七三四	八,〇七六七	一〇,七三四	八,〇七六七	一〇,七三四
奈良	計	三,三六八九	七,九八二	三,三六八九	七,九八二	三,三六八九	七,九八二
三重	計	七,六二八四	一〇,三三三	七,六二八四	一〇,三三三	七,六二八四	一〇,三三三
愛知	計	一〇,一八四六	一三,九七五	一〇,一八四六	一三,九七五	一〇,一八四六	一三,九七五
静岡	計	六,六四一六	一〇,七五五	六,六四一六	一〇,七五五	六,六四一六	一〇,七五五
山梨	計	一,九六四九	三,九六八	一,九六四九	三,九六八	一,九六四九	三,九六八
滋賀	計	六,三六〇九	一〇,三三三	六,三六〇九	一〇,三三三	六,三六〇九	一〇,三三三
岐阜	計	六,三六〇九	一〇,三三三	六,三六〇九	一〇,三三三	六,三六〇九	一〇,三三三
長野	計	七,〇三三九	一〇,三三三	七,〇三三九	一〇,三三三	七,〇三三九	一〇,三三三
宮城	計	八,三六四〇	一〇,三三三	八,三六四〇	一〇,三三三	八,三六四〇	一〇,三三三

府縣別	年別	大正八年		大正九年		大正十年	
		作付段別	收穫高	一段歩高	作付段別	收穫高	一段歩高
福島	計	九,五三三	一,五六一	一,五六一	九,五三三	一,五六一	一,五六一
岩手	計	五,一六三	八,五三三	一,七〇〇	五,一六三	一,七〇〇	一,七〇〇
青森	計	六,八四一	一,〇二一	一,六六三	六,八四一	一,〇二一	一,六六三
山形	計	八,〇二二	一,八七五	一,八七五	八,〇二二	一,八七五	一,八七五
秋田	計	九,七九三	一,五五九	一,五五九	九,七九三	一,五五九	一,五五九
福島	計	四,七五七	一,〇二一	一,〇二一	四,七五七	一,〇二一	一,〇二一
石川	計	五,五三三	一,二九三	一,二九三	五,五三三	一,二九三	一,二九三
富山	計	七,八五〇	一,七五三	一,七五三	七,八五〇	一,七五三	一,七五三
島根	計	四,六七八	一,四四五	一,四四五	四,六七八	一,四四五	一,四四五
岡山	計	五,六七八	一,四四五	一,四四五	五,六七八	一,四四五	一,四四五
廣島	計	七,六七八	一,四四五	一,四四五	七,六七八	一,四四五	一,四四五
山口	計	八,〇二二	一,七五三	一,七五三	八,〇二二	一,七五三	一,七五三
徳島	計	三,〇二二	一,〇二一	一,〇二一	三,〇二二	一,〇二一	一,〇二一
香川	計	四,八八九	一,二九三	一,二九三	四,八八九	一,二九三	一,二九三
愛媛	計	四,八八九	一,二九三	一,二九三	四,八八九	一,二九三	一,二九三
高知	計	三,〇二二	一,〇二一	一,〇二一	三,〇二二	一,〇二一	一,〇二一
福岡	計	二,〇二二	一,〇二一	一,〇二一	二,〇二二	一,〇二一	一,〇二一

府縣別	年別	大正八年		大正九年		大正十年	
		作付段別	收穫高	一段歩高	作付段別	收穫高	一段歩高
大分	計	五,四二二	一,九八三	一,九八三	五,四二二	一,九八三	一,九八三
佐賀	計	五,九〇〇	一,二八八	一,二八八	五,九〇〇	一,二八八	一,二八八
熊本	計	八,〇六八	一,五七三	一,五七三	八,〇六八	一,五七三	一,五七三
宮崎	計	四,八八八	一,四六三	一,四六三	四,八八八	一,四六三	一,四六三
鹿兒島	計	七,一五〇	一,四六三	一,四六三	七,一五〇	一,四六三	一,四六三
沖繩	計	七,六五〇	一,〇九三	一,〇九三	七,六五〇	一,〇九三	一,〇九三
北海道	計	五,四二二	一,五二五	一,五二五	五,四二二	一,五二五	一,五二五
計	計	三〇,五六七	一,八三九	一,八三九	三〇,五六七	一,八三九	一,八三九
東京	計	二〇,七七一	一,七一九	一,七一九	二〇,七七一	一,七一九	一,七一九
京都	計	四,四七三	一,三三〇	一,三三〇	四,四七三	一,三三〇	一,三三〇
大阪	計	五,三三三	一,八〇三	一,八〇三	五,三三三	一,八〇三	一,八〇三
神奈川	計	三,〇三三	一,〇九三	一,〇九三	三,〇三三	一,〇九三	一,〇九三
兵庫	計	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三
長崎	計	三,〇三三	一,〇九三	一,〇九三	三,〇三三	一,〇九三	一,〇九三
新潟	計	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三
埼玉	計	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三	一,〇九三

北海道	七三五四二七	八八九九五	一三二〇	八二八四〇九	一四五四	九〇五二五九	一三二七七〇	一五四四
計	三〇四六一〇四	六〇三二八六五	一九五九	三〇六六二八六	一八三〇	三三三八二四四	一八三〇	三三三八二四四

府縣別	年別		作付段別	收穫高	一段歩當	作付段別	收穫高	一段歩當
	大正十一年	大正十二年						
東京	一九八六〇〇	三二二五六五	町	一八八三二七	一五三四	一八一七六三	一五三四	一八一七六三
京都	四三五六七六	九八五三七	町	四三五六七六	一七八七	四三五六七六	一七八七	四三五六七六
大阪	四六八〇二七	二六六四二二	町	四六八〇二七	一三九七	四六八〇二七	一三九七	四六八〇二七
神奈川	三〇九〇六	五四四九三	町	三〇九〇六	一五五五	三〇九〇六	一五五五	三〇九〇六
兵庫	二八四三七八	二五八八〇一	町	二八四三七八	一八九九	二八四三七八	一八九九	二八四三七八
長崎	三三三九一六	五三二八九六	町	三三三九一六	一六〇三	三三三九一六	一六〇三	三三三九一六
新潟	一七五〇九二六	二二二〇五一	町	一七五〇九二六	一七〇九	一七五〇九二六	一七〇九	一七五〇九二六
埼玉	七七一九九	二二〇七〇九	町	七七一九九	一六〇三	七七一九九	一六〇三	七七一九九
群馬	四〇四三七八	七〇〇七一	町	四〇四三七八	一七五五	四〇四三七八	一七五五	四〇四三七八
千葉	七七一九九	二二〇七〇九	町	七七一九九	一六〇三	七七一九九	一六〇三	七七一九九
茨城	一三六二八三〇	一八八七三二	町	一三六二八三〇	一六〇三	一三六二八三〇	一六〇三	一三六二八三〇
栃木	八九五二七四	一三六三六八	町	八九五二七四	一五五三	八九五二七四	一五五三	八九五二七四
奈良	三二七九九九	八八九一三三	町	三二七九九九	一五三三	三二七九九九	一五三三	三二七九九九
三重	七四一九五九	一五九一八七六	町	七四一九五九	一六二四	七四一九五九	一六二四	七四一九五九

府縣別	年別		作付段別	收穫高	一段歩當	作付段別	收穫高	一段歩當
	大正十一年	大正十二年						
愛知	一〇一五五三三	三二九三三〇	町	一〇一五五三三	一八七三	一〇一五五三三	一八七三	一〇一五五三三
静岡	六六三七九〇	一五五三六三	町	六六三七九〇	一八三三	六六三七九〇	一八三三	六六三七九〇
山梨	一九九三七七	四三六四四〇	町	一九九三七七	一五五四	一九九三七七	一五五四	一九九三七七
滋賀	六四〇三三〇	一四七五七七	町	六四〇三三〇	一五七七	六四〇三三〇	一五七七	六四〇三三〇
岐阜	六四五六八八	一三三〇〇八〇	町	六四五六八八	一七三六	六四五六八八	一七三六	六四五六八八
長野	七二五九一	一五三三六八	町	七二五九一	一七一九	七二五九一	一七一九	七二五九一
宮城	八六三二九七	一六八二〇六一	町	八六三二九七	一七二九	八六三二九七	一七二九	八六三二九七
福島	九八二八二九	一六四三三三三	町	九八二八二九	一六二四	九八二八二九	一六二四	九八二八二九
岩手	五八六四九	一〇六二四八五	町	五八六四九	一六四七	五八六四九	一六四七	五八六四九
青森	六二九三〇三	一〇六六一〇三	町	六二九三〇三	一六三七	六二九三〇三	一六三七	六二九三〇三
山形	九八七六八三	一八九七二八六	町	九八七六八三	一六三六	九八七六八三	一六三六	九八七六八三
秋田	一〇一〇〇四	一八九七二八六	町	一〇一〇〇四	一六三七	一〇一〇〇四	一六三七	一〇一〇〇四
福島	四八二九四六	一〇三九七九七	町	四八二九四六	一八七二	四八二九四六	一八七二	四八二九四六
石川	五四三三〇六	一〇三九七九七	町	五四三三〇六	一八七二	五四三三〇六	一八七二	五四三三〇六
富山	七九七八二	一六四四四七	町	七九七八二	一八七二	七九七八二	一八七二	七九七八二
鳥取	三〇〇五三	七九七九八五	町	三〇〇五三	一七三三	三〇〇五三	一七三三	三〇〇五三
島根	五六〇三八	一〇五三三七四	町	五六〇三八	一七三三	五六〇三八	一七三三	五六〇三八
岡山	八八三二二	一八八二七〇	町	八八三二二	一八一九	八八三二二	一八一九	八八三二二
廣島	七六六三七六	一三九三二八七	町	七六六三七六	一五五〇	七六六三七六	一五五〇	七六六三七六

府縣別	年別	大正元年			大正二年			大正三年		
		水稻玄米	陸稻玄米	合計	水稻玄米	陸稻玄米	合計	水稻玄米	陸稻玄米	合計
計		三,四一四,四六七	六,〇六九,三三〇	一,九三三	三,一四七,七四四	五,四四六,一五四	一,七六三	三,四二二,八四四	五,七二七,〇四九	一,八一八
北海道		一〇,一七九,七一九	一,二八四,八八九	一,二六三	一一,一七二,五五五	一,四八八,一八六	一,五三三	一二,九八三,七	一,六九六,六五八	一,四一五
沖繩		六,七八〇,四	五,三九五,九七	〇,七九三	六,五三三,四	六,三〇〇,六	〇,九六六	六,四一五,五	五,〇三三,三	〇,七八九
鹿兒島		七,五九七,七八	一,一五三,九五	一,五八〇	七,六〇三,六四	一,〇三三,一九四	一,三〇四	八,六三六,八三	一,〇三三,一九四	一,三〇四
宮崎		五〇,九七四,四五	九,三八〇,七	一,八七三	五〇,〇九三,一五	八,二四四,六六	一,六二八	五〇,九三三,八	八,四四三,四	一,六四七
熊本		八四,七三三,一	一,五八五,九五	一,八七三	八三,一四七,一五	一,五〇〇,九九	一,七八九	八四,六四七,一	一,六二二,一六四	一,九三〇
佐賀		五三,〇四三,三	一,四九七,七五	二,一六七	五一,五四九,一	一,〇三三,三三	二,六六八	五二,五八二,四	一,一七二,八八九	二,五〇六
大分		五七,七三三,三	一,一〇一,三九九	一,七〇〇	五六,六三六,三	九八九,九三六	一,七〇〇	五七,六二六,三	一,〇七八,六四三	一,八三〇
福岡		一一,七四六,七	二,三六四,六四	二,〇九八	一三,一一一,三四	二,七九〇,三三	二,〇三三	一四,八〇一,六	三,〇三三,五二	二,〇八
高知		七,七八三,四	六,八三二,六七	一,八〇三	七,六六五,一五	六,〇六二,七	一,六〇	八,二六七,八	九四一,五五五	一,六八七
愛媛		四七,三九五,四	一,〇三三,四四	二,一九六	四六,三二二,〇	九六〇,五五	二,〇三九	四七,二八二,五	一,〇三三,四	二,〇三三
香川		三,八六九,一	九二,一四	二,三五六	三,七六〇,九	八七六,三九	三,六六六	四,六三七,三	八三三,〇三	三,八〇七
徳島		三〇,一七四	七,七三三,六	一,九一三	二九,二五七,六	四,八四七,六	一,四〇九	三〇,六六五,二	五,四九七,三	一,八六八
和歌山		三三,八五八,一	七,五三三,三九	三,三九五	三二,三二一,〇	五,五七八,二	一,七二〇	三三,八四三,五	六,三六八,七	一,八九三
山口		七,八三六,三	一,四〇八,一四五	一,七九九	七,四二八,二	一,二七九,七八	一,六四三	八,七〇七,〇	一,七九七,〇	一,七八六

府縣別	年別	大正元年			大正二年			大正三年		
		水稻玄米	陸稻玄米	合計	水稻玄米	陸稻玄米	合計	水稻玄米	陸稻玄米	合計
京都		八三三,〇七三	一,九五	八三三,〇七三	八六〇,二八七	三,四九	八六〇,二八七	九一,一六七	三,一七	九一,一六七
大阪		一,一七,七八五	三,一一九	一,一七,九〇四	一,一三三,〇九八	二,三六四	一,一三三,〇九八	四,一五三	一,一三三,〇九八	四,一五三
神奈川		四三,七三二	二,二六九	四三,〇〇三	四三,〇〇三	三,六一七	四三,〇〇三	四,〇五八	三,六一七	四,〇五八
兵庫		二,一六,五七七	一,七三九	二,一八,三一六	二,一八,三一六	二,一〇五	二,一八,三一六	二,一〇五	二,一八,三一六	二,一〇五
長崎		二,六四,三三六	六,三三	二,六四,三三六	二,六四,三三六	七,八八	二,六四,三三六	二,六四,三三六	七,八八	二,六四,三三六
新潟		二,四一,九三六	六,三三	二,四一,九三六	二,四一,九三六	二,四一,九三六	二,四一,九三六	二,四一,九三六	二,四一,九三六	二,四一,九三六
群馬		一,一三,三七一	八,〇四七	一,一三,三七一	一,一三,三七一	八,〇四七	一,一三,三七一	一,一三,三七一	八,〇四七	一,一三,三七一
千葉		一,四三,六〇〇	一,六五九	一,四三,六〇〇	一,四三,六〇〇	一,四三,六〇〇	一,四三,六〇〇	一,四三,六〇〇	一,四三,六〇〇	一,四三,六〇〇
茨城		九六,二四三	一,四〇三	九六,二四三	九六,二四三	一,四〇三	九六,二四三	九六,二四三	一,四〇三	九六,二四三
栃木		七三,二四九	一,四〇三	七三,二四九	七三,二四九	一,四〇三	七三,二四九	七三,二四九	一,四〇三	七三,二四九
奈良		二,一八,〇四五	一,四〇三	二,一八,〇四五	二,一八,〇四五	一,四〇三	二,一八,〇四五	二,一八,〇四五	一,四〇三	二,一八,〇四五
三重		一,五〇,四八五	四,〇七三	一,五〇,四八五	一,五〇,四八五	四,〇七三	一,五〇,四八五	一,五〇,四八五	四,〇七三	一,五〇,四八五
愛知		一,一三〇,三九九	二,三五六	一,一三〇,三九九	一,一三〇,三九九	二,三五六	一,一三〇,三九九	一,一三〇,三九九	二,三五六	一,一三〇,三九九
静岡		三三,一三〇,三九九	一,一五四	三三,一三〇,三九九	三三,一三〇,三九九	一,一五四	三三,一三〇,三九九	三三,一三〇,三九九	一,一五四	三三,一三〇,三九九
山梨		三三,一三〇,三九九	一,一五四	三三,一三〇,三九九	三三,一三〇,三九九	一,一五四	三三,一三〇,三九九	三三,一三〇,三九九	一,一五四	三三,一三〇,三九九
滋賀		一,三〇,四五六	九六九	一,三〇,四五六	一,三〇,四五六	九六九	一,三〇,四五六	一,三〇,四五六	九六九	一,三〇,四五六
岐阜		九,五七〇,二九	一,四七三	九,五七〇,二九	九,五七〇,二九	一,四七三	九,五七〇,二九	九,五七〇,二九	一,四七三	九,五七〇,二九
岐阜		一,三九,七三九	一,四七三	一,三九,七三九	一,三九,七三九	一,四七三	一,三九,七三九	一,三九,七三九	一,四七三	一,三九,七三九
長野		一,三九,七三九	一,四七三	一,三九,七三九	一,三九,七三九	一,四七三	一,三九,七三九	一,三九,七三九	一,四七三	一,三九,七三九

府縣別	年別	水稻玄米	陸稻玄米	合計
宮城	大正四年	二,三三三,三〇〇	五九	二,三三三,三五九
福島	大正四年	一,一五二,六六二	二,一五六	一,一五二,八七八
青森	大正四年	六七二,三三五	—	六七二,三三五
山形	大正四年	八七二,〇四七	—	八七二,〇四七
秋田	大正四年	一,四八八,九八四	—	一,四八八,九八四
福島	大正四年	一,四八八,九八四	—	一,四八八,九八四
石川	大正四年	九三三,七〇〇	—	九三三,七〇〇
富山	大正四年	一,〇七三,三六九	—	一,〇七三,三六九
鳥取	大正四年	一,六八一,九七〇	—	一,六八一,九七〇
島根	大正四年	三,六六三,〇七	—	三,六六三,〇七
岡山	大正四年	九,五七二,六六六	—	九,五七二,六六六
広島	大正四年	一,四九〇,一五五	—	一,四九〇,一五五
山口	大正四年	一,二六七,四三三	—	一,二六七,四三三
徳島	大正四年	一,〇八二,二八六	—	一,〇八二,二八六
香川	大正四年	六,四三三,〇三三	—	六,四三三,〇三三
愛媛	大正四年	八,二二二,〇三三	—	八,二二二,〇三三
高知	大正四年	七,三三三,七三九	—	七,三三三,七三九
合計	大正四年	六〇,六七五	六	六〇,六八一
宮城	大正五年	一,一七二,八二九	—	一,一七二,八二九
福島	大正五年	七,二九一,六六六	—	七,二九一,六六六
青森	大正五年	四六二,四〇五	—	四六二,四〇五
山形	大正五年	一,八三三,八三三	—	一,八三三,八三三
秋田	大正五年	一,三三三,九〇四	—	一,三三三,九〇四
福島	大正五年	一,〇一九,五七九	—	一,〇一九,五七九
石川	大正五年	九四一,三三〇	—	九四一,三三〇
富山	大正五年	一,〇七三,三六九	—	一,〇七三,三六九
鳥取	大正五年	一,六八一,九七〇	—	一,六八一,九七〇
島根	大正五年	三,六六三,〇七	—	三,六六三,〇七
岡山	大正五年	九,五七二,六六六	—	九,五七二,六六六
広島	大正五年	一,四九〇,一五五	—	一,四九〇,一五五
山口	大正五年	一,二六七,四三三	—	一,二六七,四三三
徳島	大正五年	一,〇八二,二八六	—	一,〇八二,二八六
香川	大正五年	六,四三三,〇三三	—	六,四三三,〇三三
愛媛	大正五年	八,二二二,〇三三	—	八,二二二,〇三三
高知	大正五年	七,三三三,七三九	—	七,三三三,七三九
合計	大正五年	六〇,六八二	—	六〇,六八二
宮城	大正六年	一,五七七,六九九	—	一,五七七,六九九
福島	大正六年	五,四三三,〇三三	—	五,四三三,〇三三
青森	大正六年	八三〇,九三九	—	八三〇,九三九
山形	大正六年	一,〇八二,二八六	—	一,〇八二,二八六
秋田	大正六年	一,三三三,九〇四	—	一,三三三,九〇四
福島	大正六年	一,〇一九,五七九	—	一,〇一九,五七九
石川	大正六年	九四一,三三〇	—	九四一,三三〇
富山	大正六年	一,〇七三,三六九	—	一,〇七三,三六九
鳥取	大正六年	一,六八一,九七〇	—	一,六八一,九七〇
島根	大正六年	三,六六三,〇七	—	三,六六三,〇七
岡山	大正六年	九,五七二,六六六	—	九,五七二,六六六
広島	大正六年	一,四九〇,一五五	—	一,四九〇,一五五
山口	大正六年	一,二六七,四三三	—	一,二六七,四三三
徳島	大正六年	一,〇八二,二八六	—	一,〇八二,二八六
香川	大正六年	六,四三三,〇三三	—	六,四三三,〇三三
愛媛	大正六年	八,二二二,〇三三	—	八,二二二,〇三三
高知	大正六年	七,三三三,七三九	—	七,三三三,七三九
合計	大正六年	六〇,六八二	—	六〇,六八二

府縣別	年別	水稻玄米	陸稻玄米	合計
福島	大正四年	二,〇〇〇,六五五	一〇,一六七	二,〇一〇,八三二
大分	大正四年	八三三,九九八	八八七九	八四二,八七七
佐賀	大正四年	九八九,二八一	三,八六四	一,〇〇三,一四五
熊本	大正四年	一,二八四,七七七	四,七七六	一,二八九,二五三
宮崎	大正四年	七五八,九九五	六〇,八四六	八一九,八三一
鹿兒島	大正四年	九五〇,〇七	九,三三五	一,〇四九,四二二
沖縄	大正四年	六四,九九七	八	六四,九九五
北海道	大正四年	六〇,六七五	六	六〇,六八一
合計	大正四年	四九,六一三,三五	九六,二七四	四九,七〇九,六二九
福島	大正五年	二,四〇三,三九九	六,三六	二,四〇九,七六五
大分	大正五年	一,〇七四,四六一	一,三九九	一,〇七五,八六〇
佐賀	大正五年	一,二八三,六五五	四,〇三二	一,二八七,六八七
熊本	大正五年	一,六四六,〇〇四	六,七〇六	一,六五二,七一〇
宮崎	大正五年	八六〇,八九七	七,七四一	八六八,六三八
鹿兒島	大正五年	一,〇五五,六七三	一〇,四四五	一,〇六六,一三三
沖縄	大正五年	七三,九九三	一〇	七四,〇〇三
北海道	大正五年	三八,五五六	—	三八,五五六
合計	大正五年	四九,一五五,〇四五	一,〇〇,三三三	四九,一五五,〇四五
福島	大正六年	二,三三三,三二四	四,三〇〇	二,三三七,六二四
大分	大正六年	一,〇三三,八四四	一〇,五五六	一,〇四四,四〇〇
佐賀	大正六年	一,〇六〇,二七九	二,六八〇	一,〇六二,九五九
熊本	大正六年	一,四六九,七三九	三,六六六	一,四七三,四〇五
宮崎	大正六年	八〇三,五五四	六,七三六	八一〇,二九〇
鹿兒島	大正六年	七〇九,一一八	六,五三二	七一五,六五〇
沖縄	大正六年	五三,六〇五	—	五三,六〇五
北海道	大正六年	六四三,三七四	—	六四三,三七四
合計	大正六年	一〇,二二八,四九五	一,一三,一〇〇	一〇,三四一,五五五
府縣別	大正四年	水稻玄米	陸稻玄米	合計
東京	大正四年	二八六,三三七	六,一四三	二九二,四八〇
京都	大正四年	八五九,三三八	四七二	八六四,〇一〇
大阪	大正四年	一,三〇六,四九五	三,八三六	一,三一〇,二八一
奈良	大正四年	四六三,三九七	四八,九一七	五一二,三一四
兵庫	大正四年	二,一五〇,〇七九	一,六〇三	二,一五一,六八二
長崎	大正四年	五〇三,〇九一	一,七〇〇	五〇四,七九一
新潟	大正四年	二,九四四,四〇九	二,六四三	二,九四七,〇五二
合計	大正四年	一〇,二二八,四九五	一,一三,一〇〇	一〇,三四一,五五五
東京	大正五年	二六六,三二四	七,一一二	二七三,四三六
京都	大正五年	九六,六一五	四〇	九六,六五五
大阪	大正五年	一,三〇四,八一五	二,〇〇七	一,三〇六,八二二
奈良	大正五年	四六三,三九七	四八,九一七	五一二,三一四
兵庫	大正五年	二,一五〇,〇七九	一,五五五	二,一五一,六三四
長崎	大正五年	五〇四,五四六	一,八〇〇	五〇六,三四六
新潟	大正五年	二,九四七,五五五	二,九〇〇	二,九五〇,四五五
合計	大正五年	一〇,二二八,四九五	一,一三,一〇〇	一〇,三四一,五五五
東京	大正六年	二六六,三二四	七,一一二	二七三,四三六
京都	大正六年	九六,六一五	四〇	九六,六五五
大阪	大正六年	一,三〇四,八一五	二,〇〇七	一,三〇六,八二二
奈良	大正六年	四六三,三九七	四八,九一七	五一二,三一四
兵庫	大正六年	二,一五〇,〇七九	一,五五五	二,一五一,六三四
長崎	大正六年	五〇四,五四六	一,八〇〇	五〇六,三四六
新潟	大正六年	二,九四七,五五五	二,九〇〇	二,九五〇,四五五
合計	大正六年	一〇,二二八,四九五	一,一三,一〇〇	一〇,三四一,五五五

府縣別	種別	大正八年			大正九年			大正十年		
		水稻支米	陸稻支米	合計	水稻支米	陸稻支米	合計	水稻支米	陸稻支米	合計
三	重	一四九,五七七	七,三九二	一五六,九六九	一四九,八八八	七,〇〇一	一五六,八八九	一〇七,八八四	五,一三三	一一三,〇一七
愛	知	二〇三,七九〇	三〇,六七四	二三四,四六四	二二七,八七〇	三二,〇〇六	二五九,八七六	一四一,四七九	一四,六二一	一五六,一〇〇
靜	岡	一三〇,六六六	三九,三三九	一七〇,〇〇五	一三〇,〇〇五	四八,八八四	一七八,八九九	一〇六,七四五	三八,九九九	一四五,七五四
山	梨	三九,八三六	三,五三四	四三,三七〇	四三,一五三	四,五五七	四七,七一〇	三六,七六三	三,四一六	四〇,一七九
滋	賀	一四九,九九〇	一五,八八六	一六五,八七六	一四九,八八八	一四,八八二	一六四,七七〇	一三九,七二二	九,九〇九	一四九,六三一
岐	阜	一一三,五八八	一五,一五〇	一二八,七三八	一一三,五八八	一五,一五〇	一二八,七三八	九二,九九六	八,七二二	一〇一,七一八
長	野	一四六,六六八	五,三二一	一五二,〇八九	一四六,六六八	五,三二一	一五二,〇八九	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
宮	城	一五三,四七五	五,八八六	一五九,三六一	一五三,四七五	五,八八六	一五九,三六一	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
福	島	一〇七,六九四	一,二八四	一〇八,九七八	一〇七,六九四	一,二八四	一〇八,九七八	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
岩	手	一〇七,七七四	三	一〇七,七七四	一〇七,七七四	三	一〇七,七七四	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
青	森	九九,七四六	一	九九,七四六	九九,七四六	一	九九,七四六	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
山	形	一九三,〇七七	五,八八三	一九八,九六〇	一九三,〇七七	五,八八三	一九八,九六〇	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
秋	田	一七四,三三九	一	一七四,三三九	一七四,三三九	一	一七四,三三九	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
福	井	一〇三,九九六	三三三	一〇四,三三〇	一〇三,九九六	三三三	一〇四,三三〇	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
石	川	一四四,五〇七	三五〇	一四四,八五七	一四四,五〇七	三五〇	一四四,八五七	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
富	山	一六九,六四七	二八〇	一七〇,九二七	一六九,六四七	二八〇	一七〇,九二七	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
島	取	七五,八九五	三六三	七六,二五八	七五,八九五	三六三	七六,二五八	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
島	根	一〇六,四三六	一五三	一〇六,五八九	一〇六,四三六	一五三	一〇六,五八九	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九

府縣別	種別	大正八年			大正九年			大正十年		
		水稻支米	陸稻支米	合計	水稻支米	陸稻支米	合計	水稻支米	陸稻支米	合計
東	京	二七四,九九九	八,二三四	二八三,二三三	二七四,八二二	九,二五八	二八四,〇八〇	二〇七,七三〇	七,九九七	二一五,七二七
大	阪	九三,七七〇	四〇三	九三,一七三	九三,七七〇	四〇三	九三,一七三	七〇,三三九	一,五三三	七一,八七二
神	奈	一五三,九九八	六四七	一五四,六四五	一五三,九九八	六四七	一五四,六四五	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
兵	庫	四七,七五二	六六三	四八,四一五	四七,七五二	六六三	四八,四一五	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
長	崎	三,五三〇,二八四	一,一七二	三,五三一,一一二	三,五三〇,二八四	一,一七二	三,五三一,一一二	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
新	潟	三〇五,〇七四	三,八〇四	三〇八,八七八	三〇五,〇七四	三,八〇四	三〇八,八七八	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
埼	玉	一,一八八,四四五	五,二六一	一二四,〇六一	一,一八八,四四五	五,二六一	一二四,〇六一	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
群	馬	六〇,八七一	七,九五一	六八,八二二	六〇,八七一	七,九五一	六八,八二二	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
千	葉	三〇七,七五〇	三,九七四	三一〇,七二四	三〇七,七五〇	三,九七四	三一〇,七二四	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
茨	城	一七三,四四六	三,七三三	一七七,一七九	一七三,四四六	三,七三三	一七七,一七九	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
栃	木	一三三,四七七	三,七三三	一三七,二一〇	一三三,四七七	三,七三三	一三七,二一〇	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九
奈	良	八六,四四四	三,九七四	九〇,四一八	八六,四四四	三,九七四	九〇,四一八	一〇九,九九九	九,〇〇〇	一二八,九九九

年別	種別	府縣別									
		水稲支米	陸稻支米								
大正十二年	計	北海道	八八九九〇〇	一五七三二四七	六〇〇八八二六三	六二三四三九九	一八八九一五〇	六三二八二七五	二二九〇一〇〇	一八八九一五〇	
		沖繩	六七〇三五	五五	六八〇八〇	八九二二	一八九二	一八九二	八九二二	一八九二	一八九二
		鹿兒島	一〇三三八〇五	一四六六四	一〇三三八〇五	九四四三三	一〇三三八〇五	一〇三三八〇五	一〇三三八〇五	一〇三三八〇五	一〇三三八〇五
		宮崎	八六九三〇四	八二五九七	八六九三〇四	八二五九七	八六九三〇四	八二五九七	八六九三〇四	八二五九七	八六九三〇四
		熊本	一六四七三三	七三三三三	一六四七三三	七三三三三	一六四七三三	七三三三三	一六四七三三	七三三三三	一六四七三三
		佐賀	一三二五三三	四一三三	一三二五三三	四一三三	一三二五三三	四一三三	一三二五三三	四一三三	一三二五三三
		大分	一三二五三三	四一三三	一三二五三三	四一三三	一三二五三三	四一三三	一三二五三三	四一三三	一三二五三三
		福岡	二五三九二九三	九二六〇	二五三九二九三	九二六〇	二五三九二九三	九二六〇	二五三九二九三	九二六〇	二五三九二九三
		高知	六八九五二	六八九	六八九五二	六八九	六八九五二	六八九	六八九五二	六八九	六八九五二
		愛媛	一四一〇三九	三三三	一四一〇三九	三三三	一四一〇三九	三三三	一四一〇三九	三三三	一四一〇三九
		香川	九九七九九	二五三	九九七九九	二五三	九九七九九	二五三	九九七九九	二五三	九九七九九
		徳島	六三三〇〇	二〇八四〇	六三三〇〇	二〇八四〇	六三三〇〇	二〇八四〇	六三三〇〇	二〇八四〇	六三三〇〇
		和歌山	六六九七五	一三九	六六九七五	一三九	六六九七五	一三九	六六九七五	一三九	六六九七五
		山口	一五二一九四	八八五	一五二一九四	八八五	一五二一九四	八八五	一五二一九四	八八五	一五二一九四
広島	一五二一九四	八八五	一五二一九四	八八五	一五二一九四	八八五	一五二一九四	八八五	一五二一九四		
岡山	一九四二五六	一四八	一九四二五六	一四八	一九四二五六	一四八	一九四二五六	一四八	一九四二五六		
計	五九三三〇六	一五七三二四七	六〇〇八八二六三	六二三四三九九	一八八九一五〇	六三二八二七五	二二九〇一〇〇	一八八九一五〇	六三二八二七五		

年別	種別	府縣別								
		水稲支米	陸稻支米							
大正十三年	計	東都	三六四四五	七六三三九	三六四四五	七六三三九	三六四四五	七六三三九	三六四四五	七六三三九
		京都	七七一三六	四	七七一三六	四	七七一三六	四	七七一三六	四
		大阪	一〇九三三三	一七〇	一〇九三三三	一七〇	一〇九三三三	一七〇	一〇九三三三	一七〇
		神奈川	四三三三七	五七〇五九	四三三三七	五七〇五九	四三三三七	五七〇五九	四三三三七	五七〇五九
		兵庫	三三〇〇五九	四三三	三三〇〇五九	四三三	三三〇〇五九	四三三	三三〇〇五九	四三三
		長崎	五三三三七	三三	五三三三七	三三	五三三三七	三三	五三三三七	三三
		新潟	三九六三三	三八一	三九六三三	三八一	三九六三三	三八一	三九六三三	三八一
		埼玉	一六六五九	一一四三〇	一六六五九	一一四三〇	一六六五九	一一四三〇	一六六五九	一一四三〇
		群馬	六三〇三三	七六三三九	六三〇三三	七六三三九	六三〇三三	七六三三九	六三〇三三	七六三三九
		千葉	一八六五九	九七三三	一八六五九	九七三三	一八六五九	九七三三	一八六五九	九七三三
		茨城	二六九五九	三六三三	二六九五九	三六三三	二六九五九	三六三三	二六九五九	三六三三
		栃木	二二八一九	一八三三七	二二八一九	一八三三七	二二八一九	一八三三七	二二八一九	一八三三七
		奈良	七三三三	四七三	七三三三	四七三	七三三三	四七三	七三三三	四七三
		三重	一〇八九五	二二五	一〇八九五	二二五	一〇八九五	二二五	一〇八九五	二二五
愛知	一八七六七	八〇九九	一八七六七	八〇九九	一八七六七	八〇九九	一八七六七	八〇九九		
静岡	一五三三三	三三三	一五三三三	三三三	一五三三三	三三三	一五三三三	三三三		
山梨	四三三三七	五七〇五九	四三三三七	五七〇五九	四三三三七	五七〇五九	四三三三七	五七〇五九		
計	五九三三〇六	一五七三二四七	六〇〇八八二六三	六二三四三九九	一八八九一五〇	六三二八二七五	二二九〇一〇〇	一八八九一五〇	六三二八二七五	

德島	和歌山	山口	廣島	岡山	鳥根	鳥取	富山	石川	福井	秋田	山形	青森	岩手	福島	宮城	長野	岐阜	滋賀
四〇九八三七	五五七七三一	二七九四九〇	一八七七一八	一五九三三三	八八三九四七	五八一九九九	一五五八六三	一〇七〇三〇〇	九〇四〇六〇	一八〇一八三八	一八八七八九四	一〇三五四五六	一〇三三六〇三	一五七六六一九	一四八一九〇一	一四四〇六四七	一一一〇〇五	一三三三八三
八、三三九	九〇	二九八	七八四	一四一八	一七四	一三六四	一八四	一四三	三二一	四六三三	二四〇九	一三五	九四〇五	八五八一	四、五六一	七、四三	七、六五七	一三四
四一八四七六	五五七、八三二	一、二七九七八	一、二八六五〇三	一、六〇〇、六四九	八八三、二二	五八三、三五五	一、五五〇、四六	一、〇七〇、三四三	九〇四、三七	一、八〇六、四六〇	一、八九〇、三〇三	一、〇三五、五九一	一、〇四三、〇〇八	一、五八三、三〇〇	一、四八六、〇七	一、四四一、三九九	一、二七、七八	一、三、五三、九六六
五四三、九四八	六二、三五六	一、三六〇、四九四	一、一九八、二六七	一、四八五、〇五四	一、〇三九、四九〇	七一九、五〇五	一、六七八、八二三	一、〇四九、九〇	一、〇一六、八八〇	三、〇三〇、九三三	三、〇九五、八八〇	一、〇六二、八四八	一、〇六三、七七	一、五七五、〇八〇	一、六三二、七九四	一、三六、七三六	一、五〇、一五五	一、五〇、一五五
六七八五	九一	四二六	五七三	三、四四	一、〇	一、〇八三	一、六一	三六	二六五	七〇	八八四	一〇	三、〇八九	六、三二	一、八二六	一、八七	五、〇五三	一〇六
五四九、七三三	六二、三六七	一、三八〇、九三〇	一、一九八、八四〇	一、四八三、三九八	一、〇三九、六五〇	七三〇、五八八	一、六七八、九七四	一、〇五〇、三六	一、〇七、四四五	二、〇三二、七三三	二、〇九六、七六四	一、〇六三、〇三三	一、〇六五、八六六	一、五八、四〇六	一、六三三、六〇〇	一、三二八、九三五	一、二四六、二八〇	一、五〇、一六三

香川	愛媛	高知	福岡	大分	佐賀	熊本	宮崎	鹿児島	沖縄	北海道	計
八七六、一三六	九五八、八八三	六、一〇〇、〇〇〇	三、三三、四四七五	九七三、〇三三	一、一〇〇、四六六	一、四、五九、一五四	七六〇、一一三	八六五、五七〇	六二、九六〇	一、四八七、五六一	五、四一、五三、三七
三、五三	一、六六八	五、三七	四、五三七	一、六八六四	九〇一	四、一八、三五	六、三三、七四	一、五九、六四	四六	六五	一、三〇、八八七
八七六、三九一	九六〇、五五一	六、一〇、六二七	三、三、七九〇三	九八九、九三六	一、一〇一、三三七	一、五〇〇、九九九	八、三、五四八六	一、〇三、五一九四	六三、〇〇六	一、四八八、一八六	五、四、四六、一五四
八五三、九四一	九三九、四二二	六、四一、四一八	二、三、五八、二一八	一、〇五、一、九四九	一、二、六八、〇〇〇	一、五、五三、三五二	七、八〇、七二六	八、其、六、二四	五〇、五五六	一、六九六、二八六	五、六、二六、七三九
八一	三、二三四	四、五七	五、一九三	一、六、六、九三	一、〇、八九	六、八、九、三	六、三、七〇八	一、五、四、三、三五	六九	三七三	一、〇〇三、一〇〇
八五三、〇三三	九四一、五四五	六、四一、八七五	二、三、三、五、一一	一、〇、七八、六四三	一、二、七、八、八九	一、六、二、一、六四	八、四、四、四、四	一、〇、二、三、九四九	五〇、六、三三	一、六九六、六五八	五、七、一、七、四四九

第三節 朝鮮

朝鮮ハ殆ンド判ル處米作ニ適スレドモ、就中南部地方ハ氣候溫暖ニシテ稻ノ發育最モ良好ナリ。冬季ニ於ケル寒氣酷烈ナリト雖モ四月以降氣温上騰シテ成育ニ適シ、空氣乾燥セルヲ

以テ米質優良ナリ。唯従前ハ用水設備ノ完カラザリシ爲メ夏季ニ於テ旱魃ナキニアラザリシモ、近來灌溉ノ設備發達シ其ノ數モ漸減セリ。大正九年ヨリ産米増殖ノ目的ヲ以テ爾後約十五箇年ニ亘リ土地改良事業施行ノ計劃ヲ樹テ、銳意其ノ實行ニ努力シツ、アルヲ以テ、將來朝鮮ノ米作ハ其ノ面目ヲ一新スベク、其ノ曉ニ於テハ内地米ノ供給不足ヲ補足シテ餘リアルニ至ルベシ。

大正十二年ニ於ケル朝鮮ノ産米狀況ヲ觀ルニ作付段別百五十五萬三千九百九十九町歩、收穫高一千五百七十七萬四千六百四十五石、段當リ收穫高九十七升九合ニシテ同年中内地ニ向ケ移出シタル數量三百八十七萬五千二百二十三石、價格一億一千二百九十九萬四千二百八十八圓ニ及ベリ。之レヲ併合當時ニ於ケル作付段別百三十五萬二千七百九十六町歩、收穫高千四十萬五千六百十三石、段當リ收穫高七十六升九合ニ比スレバ作付段別ニ於テ一割五分、收穫高ニ於テ四割六分、段當リニ於テ二割七分即チ略内地ト伯仲セル増加ヲ示セリ。

朝鮮ハ南部ト北部トニテハ氣候ノ差異甚シク、南部最モ米作ニ適シ、北進スルニ從ヒ不適ノ度ヲ増加ス。之レ主トシテ氣候ノ影響ニ因ルモノナレドモ、南方ガ北方ニ比シテ人智ノ發達程度ニ於テ勝ルモ亦其ノ一因ナルベシ。即チ全羅南北道、慶尙南北道、京畿道、黃海道地方ニ米産多ク、咸鏡南北道、平安南北道地方ニ少シ。

朝鮮米作付段別並收穫高調

(農商務省調査)

年次	種別	作付段別	收穫高	一段當收穫高	明治四十三年ヲ百トセル指數		
					作付段別	收穫高	一段當收穫高
明治四十四	三	一、三五二、七九六、八	一〇、四〇五、六一三	〇・七六九	一〇〇	一〇〇	一〇〇
明治四十四	四	一、三九九、〇一二、八	一一、五六八、三六二	〇・八二七	一〇三	一一一	一〇八
大正	元	一、四一七、一七四、三	一〇、八六五、〇五一	〇・七六七	一〇五	一〇四	一〇〇
	二	一、四五七、〇七七、九	一二、一〇九、八四〇	〇・八三一	一〇八	一一六	一〇八
	三	一、四八四、〇一三、七	一四、一三〇、五七八	〇・九五二	一一〇	一二六	一一四
	四	一、四九八、〇一九、九	一二、八四六、〇八五	〇・八五八	一一一	一二三	一一二
	五	一、五一八、八四三、八	一三、九三三、〇〇九	〇・九一七	一一二	一三四	一一九
	六	一、五二八、九六一、七	一三、六八七、八九五	〇・八九五	一一三	一三二	一一六
	七	一、五四八、一六九、七	一五、二九四、一〇九	〇・九八八	一一四	一四七	一二八
	八	一、五三七、七九七、二	一二、七〇八、二〇八	〇・八二六	一一四	一二二	一〇七
	九	一、五五五、四〇五、八	一四、八八二、三五二	〇・九五七	一一五	一四三	一二四
	〇	一、五三一、五四五、五	一四、三二四、三五二	〇・九三五	一一三	一三八	一二二
	一	一、五五七、九四八、五	一五、〇一四、二九二	〇・九六四	一一五	一四四	一二五
	二	一、五五〇、三九九、四	一五、一七四、六四五	〇・九七九	一一五	一四六	一二七

朝鮮水陸兩種別作付段別

年 次	種 別	水			陸	合
		梗	稻	計		
明治 四三		一三五五,〇九九	八三六,八八四	一,三九一,〇八三	一,三九一,〇八三	
四四		一三九,一七五	九三三,三五	一,〇七二,五二〇	一,〇七二,五二〇	
大正 元		一三二,一八〇	九〇,六七三	一,〇四三,四九〇	一,〇四三,四九〇	
二		一三五〇,九五〇	八八,五七〇	一,〇四五,五三九	一,〇四五,五三九	
三		一三七九,五八四	八七,六五一	一,〇六七,一六〇	一,〇六七,一六〇	
四		一三八八,一六五	九二,五五五	一,〇八〇,三四〇	一,〇八〇,三四〇	
五		一四三,一五〇	八七,九四五	一,〇二一,三五一	一,〇二一,三五一	
六		一四四,五三六	八四,四三七	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	
七		一四三,七七三	八四,五九〇	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	
八		一四三,七三九	八三,八七〇	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	
九		一四三,一五〇	八二,六八六	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	
一〇		一四三,九〇七	七九,〇五一	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	
一一		一四三,五〇八	七九,〇五一	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	
一二		一四三,六七七	七六,八一一	一,〇一〇,三三七	一,〇一〇,三三七	

(米穀統計ニ依ル)

朝鮮水陸兩種別收穫高

年 次	種 別	水			陸	合
		梗	米	計		
明治 四三		九七五,〇七三	五八三,六〇一	一,〇三〇,七六三	九七五,〇七三	
四四		一,〇七六,九七一	七〇四,四三三	一,一七〇,四一〇	一,〇七六,九七一	
大正 元		一,〇三九,四八六	六三〇,三四九	一,〇七六,九七一	一,〇三九,四八六	
二		一,一三四,三三七	六六六,八三八	一,一〇一,三三五	一,一三四,三三七	
三		一,一三六,〇六一	七五九,〇三五	一,一〇一,三三五	一,一三六,〇六一	
四		一,二〇二,一九三	七一九,八九九	一,二七四,〇九三	一,二〇二,一九三	
五		一,三〇四,三三三	七二七,〇七五	一,三三二,四〇八	一,三〇四,三三三	
六		一,三八九,〇九一	六七三,七九七	一,三六二,八八八	一,三八九,〇九一	
七		一,四四三,〇三六	七三六,三三六	一,四一〇,三七〇	一,四四三,〇三六	
八		一,四〇六,〇九四	七〇四,七七九	一,四一〇,三七〇	一,四〇六,〇九四	
九		一,三五五,八四五	六七五,四三七	一,四一〇,三七〇	一,三五五,八四五	
一〇		一,四三二,一〇九	六八三,四八六	一,四一〇,三七〇	一,四三二,一〇九	
一一		一,四三二,一〇九	六八三,四八六	一,四一〇,三七〇	一,四三二,一〇九	
一二		一,四三二,一〇九	六八三,四八六	一,四一〇,三七〇	一,四三二,一〇九	

(米穀統計ニ依ル)

朝鮮水陸兩種別一段當收穫高

年次別	水		陸		總平均
	米	稻	米	玄米	
明治四三	〇・七七五	〇・七三五	〇・六九六	〇・七二〇	〇・七六九
明治四四	〇・八三五	〇・七三三	〇・七三九	〇・八二〇	〇・八二七
大正元	〇・七七三	〇・八四〇	〇・六九五	〇・七六八	〇・七六七
二	〇・八四〇	〇・九六一	〇・七五三	〇・八三四	〇・八三一
三	〇・九六一	〇・八六六	〇・八六六	〇・九五五	〇・九五二
四	〇・八六六	〇・九二七	〇・七八七	〇・八六一	〇・八五八
五	〇・九二七	〇・九〇四	〇・七九九	〇・九二一	〇・九一九
六	〇・九〇四	〇・九〇八	〇・七九九	〇・八九八	〇・八九五
七	〇・九〇八	〇・八四〇	〇・七八〇	〇・九六一	〇・八九八
八	〇・八四〇	〇・九六七	〇・七〇九	〇・八三三	〇・八二六
九	〇・九六七	〇・九四五	〇・八二七	〇・九三九	〇・九五七
一〇	〇・九四五	〇・九七三	〇・八五九	〇・九六八	〇・九三五
一一	〇・九七三	〇・九八八	〇・八八八	〇・九八一	〇・九六四
一二	〇・九八八	〇・九八八	〇・八八一	〇・九八一	〇・九七九

(米穀統計ニ依ル)

朝鮮米道別作付段別並收穫高

(米穀統計ニ依ル)

道別	大正六年		大正七年		大正八年	
	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
京畿道	一九四六六一	一、三三、三三八	一九九六八一	一、八〇、六二五	二〇〇、四七五	一、〇九、三六八
忠清北道	六六、九九四七	六、九二、三八三	六八、二五五	六、九三、九七八	六九、五九五	五、五〇、五五〇
忠清南道	二〇、〇六八五七	一、五〇、四三四	一六、〇七五九〇	一、六四、〇八三	一六、〇五五〇三	一、一五七、〇三三
全羅北道	一六六、一五三七	一、五〇、八〇九	一六六、六五五	一、五〇、八六一	一六六、九八二	一、四〇、六七九
全羅南道	二〇、五五〇三	一、九六、五五三	二〇、六三二六	二、〇五、一〇四	二〇、七〇六八	二、〇一〇、三三三
慶尙北道	一八六、五九三	一、九七、四二七	一八七、〇五九〇	二、〇三、三三〇	一八七、〇三〇八	二、〇九、〇四五
慶尙南道	二、四三、五五四	一、八〇、〇〇五	二、四四、六七五	一、八八、四三〇	二、四四、一六四	一、二四、一四六
黃海道	一、三〇、四三三	六、三三、八九三	一、三三、二八四	一、三三、九三八	一、三三、一〇五	五、五八、二五三
平安南道	六七、二七五七	五、九三、九三五	六七、八七五	五、九四、七八三	六七、九七五	三、三二、三四
平安北道	七三、三〇六	五、九三、八〇七	七三、三〇八	五、九三、〇六〇	七三、三〇五	三、三二、三四
江原道	七三、三〇六	五、九三、七七六	七三、三〇八	五、九三、〇六〇	七三、三〇五	三、三二、三四
咸鏡南道	三九、二三八七	三、四、六六五	四〇、四三六八	三、四、三二二	四一、三六〇	三、三二、三四
咸鏡北道	六〇、四〇六	三、七、九三四	六三、〇七〇	四、〇、八七五	七二、六六四	四、五、五三
合計	一、五八、九二七	一、三六、七八五	一、五八、六九七	一、五二、九四九	一、五七、七七三	一、三二、八三〇

道別	年別	大正九年		大正十年		大正十一年	
		作付段別	收穫高	作付段別	收穫高	作付段別	收穫高
京畿道	町	三〇,一五五〇七	一八四〇,一六八	三〇,一四四九九	一六六,五九一	三〇,一七九三六	一,五四九四九
忠清北道	町	六九,四八四二	七〇三,八四八	六九,六一八一	六五三,一六	六九,六四七七	六三,三四三五
忠清南道	町	一六〇,六六七〇	一六八四,八六	一六〇,九七一	一,五七七七	一六〇,五七六	一,五七三
全羅北道	町	一六七,〇四六八	一四三,三五二	一六六,七三六〇	一,六五三,四九一	一六六,五七五	一,六六三,六三三
全羅南道	町	三〇,六五〇七	一八七,三〇一	三〇,七〇八一	二〇,九九九〇	三〇,六七七三〇	二,一〇一,六四
慶尙北道	町	一八七,三三〇〇	二,二八二,五元	一八四,八七四	二,〇七九,九	一八五,〇九〇	一,〇九〇
慶尙南道	町	一六四,四六一	一七〇,四九六	一六三,三三九九	一,七六九,八五五	一六四,一四八	一,八五,七九四
黄海道	町	一三,一八四四五	一〇,六八,三五	一三,〇六一〇	七七八,六三	一三,〇六四	七,七〇二
平安北道	町	六七,四六一	六〇,五二九	六八,〇九八	五二,一九九	六八,一四七〇	五三,〇八一
平安南道	町	七〇,九六〇三	五五,〇八四	七二,八九四	五五,八七九	七二,一八四〇	六七,五〇八
江原道	町	七八,〇八九六	六九,五五〇八	七六,九〇二	六九,七二六	七八,〇五〇	七〇,四七四
咸鏡南道	町	四三,〇四六	三八五,四六七	四三,三三七	三三,四九三	四三,九七六	三七,四七四
咸鏡北道	町	七九,〇四四	六四,八八八	八三,八九九	六六,五七五	八,七三七	七,九三三
合計		一,五五五,四〇八	一四,八二,三五三	一,五三一,五四五	一四,三三,四三三	一,五五七,九四八	一五,〇四,三九三

道別	年別	大正十二年	
		作付段別	收穫高
京畿道	町	一九六,六六〇七	一六二,八三五四
忠清北道	町	六九,一〇三三	六八三,一三三
忠清南道	町	一六〇,六九三一	一四九,三七三
全羅北道	町	一六七,五四三〇	一八二,一七八
全羅南道	町	三〇,七六六五五	二二,六九,四六〇
慶尙北道	町	一八四,五〇四三	二二,六五,六七五
慶尙南道	町	一六六,二九一五	二,〇〇五,九九二
黄海道	町	一三〇,九七八	八六五,九五五
平安南道	町	七〇,〇三六七	四九,一四四五
平安北道	町	七六,三三六九	五三,七四〇八
江原道	町	七五,〇三一一	六五,七七八〇
咸鏡南道	町	四三,七三九六	三九,三〇〇六
咸鏡北道	町	九七,五三三六	九二,〇〇八
合計		一,五五〇,三九九四	一四,一七四,六四五

九	五〇四、三三一	四、八四二、三四六	〇八八一	二五二	三一九	一二六
〇	四九九、五五三、六	四、九七五、六七四	〇八八九	二四九	三二七	一二七
一	五一五、三三〇、七	五、四四五、八一四	〇九五〇	二五七	三五八	一三六
一	五一、四七〇、五	四、八六五、二七七	〇七九五	二五五	三二〇	一一一

由來臺灣ハ本邦領土ノ最南部ヲ占メ、北回歸線中央ヲ横切り、位置熱帶ニ跨ルヲ以テ内地ニ比スルトキハ夏季長キモ、最高氣温ニ至リテハ大ナル差異ナシ。之ニ反シ冬季ハ短ク甚ダ温暖ニシテ降雪ナク、結氷ノ如キ領臺以來僅ニ二回ニ過ギズトイフ。南下スルニ從ヒテ氣温益々高く、最南端恒春地方ノ如キ極寒ノ候ト雖モ氣候尙春ノ如ク、爲メニ其ノ名アリト聞ク。今試ニ臺灣各地ニ於ケル平均温度ヲ内地各所ノ温度ニ比較スレバ次ノ如シ。

平均氣温各地比較表(攝氏)

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
臺北	一五二	一四六	一六九	二〇八	二二七	二六八	二八〇	二七八	二六三	二二二	一九七	一六七	二一六
基隆	一五六	一四九	一六五	二〇三	二二二	二六五	二七八	二七七	二六三	二二二	一九七	一六七	二一六
臺中	一五六	一四九	一六五	二〇三	二二二	二六五	二七八	二七七	二六三	二二二	一九七	一六七	二一六
花蓮港	一六七	一七四	一八九	二二八	二四七	二八八	二九六	二七三	二六九	二四四	二二二	一八七	二二四
臺南	一六八	一六七	一八九	二二八	二四七	二八八	二九六	二七三	二六九	二四四	二二二	一八七	二二四

地名	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	平均
臺東	一八九	一八七	二〇七	二二五	二四〇	二七〇	二七五	二七三	二六四	二四四	二二二	一九九	二二四
澎湖	一六四	一五六	一八三	二二〇	二四六	二七〇	二七八	二七七	二六九	二四六	二二五	一九二	二二五
長崎	一五七	一五九	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
下ノ関	一五五	一五三	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
神戸	一四八	一四五	一七二	二〇〇	二二九	二五八	二八七	二七五	二六五	二四四	二二二	一九九	二二四
東京	一四〇	一三七	一六九	一五六	一八五	二一四	二四三	二七二	二六〇	二三九	二一八	一九七	二二四
札幌	一〇八	一〇四	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
大連	一〇八	一〇四	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
京城	一〇〇	一〇〇	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
大泊	一〇〇	一〇〇	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
青島	一〇〇	一〇〇	一八一	一四三	一七九	二一五	二五五	二四三	二二五	一九〇	一六八	一四七	一八一
馬尼拉	二四九	二五三	二六六	二八二	二八五	二九三	二九二	二九〇	二八二	二六七	二五三	二四七	二六七
香港	二五六	二四七	二七一	二二三	二四九	二七二	二七七	二七四	二六九	二四六	二三七	二二〇	二四七

サレバ植物ノ發育甚ダ良好ニシテ、稻作ノ如キ年二回ノ作收ヲ爲シ得。第一期作ハ十一月下旬ヨリ翌年四月下旬マデニ播種、五月中旬ヨリ八月中旬マデニ收穫シ、第二期作ハ第一期作終了直後即チ五月中旬ヨリ八月下旬マデニ播種、十月下旬ヨリ十二月中旬マデニ收穫ス。

期別臺灣米作付段別

一期

年別	水		陸		稻		計
	梗米	糯米	梗米	糯米	小計	計	
明治二九	100,150.6	11,821.1	15,477.8	9,540.0	16,417.8	15,749.7	31,887.5
三〇	19,340.1	11,926.0	22,747.3	6,123.3	28,870.6	28,870.6	31,261.2
三一	14,766.8	11,905.5	19,367.3	1,453.3	20,820.6	20,820.6	26,779.2
三二	13,965.6	11,374.4	10,303.5	6,465.5	16,769.0	16,769.0	26,173.9
三三	15,549.5	13,046.6	12,008.4	1,550.9	13,559.3	13,559.3	27,983.3
三四	14,933.0	11,837.8	6,835.5	9,978.8	16,814.3	16,814.3	26,648.0
三五	16,226.7	11,250.5	17,773.3	9,271.1	27,044.4	27,044.4	29,330.7
三六	17,088.0	11,353.1	15,309.6	8,401.1	23,710.7	23,710.7	29,669.1
三七	18,344.2	11,605.9	14,546.3	9,144.4	23,690.7	23,690.7	31,335.3
三八	19,101.9	11,563.9	13,151.3	8,001.1	21,152.4	21,152.4	32,500.7
三九	19,340.1	11,926.0	13,747.3	6,630.0	20,377.3	20,377.3	32,969.9
四〇	100,150.6	11,821.1	15,477.8	9,540.0	16,417.8	15,749.7	33,887.5
四一							

九〇

大正	水		陸		稻		計
	梗米	糯米	梗米	糯米	小計	計	
四二	100,150.6	11,821.1	15,477.8	9,540.0	16,417.8	15,749.7	31,887.5
四三	19,340.1	11,926.0	22,747.3	6,123.3	28,870.6	28,870.6	31,261.2
四四	14,766.8	11,905.5	19,367.3	1,453.3	20,820.6	20,820.6	26,779.2
元	13,965.6	11,374.4	10,303.5	6,465.5	16,769.0	16,769.0	26,173.9
二	15,549.5	13,046.6	12,008.4	1,550.9	13,559.3	13,559.3	27,983.3
三	14,933.0	11,837.8	6,835.5	9,978.8	16,814.3	16,814.3	26,648.0
四	16,226.7	11,250.5	17,773.3	9,271.1	27,044.4	27,044.4	29,330.7
五	17,088.0	11,353.1	15,309.6	8,401.1	23,710.7	23,710.7	29,669.1
六	18,344.2	11,605.9	14,546.3	9,144.4	23,690.7	23,690.7	31,335.3
七	19,101.9	11,563.9	13,151.3	8,001.1	21,152.4	21,152.4	32,500.7
八	19,340.1	11,926.0	13,747.3	6,630.0	20,377.3	20,377.3	32,969.9
九	100,150.6	11,821.1	15,477.8	9,540.0	16,417.8	15,749.7	31,887.5
〇	19,340.1	11,926.0	22,747.3	6,123.3	28,870.6	28,870.6	31,261.2
一	14,766.8	11,905.5	19,367.3	1,453.3	20,820.6	20,820.6	26,779.2
二	13,965.6	11,374.4	10,303.5	6,465.5	16,769.0	16,769.0	26,173.9

備考 作付段別ハ一甲ヲ九段七畝二十四歩ニ換算シテ計上セリ

九一

年 次	種別		水 米	糯 米	小 計	陸 稻		小 計	計
	梗 米	糯 米				梗 米	糯 米		
明治 二九	三〇		可		二六二四八三			九九九四	三六〇八七七
三〇									
三一									
三二			一五九、五九六		一七二、九〇九			一四四、八四三	一八七、四五一
三三			一四、一〇三		一五七、〇四四			九、五五二	一六六、五九六
三四			一四、四七〇		一五七、三〇七			一、〇〇三	一六八、三一〇
三五			一五、〇三三		一六六、四〇〇			一、九〇八	一六八、三〇八
三六			一七、七三〇		一八四、一三〇			一、八七四	一八六、〇〇四
三七			一五、六九三		一七〇、七〇六			一、五二〇	一七二、二二六
三八			一〇〇、五六五		二〇〇、二六一			一、七四五	二〇二、〇一六
三九			一〇〇、七〇四		二〇一、四〇八			一、七四五	二〇三、一六三
四〇			一一、八〇〇		二一三、二〇六			一、九八〇	二一五、一八六
四一			一一、〇六六		二二四、一四〇			一、八四一	二二五、九八一
四二			一一、八八七		二三六、〇二七			一、六七四	二三七、七〇一
四三			一〇、九三二		二三三、三三六			一、四九〇	二三四、八二六
四四			一一、八〇五		二三三、一四〇			一、七四五	二三四、八九五

年 次	種別		水 米	糯 米	小 計	陸 稻		小 計	計
	梗 米	糯 米				梗 米	糯 米		
大正 元			可		三三、四一三			三三、四一三	三三、四一三
二					三三、六七三			一、七五三	三五、四二六
三					三三、四七五			一、四四三	三四、九一八
四					三三、七〇〇			一、九三七	三五、六三三
五					三三、〇七五			一、〇〇八	三四、〇八三
六					三三、八〇五			一、九八五	三五、七九〇
七					三三、九三三			二、一〇〇	三六、〇三三
八					三三、九三三			二、一〇〇	三六、〇三三
九					三三、九三三			二、一〇〇	三六、〇三三
一〇					三三、九三三			二、一〇〇	三六、〇三三
一一					三三、九三三			二、一〇〇	三六、〇三三
一二					三三、九三三			二、一〇〇	三六、〇三三

合計

年 次	種別		水 米	糯 米	小 計	陸 稻		小 計	計
	梗 米	糯 米				梗 米	糯 米		
明治 二九	三〇		可		一八、七四六			一七、七三八	三六、五三〇
三〇									
三二									
三三									
三四									
三五									
三六									
三七									
三八									
三九									
四〇									
四一									
四二									
四三									
四四									
合計									

合計

年別	水稲			陸稲			合計
	梗米	糯米	小計	梗米	糯米	小計	
明治二九	一七九,四〇六	一四七,四〇一	一,九三九,五七七	九八,二四一	一四一,八四〇	一,三三三,五五五	三,〇五〇,一七二
三〇	一七九,三三七	一三九,〇三三	三,〇六五,三〇〇	七八,〇五二	六六,七八	八四七,三九	三,一五〇,〇三九
三一	一七九,九二五	一八四,〇四五	三,九三三,二六〇	一〇一,〇〇九	一一,六七〇	一一三,六七〇	三,〇六六,八九〇
三二	一七九,八三六	一五九,八九一	三,七四七,二九	八九,五三三	七,一七三	九六,七〇五	三,八三二,四四〇
三三	一七九,七七八	一八九,九三〇	三,五九七,二八	三六,〇六〇	一八,〇四三	五四,一〇三	三,六七七,三〇〇
三四	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
三五	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
三六	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
三七	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
三八	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
三九	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四〇	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四一	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四二	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四三	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四四	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四五	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四六	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四七	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四八	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四九	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
五〇	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇

九九

年別	水稲			陸稲			合計
	梗米	糯米	小計	梗米	糯米	小計	
大正元	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
二	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
三	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
四	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
五	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
六	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
七	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
八	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
九	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
一〇	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
一一	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇
一二	一七九,七二八	一八八,一九九	三,五八八,九六三	三二,八六四	三三,三六三	六六,二二七	三,六五五,一九〇

九八

大正	年別															
	四	三	二	元	四	三	二	一	〇	三	三					
〇・七四九	〇・六七三	〇・一二九	〇・九七三	〇・三三五	〇・八一	〇・一〇四	〇・一〇四	〇・九七〇	〇・二七	〇・八四	〇・一〇四	〇・一一九	〇・九七〇	〇・一六九	〇・九〇九	一・〇三一
〇・五七一	〇・四四九	〇・五六九	〇・五一九	〇・八二三	〇・八五〇	〇・七二四	〇・五七〇	〇・五二六	〇・五六三	〇・五五七	〇・五五〇	〇・六一三	〇・六六二	〇・七七一	〇・四二五	〇・五六〇
〇・七三七	〇・六五八	〇・八四	〇・九四七	一・〇一四	一・〇六二	一・〇七六	〇・九七五	〇・九四三	〇・九九四	〇・九五四	〇・九八三	一・〇九七	〇・九五六	一・一四四	〇・八八〇	一・〇〇八
〇・四五二	〇・六六九	〇・六八九	〇・七二七	〇・八五四	〇・八八三	〇・八七三	〇・七七二	〇・八九二	〇・八九〇	〇・八五七	〇・八二〇	〇・七六七	〇・七六七	〇・九七四	〇・九九一	〇・九六六
〇・三五七	〇・三七六	〇・一六五	〇・二九六	〇・六八三	〇・六四八	〇・八二二	〇・六三六	〇・七五二	〇・七八三	〇・六八四	〇・七五二	〇・五七四	〇・五〇四	〇・六二〇	〇・六〇五	〇・六七七
〇・四四四	〇・六五一	〇・六三二	〇・六九〇	〇・八三八	〇・八五三	〇・八六七	〇・七五五	〇・九四五	〇・九三八	〇・八七一	〇・八四八	〇・七九一	〇・七三三	〇・九三三	〇・九四二	〇・九三一

期別臺灣米一段當收穫高

明治 二九	年別		期		平均
	水	陸	水	陸	
〇・七九八	〇・五二六	〇・七六九	〇・七三四	〇・二九〇	〇・六九九
四九七・四三九	三五六・三〇〇	四三三・七九七	四四四・三三	三六八・五〇	四四九・六七九
四五六・六三六	三四四・五七	三八〇・七七七	三三三・〇五	三三六・三三	四〇四・六二二
四五五・九〇三	三〇〇・六二四	四八六・五七七	三九〇・〇七	一九六・三三	三〇九・七九〇
四〇三・四七七	三二一・三五	四三九・七〇三	三九九・九八	一八六・六六	四〇六・八五六
四二六・八七三	三三四・四〇九	四三三・三八一	三六三・七九	一七四・七八	三八二・二九七
四〇三・六四四	三六四・三五六	四四一・七九〇	三二四・三五	一七〇・八	三三二・三七三
四三〇・三六六	三八八・五九九	四九一・三〇三	三三三・三三	一八三・三八	四八三・八三
三九九・三〇三	三八〇・六三	四七三・七二八	三二二・八三七	一六四・四九	三九九・四八六
四三三・九九九	四一九・三五五	四六三・三五五	三七〇・五七	一九三・三一	三八八・八四八
四〇九・四二〇	四七三・四三二	四五六・六六三	二六〇・五〇	一五七・四	三七五・六四
四三九・三七七	四三八・七四四	四七三・五三三	三三四・三三	一〇〇・五	三三四・三三
四六三・七〇四	五七四・二〇	五二二・二六四	三三三・三七七	九二・七三	三四六・五〇
四一七・六九三	四八七・七三	四六四・七六六	一九四・五三	五九・九六	三〇〇・五二

100

地方別作付段別竝收穫高

地方別	作付段別		收穫高		一段當收穫高	
	一期	二期	計	一期	二期	計
臺北	三〇、五四〇〇	二六、五五九六	五七、〇九九六	三八、五五九六	一八、五四〇〇	五七、〇九九六
宜蘭	一七、四八二八	一六、三三八九	三三、八七一七	一八、二四九九	一五、五六一八	三三、八七一七
桃園	三〇、一九二八	二六、九四六八	五七、一三九六	三八、〇八〇六	一八、〇五九〇	五七、一三九六
新竹	二六、五七七六	二二、四二二三	四七、九〇〇〇	三七、九八八三	一三、九一一七	四七、九〇〇〇
臺中	五二、三〇〇〇	四七、三三六六	九九、六三六六	七二、五七七七	二七、〇五八九	九九、六三六六
臺南	八、三三三三	八、四九九八	一六、八三三一	九、〇八四七	七、七四八四	一六、八三三一
嘉義	一四、四九九九	三九、三三〇三	五三、八三〇二	二二、六六一二	三一、一六九〇	五三、八三〇二
合計	一四、四九九九	三九、三三〇三	五三、八三〇二	二二、六六一二	三一、一六九〇	五三、八三〇二

一	一	一	一	一	一	一
二	一	〇	九	八	七	六
五	六	七	八	九	〇	一
一〇	一	二	三	四	五	六
一五	一	二	三	四	五	六
二〇	一	二	三	四	五	六
二五	一	二	三	四	五	六
三〇	一	二	三	四	五	六
三五	一	二	三	四	五	六
四〇	一	二	三	四	五	六
四五	一	二	三	四	五	六
五〇	一	二	三	四	五	六
五五	一	二	三	四	五	六
六〇	一	二	三	四	五	六
六五	一	二	三	四	五	六
七〇	一	二	三	四	五	六
七五	一	二	三	四	五	六
八〇	一	二	三	四	五	六
八五	一	二	三	四	五	六
九〇	一	二	三	四	五	六
九五	一	二	三	四	五	六
一〇〇	一	二	三	四	五	六

合 計	大 正 七 年							合 計	年						
	花蓮港	臺東	阿 緞	臺南	嘉義	南 投	臺中		新 竹	桃 園	宜 蘭	臺 北	花 蓮 港	臺 東	阿 緞
二、三六六七一	五、二六二九	三、三三八四	八、八七七八	五、四三三八	九、〇二二一	五、九八八五	二、六七〇一	二、八五八九	一、六八〇〇	三、〇五六五	二、三六六七一	四、八三九三	三、一五九九	二、七八三九	八、〇一〇八
一、三〇、九四九八	一、二二、一三七	七、三三〇	三、四八、〇三	四、一八、〇六	四、一八、〇六	四、一八、〇六	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、三〇、九四九八	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三
四、七三、〇七九	六、二八四六	四、〇、八八八	五、〇、八八八	五、〇、八八八	五、〇、八八八	五、〇、八八八	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	四、七三、〇七九	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	四、七三、〇七九
二、四、四三三〇	五、六六、四	四、〇、八八八	三、〇、二、三三	三、〇、二、三三	三、〇、二、三三	三、〇、二、三三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	二、四、四三三〇	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	二、四、四三三〇
三、三、三〇、二一八	七、四七、四	四、七、九	三、七、〇、〇	三、七、〇、〇	三、七、〇、〇	三、七、〇、〇	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	三、三、三〇、二一八	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	三、三、三〇、二一八
四、六三、三三〇	六、四、〇八	四、七、九	五、〇、〇、〇	五、〇、〇、〇	五、〇、〇、〇	五、〇、〇、〇	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	四、六三、三三〇	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	四、六三、三三〇
一、二、二五	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、二、二五	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、九七	一、二、二五
〇、八、二二	〇、六、六六	〇、六、六六	〇、六、六六	〇、六、六六	〇、六、六六	〇、六、六六	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	〇、八、二二	一、〇、九七	一、〇、九七	一、〇、九七	〇、八、二二
〇、九、五〇	一、〇、〇九	一、〇、〇九	一、〇、〇九	一、〇、〇九	一、〇、〇九	一、〇、〇九	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	一、〇、六六三	〇、九、五〇	一、〇、〇九	一、〇、〇九	一、〇、〇九	〇、九、五〇

合計	大正十年					合計	正一年				
	花蓮港	臺東	高雄	臺南	臺中		花蓮港	臺東	高雄	臺南	臺中
三六七六五	四七四三三	四〇四三二	一五六七五	一五六七五	一五六七五	三三〇三三七	四六三六七	三七八三九	一五九〇六三	一九八三三	六四四七七六
三八六六五〇	四〇六九五	一四四三三	一四四三三	一四四三三	一四四三三	二五二六七三	三二六七五	一三〇〇七	一五〇〇八六	六六〇七九五	六二五二五三
五二四七二五	八八二二八	五九八八三	八〇〇〇三	八二八三二	八二八三二	五二四九九九	七九〇四三	五〇八五六	八〇九二四八	八五九六三三	二五九九三八
二六〇四〇五	五五〇〇〇	四六一八八	三二五〇三	一五六二四八	一五六二四八	三二七五六〇	五二三四三	四三三四三	三二一九三五	三〇三三三〇	八九七〇五
三二六四八七三	二九九四三	二二二六	四六〇七六	三三五一五	三三五一五	三七一〇一九四	三三三三三	八八〇〇	五三七八八九	五三九八七四	七七五〇二八
四八六五三七	八四九六三	五八三三	七七七八八	四八一三三	四八一三三	五四四八二四	七五七一五	五二二四三	八四九八二四	七三六九四	一六七四七三
一一四七	一一六〇	一一三三	一一三三	一一三三	一一三三	一一八七	一一〇七	一一〇六	一一〇六	一一〇六	一一五五
〇七九六	〇七三六	〇六三	〇八四八	〇九七	〇九七	〇九五〇	〇七四六	〇六七七	〇九七六	〇八〇三	一三六〇
〇九二	〇九四	〇七四	〇七〇	〇六八	〇六八	一〇五五	〇九八	一〇二六	一〇二六	一〇二六	一五三九

一〇六

第五節 内地米生産増加策

本邦内地米ノ生産額ハ毎年概ネ五千八百九十餘萬石ニシテ朝鮮米及臺灣米ノ移入額ハ三百七十萬石外國米ノ輸入額ハ二百五十萬石ナリ。此ノ總計六千五百十餘萬石ヨリ輸出高八萬石朝鮮臺灣樺太ヘノ移出額二十八萬石合計三十六萬石ヲ差引キタル六千四百七十餘萬石ハ即チ内地ニ於ケル總消費額ニシテ内地ニ於ケル産額ニ比シ五百八十萬石ノ不足ヲ告ゲ之ヨリ移入額三百七十餘萬石ヲ控除スルモ尙毎年外國ヨリ二百萬石ノ輸入ヲ仰ガザルベカラザルコトナルナリ。

前述ノ不足額二百萬石ハ現今ノ消費額ヲ基準トシテノ計算ナレドモ我國ノ人口ハ逐年増加ノ傾向ニアリテ此ノ不足米ヲ如何ナル方法ニ依リ補足スルカハ實ニ現時ニ於ケル喫緊ノ問題ナリ。今生産増加策中ノ主タルモノヲ擧グレバ次ノ如シ。

一、農事改良ニ關スルモノ

イ、撰種 同一稻種ニシテ結實多ク穂ノ長サ充分ニシテ枝幹強ク且氣候ノ激變ニ堪ヘ得ルモノヲ撰定スルコト。

ロ、施肥ノ改良 綠肥堆肥類ノ外土壤ノ性質ニ從ヒ豆粕肥料人造肥料燐礦硝石等ヲ使用シ、施肥ノ效力ヲシテ完全且集約的ナラシムルコト。

ハ、栽培法ノ改良 小苗代短冊形等播種發芽ニ適スル方法ニ依リテ栽培シ苗穂ニ對シテハ

最善ノ注意ヲ拂ヒ、害虫ヲ豫防驅除シ、排水灌溉ノ法ヲ改良スルコト。
 二、作業能率ノ増進 一村又ハ數箇村協力シ農具ノ共同使用、執業時間ノ協定、雇傭賃銀ノ一定、公休日、休憩時間ノ制定、共同苗代、共同灌溉、共同採種、共同販賣、娛樂機關ノ設置、教習教養機關ノ設置等ヲ爲スコト。

二、耕地利用ニ關スルモノ
 イ、深耕 深耕ニ因リ多肥蓄積ノ能力ヲ促進シ、根ノ發育蔓延ヲ助長スルコト。
 ロ、耕地ノ整理及擴張 耕地ノ整理擴張ハ耕地ノ利用ヲ目的トスルモノニシテ、米增收策中最モ積極的ナルモノナリ。我國ニ於テハ明治三十二年三月法律第八十二號ヲ以テ耕地整理法制定以來漸次耕地ノ整理及擴張相次デ行ハレ、今ヤ其ノ面目ヲ一新シタルノ觀アリ。其ノ方法ハ所有者間ニ於ケル土地ノ交換、分合又ハ道路、畦畔若ハ溝渠ノ變更、廢置、湖沼ノ埋立等ヲ主トス。政府ハ耕地整理事業補助金ヲ交付シ、開墾地用機械ヲ貸與シ、指導者ヲ派遣シ、機械購入獎勵金ヲ交付スル等之ガ獎勵策ヲ講ジツ、アリ。目下整理及擴張ノ計劃アル土地ノ總面積二十萬三千三百九十九町步、其ノ中畑ヲ除キタル部分ニシテ田ニ變更セラル、モノ五萬四千六百九十五町步、畑ニシテ田ニ變更セラルルモノ二萬四千五百八十六町步ナリ。即チ此ノ計劃ニ依リ水田ノ面積ハ七萬九千二百八十一町步擴大シ、收穫高ハ約百四十萬石ヲ増加スル見込ナリ。

本邦内地ニ於ケル耕地整理事業成績一覽

年度	種別	地區數	計劃面積	耕地擴張見込面積		
				新開	畑也	畑ヲ田ニ變換
大正七年度		四九	三三、四八〇	七、四九〇	四、九七〇	一六、九六〇
八年度		五五	三六、〇九一	一四、〇〇〇	九、二七〇	一三、三三〇
九年度		五九	三七、七六四	一三、九六六	八、八七九	二一、七四三
一〇年度		六四	一八、七七七	三、八四〇	三、七七一	一〇、九三三
一一年度		七〇	五、四四九	一、二六六	一、九六一	三、三三八
一二年度		七九	一〇、九四四	一、七二六	一、三三六	三、三六六
計		三二四	一三〇、九一九	五五、六五五	三三、六五五	一〇、五八六

備考 大正十二年度ノ計劃書完成セルモノ、中ニハ災害ノ爲燒失シ事業不詳ノ爲面積ノミヲ計上シタルモノ二十一地區其ノ計劃面積七、七五五町步、新耕地田二、〇三一町步、畑九一六町步畑ヲ田ニ變換二、三三四町步、計五、二八一町步ヲ含ム。

由來本邦ハ土地ノ面積ニ比シテ人口稠密ニ過ギ、土地ノ利用ハ必然的ニ集約化シ將來ニ於テ最早過去ニ示セルガ如キ作付段別ノ増加ハ期シテ望ミ得ザルモノ、如シ。然レドモ翻ツテ地勢全體ヲ觀察シ、長キ年月ニ互リテ相當ノ勞費ヲ吝ムコトナクバ尙開

墾埋立、開拓又ハ地目變換ニ依リ二百萬町歩ノ耕地ヲ得ベク、田地七十七萬町歩ヲ得ベシ。サレドコハ固ヨリ可能程度ヲ示スニ過ギス、果シテ之ヲ實現シ得ベキカ將又實現スルモ其ニ相當スルノ收穫ヲ得ベキカハ甚ダ疑問ナルベク、一方増加ニ伴フ宅地ノ増加激甚ナルモノアリテ爲ニ田地ノ減少又夥カラザルベシ。今農商務省調査ニ係ル田地擴張見込面積ヲ示セバ次ノ如シ。

田地擴張見込總面積

開墾	開拓	新開	地目變換	計
三三三、一二二町	六二、八九七町	三七四、七七七町	七六九、七九六町	
内譯	各府縣調			
二四八、七二五	六一、八九七	二二〇、八一三	五三一、四三五	
七三、七〇五	北海道廳調		二二七、六六七	
一〇、六九二	國有林野山林局調	一五三、九六四	一〇、六九二	

備考 本調査ハ大正七年十二月末日現在面積ナリ
國有林野ハ大正十二年十二月末日現在面積ニシテ山林局調査ニ依ル。

田地擴張見込地方別調

地方別	種別	開墾	開拓	新開	地目變換	計
北海道	道	七三、七〇五町	二四七	一五三、九六四町	二二七、六六九町	
青森	森	一三、五八五	三四〇	四、八九五	一八、七二七	
岩手	手	一二、八七五	一六	一一、〇五〇	二四、二五五	
宮城	城	五、八七六	一四三	一六七	六、〇五九	
秋田	田	三一、三二九	一〇四	九、〇九二	四二、八五二	
山形	形	五、八一五	一〇四	四、四六五	一〇、三八四	
福島	島	九、二六一	一、三四八	四、八三五	一五、四四四	
茨城	城	一三、三〇八	三、五五七	一五、一〇七	三一、九七二	
栃木	木	一四、八九八	一二七	五、五四二	二〇、四四〇	
群馬	馬	三、八八四	八〇	五、〇〇三	九、〇一四	
埼玉	玉	四六二	五、八四四	二、二二四	二、七六六	
千葉	葉	三、七四一	一、九二七	一、九二七	一、五一二	
東京	京	三、七五五	一、六〇〇	一、六〇〇	五、三五五	
神奈川	川	一六、〇六五	二三五	二一、五九八	三七、八九八	
新潟	山	二、四四〇	一三九	一、九六六	四、五四五	
富山	山					

計	沖 鹿 宮 大 熊 長 佐	兒 島 崎 分 本 崎 賀	1100.61	95.62	55.11	95.61	110.83	40.11	115.66	52.45
			3,079	2,311	621	1	1	170	170	631
			1,494	1,126	4	1	1	671	671	2,001
			2,774	2,284	1	1	1	1	1	770
			2,368	2,133	1	1	1	1	1	1,177
			578	811	3	40	3,909	6,533	1,197	7,503
			1,104	2,761	1	95	4,691	1,111	8	7,503
			1,101	1,475	6	1	3,561	1,114	9	2,001
			3,079	2,311	621	1	1	170	170	631
			1,494	1,126	4	1	1	671	671	2,001
			2,774	2,284	1	1	1	1	1	770
			2,368	2,133	1	1	1	1	1	1,177
			578	811	3	40	3,909	6,533	1,197	7,503
			1,104	2,761	1	95	4,691	1,111	8	7,503
			1,101	1,475	6	1	3,561	1,114	9	2,001
			3,079	2,311	621	1	1	170	170	631
			1,494	1,126	4	1	1	671	671	2,001
			2,774	2,284	1	1	1	1	1	770
			2,368	2,133	1	1	1	1	1	1,177
			578	811	3	40	3,909	6,533	1,197	7,503
			1,104	2,761	1	95	4,691	1,111	8	7,503
			1,101	1,475	6	1	3,561	1,114	9	2,001

備考 本調査ニハ國有林野ヲ含まズ

二、農政ニ關スルモノ

- イ、小作農ノ保護 農村ノ不振ハ小作農ノ疲弊ニ因ルコト尠カラザルモノニシテ之ガ保護ハ經濟上、社會上等ヨリ閑却スベキニアラズ。
- ロ、知識ノ開發 著實温健ナル思想ヲ普及セシメ、農村趣味ノ涵養ニ資スル爲メ、實業補習學校ノ普及、農村學校、講習會並農閑學校ノ設立等教育機關ノ完備ヲ圖リ、一方講師ヲ派シテ實地教導ノ任ニ當ラシムルコトハ其ノ主要ナルモノナルベシ。
- ハ、農業倉庫ノ利用 倉庫保管ハ米穀ノ消極的增加策トモ謂フベク、之ガ普及、利用ノ促進ヲ

圖ルハ又米穀増加ノ一策ナリ。

ニ、農業低利資金ノ融通 從來我國ノ金融制度ハ著シク中央ニ集中セラレタル結果、農村ノ資金涸渴シ、加フルニ農業用資金ニ對スル利子歩合ガ他ニ比シテ低カルベキニ現下ノ利率比較的高ク、爲ニ農家ノ生産能力ヲ減殺スルノ甚ダシキモノアリ。農村振興策トシテ農業經營施設ノ改善ヲ要スル今日、農業低利資金ノ融通ハ又必要缺クベカラザルモノナリ。

ホ、農村社會事業ノ獎勵 農村ノ不振ハ農村生活ノ寂寞無趣味ニシテ不便多キ等ニ因由スルモノ亦少カラザルモノナルガ故ニ諸種ノ娛樂、修養機關ノ普及ヲ圖リ、無料施療院等ノ衛生機關ヲ設ケ、住宅改良、宅地道路ノ整理ニ對スル低利資金ヲ融通シ、公會堂、青年會館、運動場、圖書館、巡回文庫等ヲ設ケ以テ農村生活ヲ安樂ナラシムルハ又農村振興ノ一策ナリ。

ヘ、米價ノ庇護 米價ハ直接ニ生産ノ増減ニ影響スルモノナレバ農業ヲ衰弱セシメズ、而モ生活費ヲ過重ナラシメザル程度ニ於テ米價ノ安定ヲ必要トス。然ルニ米價ハ兎角變動多ク、收穫期ニ於テ殊ニ然ルヲ見ル。政府ハ大正十年四月二日法律第三十六號ヲ以テ米穀法(後掲關係法規ノ章參照)ヲ制定シ、米取引界ノ需給ニ從ヒ政府所持米ヲ賣買シテ米價ノ安定ニ努ム。

左ニ帝國農會ノ調査ニ係ル米穀法施行以後ニ於ケル政府米ノ移動經過ヲ掲グ。

年月日	内地米價格	
	東京ニ於ケル内地玄米卸賣價格	大阪ニ於ケル内地玄米卸賣價格
大正十年一月	二七・九一	三六・六二
二月	二六・五四	二九・一四
三月	二五・五二	二六・九六
四月	二五・九二	二六・八八
五月	二六・五〇	二六・九〇
六月	二六・六三	二六・九〇
七月	二七・六四	二八・二六
八月	三〇・八一	三〇・九四
九月	三四・六〇	三三・四〇
十月	三九・五九	三七・四三
十一月	三九・六四	三八・七九
十二月	三八・一八	三七・三一

米穀法運用狀況

◎第一回買上

大正十年五月二十五日 告示
 東京、大阪、神戸、豫定百萬石
 申込期間 六月十日ヨリ六月三十日
 東京 一三六、一三一・六
 大阪 一七六、五五一・六
 神戸 四五、四九六・四
 計 三五八、一七九・六

◎内地米買換

大正十年十二月十日 賣却
 東京、大阪、神戸、合計十二萬石
 十二月十三日買上 同量新米ノ購入發表
 賣却總數
 東京 三九、二九四・石
 大阪 二〇、九六六・八
 神戸 〃
 合計 六〇、二四〇・八
 買入總數
 石 三五、〇〇〇
 二〇、〇〇〇
 二〇、〇〇〇
 七五、〇〇〇

年月日	内地米價格	
	東京ニ於ケル内地玄米卸賣價格	大阪ニ於ケル内地玄米卸賣價格
大正十一年一月	三六・四六	三九・〇三
二月	三六・二七	三八・五九
三月	三五・六四	三七・〇二
四月	三六・三八	三八・四八
五月	三五・八九	三八・〇三
六月	三八・一八	三九・八〇
七月	四〇・六四	四〇・六二
八月	三八・五八	三九・〇五
九月	三四・八三	三六・四七
十月	三一・四八	二二・三八
十一月	二九・九九	三〇・九三
十二月	二七・三三	二八・七〇

◎外米買換

大正十一年五月二十五日發表
 約五萬石
 二十七日 賣却
 東京 一七、一八九・石
 大阪 九、六六七
 神戸 二一、九〇二
 合計 四八、七五八
 買上
 二一、四八五・石
 二三、九八八
 四五、四七三

◎内地米買換

大正十年十二月十日ノ殘額賣却豫定
 大正十一年六月九日發表 同十日買入ノ豫定
 賣却
 東京 一、六九八・石
 大阪 二、五五四・四
 神戸 二、五〇二・四
 計 六、七五四・八 (買入申込給下無シ)

◎外國米買換

大正十一年六月九日
 東京、大阪、神戸、約五萬石ノ豫定
 賣却
 東京 一七、七六八・石
 大阪 九、二八七
 買上
 一一、四五四・石

大正十二年
 一 月 二 月 三 月 四 月 五 月 六 月 七 月 八 月 九 月 十 月 十 二 月

二七・七八
 二九・三八
 三〇・一五
 三一・一八
 三三・二一
 三四・八七
 三四・二三
 三五・〇〇
 三五・二八

二八・五二
 二九・九八
 三〇・五四
 三一・三三
 三二・九二
 三四・八三
 三五・〇五
 三五・二二
 三四・六五
 三二・八九
 三二・四九

◎内地米買換

大正十一年九月四日 六萬七千石賣却シ代米ヲ十二年一月ヨリ三月迄ノ間ニ買換セシコトヲ發表

東京 二二、四七一石
 大阪 一九、〇七一石
 神戸 一五、一九三〇石
 計 五六、七三五石

◎内地米買換

大正十二年一月八日發表 買上約三十五萬石ノ豫定

買入數量 三六五、二二六石

◎第二回買上

大正十二年二月十四日 告示
 場所 東京、大阪、神戸、數量 約百萬石
 申込期間 十二年二月二十日ヨリ三月二十日

東京 六〇、二九四石
 大阪 四七、六六三石
 計 一一、八五四石
 神戸 五九、九〇六石
 門司 五三、九九一石

一一〇

一一、四五四石

◎外米買換

大正十二年八月七日

東京、神戸二箇所 買入豫約十萬石
 東京約五萬石 神戸約六萬石

計 十一萬石買入

◎大震災ノ爲米穀約五十萬石焼失ニ依リ外米ノ關稅撤廢

買入豫定數量 五十萬石

買入時期 十月中約三十萬石十一月中約二十萬石
 場所 東京、大阪、神戸、場合ニ依リ關東、東北ニ二二箇所ヲ置ク

十月分買入數量

東京	一二九、六六四石	六三、九三二石
大阪	七四、三四一	二四、六九〇石
神戸	不明	五、四二四石
計		九四、〇四六石

◎米拂下

第二回ノ十一月分買入數量ハ新米出廻時期ニ變更中止ス
 右五十萬石ノ買上ノ豫定ヲ以テ九月二十六日以來東京芝浦外

一一一

大正十三年
一月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月

三五・九九
三六・三五
三六・六三
三七・九一
三七・六八
三七・六一
三七・八九
三九・三六
三九・八六

三五・七四
三五・七七
三五・七四
三五・九四
三六・〇〇
三六・五五
三七・一四
三八・二六
三八・八三

八箇所ニテ貯蔵米及徴發米等ノ拂下ヲ行フ
十月十五日迄ノ拂下數量

内地米 一八三、五一五石 外國米 二二、四四四石

◎官米拂下
大正十二年十一月二十七日突然發表(隨意契約ニヨル)

大 阪 五萬石 實際賣却數量一萬七千石
神 戶 七千石
計 五萬七千石

命令ノ行違ヒノタメ財界ヲ擾亂シ結局二十九日ニ拂下ヲ中止セル
モ既ニ賣渡米一萬七千石ニ及ブ

◎政府米ノ賣却
大正十三年三月十一日 糶米等一萬五百九十俵

競争入札、落札數八千九百九十七俵
賣レ残り米ハ隨意契約ニテ賣却ノ豫定

◎外米關稅免除延期決定
大正十三年七月三十一日迄

◎政府米賣却
加州米等長期保存ニ適セザルモノ、買換ノタメ

入札期日 大正十三年三月二十七日
場 所 橫須賀市

◎外米買入

大正十三年四月十八日米穀委員會ニテ決定

買入場所 契約ハ東京、受渡シハ各輸入港

買入數量 百萬石内外

買入方法 隨意契約

買入價格 產地ニ於ケル時價

大正十三年四月十九日、三井、三菱、岩井、鈴木、山田、加藤、
金剛ノ七當業者ヨリ外米買入見積書ヲ徵シ査定ノ結果
四月二十一日、合計四十一萬三千五百五十六石ヲ落札セリ

◎救助米拂下

震災救護用殘米ノ長期保存ニ適セザルモノ

大正十三年五月三日 約一萬石 競争入札

賣却數量 三千七百七十石

◎第二回外米買付

大正十三年五月廿六日決行

買入數量 成立數量ヲ四度トス

期 間 輸入稅免除期間内ニ内地ニ到着セル分

場 所 契約ハ東京、受渡ハ各輸入港

買入方法 隨意契約

買入價格 產地ニ於ケル時價

落札數量 五十八萬三千二百七十六石

◎第一回食糧局在米買換

賣却豫定數量

東京(横濱ヲ含ム)約一萬五千石、大阪(神戸所在ヲ含ム)約二萬石、仙臺約六千石、酒田(鶴岡所在ヲ含ム)約一萬石、計五萬一千石
賣却期日

東京 九月二日ヨリ四日迄

大阪 九月三日、四日

仙臺 九月七日

酒田 九月七日

此レニ對スル買入ハ本年十月下旬十三年度内地産米ニツキテ之レヲ行フ豫定ナリ 成績良好

◎第二回内地米拂下

賣却豫定數量

東京約二萬五千石 大阪約三萬六千石

計 約六萬一千石

賣却期日 九月十六日

之レニ對スル買入ハ本年十一月中旬十三年産内地産米ニツキ之レヲ行フ

賣却數量

東京(内地米) 一萬五百四十二石

大阪(内地米) 一萬六千六百二十八石

大阪(支那米) 九千四百五十三石

計 三萬六千六百二十三石

政府所有米量

大正十三年九月一日現在ニ於ケル食糧局所有米總量ハ百七十萬三千石ニシテ其種別並ニ所在地別ハ左ノ如シ

	東京	大阪	神戸	戸	關	門	仙	臺	山	形	四	日	市
内地玄米	九〇,〇〇〇石	一三三,〇〇〇石	三〇,〇〇〇石	三〇,〇〇〇石	五〇,〇〇〇石	五〇,〇〇〇石	五〇,〇〇〇石	三三,〇〇〇石	三三,〇〇〇石	三三,〇〇〇石	三三,〇〇〇石	三三,〇〇〇石	三三,〇〇〇石
内地白米	二二,〇〇〇	外國米(總計) 五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
朝鮮米	一〇,〇〇〇												
加州米	四六,〇〇〇												
支那米	三,〇〇〇												
其他ノ外米	四〇,〇〇〇												
雜米	五,〇〇〇												
計	三三三,〇〇〇	六二四,〇〇〇	五五,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇

總計 一,七〇三,〇〇〇石

内譯 内地米 四七四,〇〇〇石
外國米 一,二二九,〇〇〇石

右ノ内大阪所在ノ内地米十三萬七千石ヲ初メ東京關門、仙臺、山形等ノ内地玄米及支那米共

ノ他外米約二十萬石ハ震災當時ノ米ニシテ買換ヲ要スルモノナレバ、九月十月ニ賣却シ以テ新米出廻期ニ當リテ買上ノ豫定ナリ。

一一六

第六節 生産費

米ハ殆ンド一箇年ノ長期ニ互リ生産セラレ、モノニシテ、生産ノ態様必ズシモ一定セズ、地方ニ依リテ風土慣習ヲ異ニシ、經濟上ノ事情又相同ジカラザルモノアリ。加之農家ニ於ケル統計資料蒐集ノ困難等ヨリシテ之ガ生産費ヲ詳知スルハ容易ノ業ニアラズ。今帝國農會ノ調査ニ係ル大正十一年度米生産費資料調ヲ擧グレバ左ノ如シ。

大正十一年度米生産費資料調

(帝國農會調査)

本調査ハ帝國農會ノ一事業トシテ調査セラレツ、アルモノニシテ調査ノ方式竝ニ資料ノ確實性ト全國的ナルトハ從來ノ生産費調査ニ比シ多大ノ特點ヲ有スルモノナリ。其調査ノ主旨方法ハ大要次ノ如シ。

一、大正十一年度稻作調査

一、道府縣ニ於テ主要ナル米ノ生産地(養蠶園藝等ノ盛ナル地方ハ其地方ニ於ケル主要米産地)ヲ撰ビ自作者、自作兼小作者ニツキ各三人づ、合計九人ノ擔當者ヲ囑託シ全經營ニツキ調査ス。

- 一、調査ハ各擔當者ニ帳簿ヲ置キ記帳集計ニヨル。
- 一、調査事項中肥料ハ、購入セルモノハ其ノ代金ヲ、自家生産ノモノハ市價アルモノハ市價ニヨリ、市價ナキモノハ大工原博士ノ考案セラレタル標準價格ニヨリ算出ス。
- 一、諸材料トハ害蟲驅除用油類、畦畔修繕用木石其他ノ材料等。
- 一、家族勞働賃銀ハ其ノ地方ニ於ケル農用雇人(臨時、常備)ヲ斟酌賃錢ニ準ジテ算出ス。
- 一、家畜ノ勞賃ハ其地方ニ於ケル賃賃借料ニ準シテ算出ス。
- 一、農舍費ハ現在ノ建物ト同様式ノ新築價ヲ見積リ維持年限ヲ五十年トシ新築價ヲ維持年限ニテ割リタル金額ヲ一箇年ノ農舍費ト看做シテ計算ス。
- 一、租稅 諸公課中戸數割ハ土地ヲ目標トシテ賦課シタルモノト看做スベキモノヲ算出シ合計ス。……右ハ其町村ニ於テ耕地ヨリノ收入ノ外ニ收入ナキ純自作農ヲ選ビ其負擔セル戸數割ノ一割(住家ノ坪數ニ配賦セル額)ヲ除キタル殘額ハ土地ヲ所有セルガタメ配賦セラレタルモノト看做シ、之レヲ以テ其町村ニ於ケル標準率ヲ算出シ本調査擔當者ニ適用ス。
- 一、本表道府縣ノ數字ハ其ノ道府縣ノ調査者ノ平均ヲ掲上ス。但シ調査ノ不備ト認メタルモノハ之レヲ除キタルヲ以テ府縣ニヨリ九人ノ平均ノモノ八人又ハ七人ノ平均トナリタルモノアリ。
- 一、本調査ハ大正十一年度ノ調査ニシテ調査項目ノ間ニハ年度ヲ異ニスルモ生産費觀察

一一七

ノ資料トナルモノト、年度ヲ異ニスレバ甚ダシク數字ノ變化スルモノトアルハ公論ノ
コトナリ。

一、生産額(段當)
(二) 自作農(百十八戸)

道府縣	段當收量	收入		計
		米	副産物	
宮城	二二五七	五八〇〇	五四七	六三四七
福島	二七一	六八七四	五九三	七四六六
岩手	二一七〇	五三〇四	七一	六〇一六
青森	二五八三	六六〇四	五七三	七一七七
山形	二七四八	七八〇〇	九五〇	八七五〇
秋田	二二三三	六一二三	五六〇	六六八三
東北區平均	二四六五	六四一七	六五六	七〇七三
埼玉	一八九七	五六七八	八七八	六五五六
群馬	二七二一	七九九九	九七五	八九七四
千葉	二四六八	六九〇九	五三三	七四四一
茨城	二三九四	六一二一	六四九	六七七〇
栃木	二一三四	六〇五四	九二一	六九七五

道府縣	段當收量	收入		計
		米	副産物	
關東區平均	二一九五	六三六五	六六五	七〇三〇
新潟	二一四九	五三七四	四二五	五七九九
石川	二三三五	六二一一	五四六	六七五七
富山	二五四八	五九九七	八九九	六八九六
福井	二四四三	六一一八	二三四	六三五二
北陸區平均	二三六八	五九二五	五二六	六四五一
静岡	二六一三	六九九四	八〇一	七七九五
愛知	二六〇二	七三五六	八九五	八二五一
三重	二七四五	七九三三	五一九	八四五二
山梨	三〇七七	八九九三	八二〇	九八一三
岐阜	二四〇四	七〇〇四	六七六	七六八〇
東海區平均	二六八八	七六五六	七四二	八三九八
京都	二七八五	八二七二	九二〇	九一九二
大阪	三一八	九〇五九	六二六	九六八五
滋賀	三〇二一	八〇二八	一五一七	九五四五
和歌山	二八六〇	七九六七	一五〇六	九四七三
兵庫	二〇六七	九一二二	一二三二	一〇三五四
奈良	二九〇三	八一二五	九七二	九〇九七

(二) 小作農(七十五戶)

道府縣	段當收量	收入	副產額	計
宮城	二,一五四	五,二七〇	四,九二	五,七六二
福島	二,五八七	六,六〇九	六,四二	七,二五一
岩手	二,二五七	五,七五七	八,三〇	六,五八七
山形	三,〇五〇	八,〇八二	八,四四	八,九二六
秋田	二,五八三	六,八三七	八,二二	七,六四九
東北區平均	二,五二六	六,五一一	七,二四	七,二三五
群馬	二,七六八	七,四七〇	七,三八	八,二〇八
茨城	二,七〇〇	七,三九五	四,〇〇	七,七五五
關東區平均	二,七三四	七,三三二	六,一九	七,九九一
新潟	二,〇八〇	五,四一〇	三,九三	五,八〇三
富山	二,二七二	五,九〇九	五,八七	六,四九六
福井	二,六九一	六,八〇三	四,二六	七,二二九
北陸區平均	二,三四八	六,〇四一	四,六九	六,五〇九
岐阜	二,四七七	七,三三六	七,一六	八,〇九二
山梨	三,〇二四	八,七六二	九,七六	九,七三八

一三一

近畿區平均	二,九五九	八,四二九	一一,二八	九,五五七
廣島	二,一五六	五,五六一	六,五九	六,二二〇
山口	一,九八九	五,九六七	四,九五	六,四六二
島根	二,六二一	六,六六五	九,九一	六,七五六
鳥取	二,三二〇	六,八六六	六,八六	七,五五二
中國區平均	二,二六四	六,二六五	七,〇七	六,九七二
愛媛	二,八四一	七,九五四	八,一三	八,七六七
德島	二,五一八	六,七四〇	七,四八	七,四八八
四國區平均	二,六七九	七,三四七	七,八一	八,一三八
宮崎	二,四三七	五,九七一	七,七一	六,七四二
鹿兒島	二,五九九	六,五三九	四,一九	六,九五八
福岡	二,九一八	七,八六一	五,九五	八,四五六
長崎	二,四一五	七,〇一六	六,五〇	七,六六六
大分	二,五八七	六,六七〇	七,四五	七,四一五
佐賀	三,一〇九	八,八二三	四,七四	九,二九七
九州區平均	二,六七七	七,一四七	六,〇八	七,七五五
北海道平均	二,〇二一	四,九三二	四,八〇	五,四〇二
各區平均	二,四九一	六,七三七	七,一一	七,四四八

一三〇

各區平均	北海道平均	九州區平均	鹿兒島	宮崎	大分	長崎	四國區平均	愛媛	香川	中國區平均	島根	山口	近畿區平均	兵庫	大阪	京都	東海區平均	三重大
二・五四三	一・六九五	二・四一八	二・二三三	一・九九八	二・六三六	二・八四〇	二・六六一	三・二一四	二・一〇九	二・六四三	二・八五六	二・四三一	三・三三七	三・一二八	三・〇四六	三・五三九	二・六二六	二・三七九
七〇・八八	四七・五八	七二・一八	六四・四八	五八・九三	七七・七〇	八三・六〇	七六・三二	九一・六一	六一・〇四	六九・八五	六九・二一	七〇・五〇	九七・〇七	九七・八五	八八・八七	一〇四・四八	七六・六四	六八・五四
六・九四	二・八五	五・八三	四・九一	五・五一	五・〇九	七・八一	二・六〇	一・〇三一	一・四八八	六・六二	七・六〇	五・六三	八・九〇	一〇・二八	九・〇一	七・四二	七・五九	五・八六
七七八二	五〇・四三	七七〇一	六九・三九	六四・四四	八二・七九	九一・四一	八八・九二	一〇・九二	七五・九二	七六・四七	七六・八一	七六・一三	一〇・五九七	一〇・八一三	九七・八八	一一・九〇	八四・二三	七四・四〇

一、生產費

甲、直接生產物ノ質量ヲ支配スル生產費(段當)

(一) 自作農(百十八戶)

道府縣	種子代	肥料代	農具費	諸材料	勞人	家畜	合計
宮城	二・〇九五	二・二〇〇	一・五八〇	〇・七六六	二五・一八	一・一二	五一・九四
福島	一・二九三	一・四九七	一・九五六	〇・九六〇	四一・三一	六・三七	六六・八六
岩手	一・八七八	一・六〇四	二・七八一	〇・六八八	三〇・四〇	二・二三	五四・〇三
青森	二・六二〇	一・七二六	二・二〇〇	一・三七〇	三一・七二	五・八八	六一・〇五
山形	一・八二〇	二・五六二	三・四六〇	一・〇九〇	三四・八一	三・七三	七〇・五三
秋田	一・七五〇	一・八四七	二・一八〇	一・六一〇	三一・〇五	〇・三四	五五・四〇
東北區平均	一・九一〇	一・八九二	二・三六〇	一・〇八〇	三三・四一	三・二八	五九・九七
埼玉	一・一三〇	一・五二四	〇・八九〇	一・八五〇	三四・二八	四・八六	五九・二五
群馬	一・二二〇	三・八六三	一・四五〇	一・九三〇	三九・九四	四・二〇	八七・三七
千葉	一・〇九〇	一・四二四	二・九一〇	一・五三〇	三三・七三	四・九二	五八・四六
茨城	一・〇三〇	一・八八五	三・九五〇	三・五〇〇	四〇・七五	八・〇九	七五・一七
栃木	〇・六八〇	二・七五六	二・三八〇	〇・八八〇	三三・三九	一一・三六	七五・二五
東京	〇・七四〇	七・〇七〇	二・六五〇	〇・七七〇	四四・〇六	一・七一	五七・〇〇

廣島	山口	山根	島根	鳥取	中國區平均	愛媛	德島	四國區平均	宮崎	鹿兒島	福岡	長崎	大分	佐賀	九州區平均	北海道區	各區平均
一四五〇	一二五〇	一四三〇	一三八〇	一三三〇	一三三〇	〇六九〇	一〇八〇	〇八八〇	一二六〇	一五一一〇	〇五二〇	一〇二〇	一〇二〇	一〇一〇	一二二〇	二八六〇	一三〇六
二二〇一〇	一五〇二〇	一八七〇〇	一三二〇〇	一七四八〇	一七四八〇	一四九六〇	二一五四〇	一八二五〇	一六〇八〇	九三三八〇	一三九三〇	一三五二〇	一〇一三〇	一四六三〇	一二九五〇	一一二二〇	一六八五五
一七五〇	〇五四〇	二八四〇	一九五〇	一七七〇	一七七〇	四四九〇	二七六〇	三六三〇	二三五〇	二四九〇	一九一〇	〇七八〇	一三三〇	三二九〇	二〇三〇	一四九〇	二四〇一
一〇三〇	一八七〇	二〇五〇	〇三六〇	一三三〇	一三三〇	一六〇	一九二〇	一五四〇	一六三〇	二〇九〇	〇七七〇	一七五〇	三二三〇	一五六〇	一八四〇	一五四〇	一五六一
三九一二	二九四四	三六三〇	四七九一	三八三三	三八三三	三六八八	三五三二	三六一〇	二九四五	二一二二	三五四四	三八九五	二八八六	二九五九	三〇五八	三一六五	三五四六
五〇二	九七五	四九三	四七九	六三五	六三五	八八五	四九二	六八九	七四七	六三四	三二六	六二四	四一七	六七八	五六九	四七四	五〇九
七一三八	五八三	六一二	六九三	六六八	六六八	六七〇	六七五	六七二	五八二	四二九	五五八	六二一	四八九	五七〇	五四二	五三〇	六二六七

關東區平均	新潟	石川	福井	富山	北陸區平均	靜岡	愛知	三重	山梨	岐阜	東海區平均	京都	大阪	滋賀	兵庫	奈良	和歌山	近畿區平均
〇九八〇	一〇二〇	一〇五〇	一一三〇	〇四七〇	〇九二〇	〇九七〇	〇九五〇	〇六六〇	一一七〇	〇四四〇	〇八四〇	〇六七〇	〇九〇〇	〇七〇〇	〇九七〇	一一五〇	〇九四〇	〇九一〇
二〇二七〇	一〇一八〇	一七七七〇	一二九六〇	二八八九〇	一七四五〇	一九七〇〇	一七三四〇	二〇六四〇	二九三七〇	一四〇七〇	二〇二三〇	一二〇八〇	一六四二〇	二二六九〇	九一五〇	一一七四〇	一七四九〇	一四九三〇
二二七〇	三〇七〇	三五九〇	三〇五〇	七〇五〇	三三四〇	二二四〇	三〇七〇	一九〇〇	〇四八〇	〇八四〇	一七一〇	一九五〇	三五九〇	二八九〇	二七二〇	二二四〇	四一六〇	二九二〇
一七四〇	一六〇〇	一九八〇	二〇五〇	一九〇〇	一八八〇	一三三〇	一六七〇	二二二〇	一六五〇	〇一五〇	一四〇〇	一四四〇	二六〇〇	一五九〇	一九七〇	一八一〇	一一〇〇	一七〇〇
三七五三	三一〇八	三六二七	四五二二	三二五八	三六二六	四二〇五	五四一八	三三八五	三〇七三	三七一一	三九四八	四四二二	三四七三	三一七八	三一三二	三九二二	三九八七	三六八五
五八六	二九五	三〇八	五九三	五九三	二九九	三一八	三一六	五九二	一九二	四三三	三七〇	八五〇	四七七	五五三	二七二	一一一七	五三九	六三五
六八七五	四三八八	六三〇九	六八〇三	七六八二	六二九六	六九四七	八〇三七	六五一九	六五三二	五六九四	六七四五	六八五六	六三〇一	六五一八	四八八五	六七四三	六八九五	六三六六

道府縣	種子代	肥料代	農具費	諸材料	勞人	家畜	合計
宮城	二二二	一八三	二二三	〇三五	二四七二	四八三	五二六二
福島	一四	一六二七	一六二	一六一	三六六〇	三〇八	六〇三二
山形	一四三	一五八〇	一七一	〇一六	三二五四	二六二	五四二六
秋田	一八〇	二九八八	四三〇	一三七	四〇六九	〇五三	七八五七
東北區平均	一九八	一七八〇	一六五	一六二	三四五六	四九九	六二六〇
群馬	一七二	一九六二	二二八	一〇二	三三八二	三二一	六一六七
茨城	二〇四	二二一一	三〇〇	一七五	三一六一	三二七	六一八四
關東區平均	一九七	二九二五	一五八	五三三	四二五八	五三七	九四二九
新潟	〇五四	七七九	一七五	二一六	三六〇七	〇六七	四八九八
富山	〇六七	二一〇三	三八三	一九七	三三二〇	六七七	六七四七
福井	〇六五	一三八四	一五二	一五二	三〇四八	三六一	五〇一〇
北陸區平均	〇六二	一四二三	一八六	一八八	三三二五	三六八	五五五一
岐阜	〇四七	九四七	〇二八	〇一六	三二四七	二七五	四五六〇
山梨	〇七一	三二四二	二四一	三四〇	四三四八	二二三	八四七五

道府縣	種子代	肥料代	農具費	諸材料	勞人	家畜	合計
三重大	〇三九	一一二	〇四五	一八六	三七六四	八八三	六〇四〇
東海區平均	〇五二	一七七〇	一〇五	一八一	三七八六	四六四	六三三八
京都	〇七七	一三六〇	三〇一	四二四	五四二四	五五九	八一四五
大阪	〇九〇	一三〇八	二三一	二二三	四一三〇	三九四	六三七六
兵庫	一五五	七七四	三〇四	一九七	四〇九四	三二三	五八四七
近畿區平均	一〇七	一一四七	二七九	二八一	四五四九	四二五	六七八九
山口	一五八	一六六三	〇八八	一六八	二二三五	八二五	五一四一
島根	一五八	一五五〇	一五〇	〇六九	四七八〇	二八二	六九五九
中國區平均	一四三	一六〇七	一一九	一一九	三五〇七	五五五	六〇五〇
香川	一二二	一四二七	二三〇	四八一	四七四七	四八四	七四八一
愛媛	一〇二	三二一三	五二五	〇二七	五〇八七	一三三	一〇二五一
四國區平均	一一二	二二一五	三七三	二四九	四九二七	八九九	八八六六
長門	二六三	二六七一	一一五	二七八	三六三八	七八五	七七六〇
大分	〇九七	一〇二八	二八一	四二四	二五四五	三二一	四五一〇
宮崎	一三〇	一〇一三	二八一	四八四	二九〇八	五八二	五三九八
鹿兒島	〇八三	九三〇	一七二	二八七	三三四八	二二二	五〇四二
九州區平均	一四三	一四二一	一七三	三六六	三一〇〇	四七五	五六七八
北海道	三一	五三八	〇七二	一〇七五	一九九〇	二四一	四二二七
各區平均	一四〇	一六七七	一九六	三二四	三三八六	四六四	六三三七

直接生産ニ關係アルモ支出ノ内容ノ異リタル生産費

(二) 自作農(百十八戸)
農舍費

道府縣	新築價額	同上一年減價額	同上段當減價額
宮城	二、三四九	四六・九八	一・六二
福島	六七六	一三・五二	一・〇四
岩手	一、四八二	二九・六四	一・八六
青森	二、〇五四	四一・〇八	一・八二
山形	三、四二四	六八・四八	二・二四
秋田	一、四八七	二九・七四	一・〇一
東北區平均	一、九一二	三八・二四	一・五八
東京	四六〇	九・二〇	二・三〇
埼玉	一、二六一	二五・二二	一・二五
群馬	六〇三	一一・〇六	二・〇一
千葉	三、四〇七	六八・二四	五・〇一
茨城	二、一九二	四三・八四	五・五五
栃木	四、一九〇	八三・八〇	五・六四

關東區平均	新築價額	同上一年減價額	同上段當減價額
關東區平均	二、〇一九	四〇・三七	三・六三
新潟	四四三	八・八六	六・〇二
石川	二、六〇七	五二・一四	三・一六
富山	一、一五〇	二二・〇〇	二・一三
福井	九五二	一九・〇四	一・八四
北陸區平均	一、二八八	二五・七六	三・三九
靜岡	五四四	一〇・八八	一・〇一
愛知	一、一六八	二二・三六	二・九三
岐阜	七〇四	一四・〇八	一・二九
山梨	一、三二七	二六・五四	三・二二
三重	一、八二五	三六・五〇	二・六六
東海區平均	一、一四	二二・二七	二・三三
京都	一、〇五八	二一・一六	二・一六
大阪	一、三三五	二六・七〇	二・六七
滋賀	六九三	一三・八六	一・三七
奈良	一、七三六	三四・七二	二・六二
兵庫	二、一七三	四三・四六	四・〇六
和歌山	一、一四六	二二・九二	三・〇〇
近畿區平均	一、三五七	二七・一四	二・六五

(二) 小作農(七十五戸)

道府縣	新築價額	同上一箇年減價額	同上段當減價額
宮城	二、〇八八	四、七六六	一、六七
福島	三、三二一	六、四四二	〇、四一
岩手	一、四九〇	二、九八〇	一、九四
山形	六五〇	一三〇〇	〇、八六
秋田	七七三	一、五四四	一、四三
東北區平均	一、〇六四	二、二二九	一、二六
群馬	二二二	四、二四	〇、六五
茨城	二〇〇	四、〇〇	〇、五〇
關東區平均	二〇六	四、二二	〇、五七
新潟	九七	一、九四	〇、〇八
富山	一、四六一	二、八二二	二、四七
福井	三九〇	七、八〇	一、二八
北陸區平均	六四九	一、二六五	一、二八
岐阜	二七八	五、五六	〇、四五
山梨	八三〇	一、六六〇	二、九一
三重	一、〇九五	二、一九〇	一、〇七

一四一

廣島	一、六六八	三、三三六	三、三六
山口	一、七一五	三、四三〇	二、八七
鳥取	一、〇七六	二、一五二	二、四七
島根	一、三〇三	二、六〇六	二、四二
中國區平均	一、四四〇	二、八八一	二、七七
徳島	二、一四二	四、二八二	三、〇八
愛媛	二、三四三	四、六八六	五、九六
四國區平均	二、二四二	四、四八四	四、五二
福岡	九九九	一、九九八	一、五七
佐賀	八三七	一、六七四	〇、九二
長崎	一、四七〇	二、九四〇	二、七〇
大分	八八二	一、七六四	一、五八
宮崎	一、二一六	二、四三二	二、二一
鹿兒島	一、三八九	二、七七八	二、三五
九州區平均	一、一三三	二、二六四	一、八九
北海道平均	一、〇七三	二、一四六	〇、九一
各區平均	一、五〇九	三、〇一七	二、六二

一四〇

東海區平均	京 都	大 阪	兵 庫	近畿區平均	山 口	鳥 根	中 國區平均	香 川	愛 媛	四 國區平均	長 崎	大 分	宮 崎	鹿 兒 島	九 州區平均	北 海 道 區 平均	各 區 平 均
七三四	八二五	七五八	三八五	六五六	八二五	六七一	七四八	四〇〇	一、二〇〇	八〇〇	一八四	二七〇	一、〇七三	五四〇	五五七	四、四〇〇	一、〇八六
一四六八	一六五〇	一五二六	七七〇	一三二二	一六五〇	一三四二	一四九六	八〇〇	二四〇〇	一六〇〇	三六八	五四〇	二一四六	一〇八〇	一〇三四	八八〇〇	二一六八
一四八	二五二	一四一	〇八六	一六〇	一七五	一七七	一七六	一〇五	三九一	二四八	〇三二	〇六六	一九〇	一八七	一一九	二〇九	一五二

一四二

丙、直接生產物ノ質量ニ關係ナキ生產費（段當）
 公課及土地資本利子
 (一)自作農(百十八戸)

道 府 縣	公 課	土 地 賣 買 價 格	土 地 資 本 利 子									
宮 城	福 島	岩 手	青 森	山 形	秋 田	東 北 區 平 均	東 京	埼 玉	群 馬	千 葉	茨 城	栃 木
八二六	九七二	五九五	八三八	一〇九五	七〇三	八三八	一一八七	九七一	一二七一	一〇八四	五八四	六四五
四六五	五六六	六二〇	四五六	六六六	九五六	六二〇	七〇〇	四六二	五〇二	七五〇	八〇〇	八〇〇
一三六八	一六九八	一八六〇	一三六八	一九九八	二八六八	一八六〇	二一〇〇	一三八六	一五〇六	二二五〇	二四〇〇	二四〇〇
一八二四	二二六四	二四八〇	一八二四	二六六四	三八二四	二四八〇	二八〇〇	一八四八	二〇〇八	三〇〇〇	三二〇〇	三二〇〇
二二八〇	二八三〇	三一〇〇	二二八〇	三三三〇	四七八〇	三一〇〇	三五〇〇	二三一〇	二五二〇	三七五〇	四〇〇〇	四〇〇〇
二七三六	三三九六	三七二〇	二七三六	三九九六	五七三六	三七二〇	四二〇〇	二七七二	三〇一二	四五〇〇	四八〇〇	四八〇〇
三三九二	四三四〇	四三九二	三三九二	四六六二	六六九二	四三九二	四九〇〇	三二三四	三五一四	五二五〇	五六〇〇	五六〇〇

一四三

廣島	山口	山根	島根	鳥取	中國區平均	德島	愛媛	四國區平均	福岡	佐賀	長崎	大分	宮崎	鹿兒島	九州區平均	北海道	各區平均
一一·五四	六·九八	一〇·六五	九·六二	九·七〇	一八·五九	一四·八六	一六·七三	一一·二九	一一·八七	一〇·五一	一三·〇四	九·六一	七·八三	一〇·六九	三·三二	一〇·二六	
八〇〇	六〇〇	六〇八	九·九六	七·五一	四〇〇	八·五八	六·二九	七·二六	七·五三	五·二五	五·八七	五·五七	四·五六	六〇一	一·七五	六·二三	
二四·〇〇	一八·〇〇	二九·八八	二二·五三	二二·五三	一一·〇〇	二五·七四	一八·八七	二一·七八	二二·五九	一〇·五〇	一七·六一	一六·七一	一三·六八	一七·一五	五·二五	一八·五九	
三二·〇〇	二四·〇〇	二四·三二	三九·八四	三〇·〇四	一六·〇〇	三四·三二	二五·一六	二九·〇四	三〇·一二	一五·七五	二二·四八	二二·二八	一八·二四	二二·一五	七·〇〇	二四·八二	
四〇·〇〇	三〇·〇〇	三〇·四〇	四九·八〇	三七·五五	二〇·〇〇	四二·九〇	三一·四五	三六·三〇	三七·一五	二一·〇〇	二九·三五	二七·八五	二二·八〇	二九·〇八	八一五	三一〇四	
四八·〇〇	三六·〇〇	三六·四八	五九·七六	四五·〇六	二四·〇〇	五一·九八	三七·九九	四三·五六	四五·一八	二六·二五	三五·二二	三三·四二	二七·三六	三五·一七	一〇·五〇	三七·三一	
五六·〇〇	四二·〇〇	四二·五六	六九·七二	五二·五七	二八·〇〇	六〇·〇六	四四·〇三	五〇·八二	五二·七一	三一·五〇	四一·〇九	三八·九九	三一·九二	四一·一七	一一·二五	四三·五一	

關東區平均	新潟	石川	富山	福井	北陸區平均	靜岡	愛知	岐阜	山梨	三重	東海區平均	京都	大阪	滋賀	奈良	兵庫	和歌山	近畿區平均
九五七	一一·一七	一一·六一	九·一六	九·九七	一〇·四八	一一·六二	一〇·三二	六·六五	九·三三	一〇·一一	九·六一	一一·九五	一一·九九	一一·〇〇	一一·一三	一四·七六	一五·〇七	一三·九八
六六九	六〇〇	七五四	六二五	九一六	七二四	六九三	六九〇	七一二	四七〇	六五〇	六四三	八〇三	一〇·二四	六〇〇	八一〇	七二五	八〇八	七九五
二〇〇七	一八·〇〇	二二·六二	一八·七五	二七·四八	二一·七一	二〇·七九	二〇·七〇	二一·三六	一九·五〇	一九·九二	二四·〇九	三〇·七二	一八·〇〇	二四·三〇	二一·七五	二四·二四	二二·八五	二二·八五
二六七六	二四·〇〇	三〇·一六	二五·〇〇	三六·六四	二八·九五	二七·七二	二七·六〇	二八·四八	一八·八〇	二六·〇〇	二五·七二	三二·一二	四〇·九六	二四·〇〇	二九·〇〇	三二·三二	三一·八〇	三一·八〇
三三四五	三〇·〇〇	三七·七〇	三一·二五	四五·八〇	三六一九	三四·六五	三四·五〇	三五·六〇	二三·五〇	三二·五〇	三三·一五	四〇·一五	五一·二〇	三〇·〇〇	四〇·五〇	三六·二五	四〇·四〇	三九·七五
四〇·一四	三六·〇〇	四五·二四	三七·五〇	五四·九六	四三·四三	四一·五八	四一·四〇	四二·七二	二八·二〇	三九·〇〇	三八·五八	四八·一八	六一·四四	三六·〇〇	四八·六〇	四三·五〇	四八·四八	四七·七〇
四六·八一	四二·〇〇	五二·七八	四三·七五	六四·一二	五〇·六六	四八·五一	四八·三〇	四九·八四	三二·九〇	四五·五〇	四五·〇一	五六·二一	七一·六八	四二·〇〇	五六·七〇	五〇·七五	五六·五六	五五·六五

各	北	九	鹿	宮	大	長	四	愛	香	中	鳥	山	近	兵	大	京	東	三
區	海	州					國	國		國			畿				海	
平	道	區	兒				區	區		區			區				區	
均	區	均	島	崎	分	崎	均	媛	川	均	根	口	均	庫	阪	都	均	重
一〇三六	〇五〇〇	一三三八	〇九〇〇	〇九一三	一六〇〇	一一四〇	一二九五	一三五〇	一二四〇	一四二五	一六五〇	一一二〇	一四六八	一五三三	一三二〇	一五五〇	一一六七	一一〇〇
三一九四	一一〇〇	三一七四	二二九七	二二八一	四七三五	三二八二	三七一六	三八四七	三五八四	三八七一	三九四一	三八〇〇	四五四一	四八八三	三八七一	四八七〇	三四〇八	三一六八

山	岐	北	福	富	新	關	茨	群	東	秋	山	岩	福	宮	道
		陸				東			北						府
		區				區			區						縣
		平				平			平						
梨	阜	均	井	山	湯	均	城	馬	均	田	形	手	島	城	
一四八五	〇九一七	一〇四五	一一五〇	一〇〇〇	〇九八五	一二三五	一一〇〇	一三五〇	一〇九四	一一八三	一二八〇	一〇〇〇	一一〇〇	〇九一〇	量
四三〇六	二七五〇	二六八九	二九〇六	二六〇〇	二五六一	三三三三	三〇〇〇	三六四五	二八二七	三一五〇	三三九二	二五五〇	二八一	二二三二	作
															金
															料
															額

(二)小作者(七十五戸)

三、生産費ノ考察

以上ノ生産費中種子、肥料、農具、諸材料、勞銀、公課ハ實際ノ支出ニテ動かカスベカラザルモノナレドモ家族ノ勞銀ニ付テハ其ノ見積必ズシモ一定セズ。殊ニ農舍ト土地資本利子ニ至リテハ其ノ算定ニ付理論的標準ナキ爲メ見解ニヨリ種々ノ數字ノ算出セラル、モノナリ。農舍ノ新築費ヲ維持年限ニテ割リタル一箇年ノ減價額ハ最小限ノ農舍費ニシテ事實ハ利子修繕費等ノ加算サルベキモ、假リニコノ最小限ノ減價金額ヲ取り、而シテ土地資本利子ヲ年利率三分、四分、五分、六分ノ四様ノ場合ヲ算出スレバ次ノ如シ。

(二)土地資本利子ノ年三分トシタルトキ
自作農平均

農 區 別	段 當 生 産 費		合 計	一石當生産費	段當收入金額
	直接生産費	間接生産費			
東 北 區 平 均	五九・九七	二八・五六	八八・五三	三五・九一	七〇・七三
關 東 區 平 均	六八・七五	三三・九三	一〇二・六八	四四・六二	七二・九一
北 陸 區 平 均	六二・九六	三五・四八	九八・四四	四一・五七	六四・五二
東 海 區 平 均	六七・四五	三一・一二	九八・五七	三六・六七	八三・九八
近 畿 區 平 均	六三・六六	四〇・四二	一〇四・〇八	三五・二七	九五・五七
中 國 區 平 均	六六・五八	三五・〇〇	一〇一・五八	四四・八二	六九・七二
四 國 區 平 均	六七・二九	四〇・〇九	一〇七・三八	四〇・〇八	八一・二七
九 州 區 平 均	五四・二〇	二九・七二	八三・九二	三一・三七	七七・五五
北 海 道 平 均	五三・五〇	九・三八	六二・八八	三一・一一	五四・〇二
各 區 平 均	六二・六七	三一・五二	九四・一九	三七・九二	七四・四七

(二)土地資本利子ノ年四分トシタルトキ
自作農平均

農 區 別	段 當 生 産 費		合 計	一石當生産費	段當收入金額
	直接生産費	間接生産費			
東 北 區 平 均	五九・九七	三四・七六	九四・七四	三八・四五	七〇・七三
關 東 區 平 均	六八・七五	三九・九六	一〇八・七一	四七・二四	七二・九一
北 陸 區 平 均	六二・九六	四二・七一	一〇五・六七	四四・六二	六四・五一
東 海 區 平 均	六七・四五	三七・五五	一〇五・〇〇	三九・〇六	八三・九八
近 畿 區 平 均	六三・六六	四八・三七	一一二・〇三	三七・八六	九五・五七
中 國 區 平 均	六六・五八	四二・五〇	一〇九・〇八	四八・二八	六九・七二
四 國 區 平 均	六七・二九	四六・三八	一一三・六七	四二・四三	八一・二七
九 州 區 平 均	五四・二〇	三五・七三	八九・九三	三三・六二	七七・五五
北 海 道 平 均	五三・五〇	一一・一三	六四・六三	三一・九七	五四・〇二
各 區 平 均	六二・六七	三七・六八	一〇〇・三五	四〇・三八	六七・〇三

(三)土地資本利子ノ年五分トシタルトキ
自作農平均

農 區 別	段 當		合 計	一石當生產費	段當收入金額
	直接生產費	間接生產費			
東北區平均	五九・九七	四〇・九六	一〇〇・九三	四〇・九五	七〇・七三
關東區平均	六八・七五	四六・四八	一一五・二三	五〇・〇七	七二・九一
北陸區平均	六二・九六	四七・四五	一一〇・四一	四六・六三	六四・五一
東海區平均	六七・四五	四三・九八	一一一・四三	四一・四五	六三・九八
近畿區平均	六三・六六	五六・三二	一一九・九八	四〇・五五	九五・五七
中國區平均	六六・五八	五〇・〇二	一一六・六〇	五一・五〇	六九・七二
四國區平均	六七・二九	五二・六七	一一九・九六	四四・七八	八一・二七
九州區平均	五四・二〇	四二・〇一	九六・二一	三五・九七	七七・五五
北海道區平均	五三・五〇	一二・八八	六六・三八	三二・八五	五四・〇二
各區平均	六二・六七	四三・六四	一〇六・三一	四二・七五	七四・四七

(四)土地資本利子ノ年六分トシタルトキ
自作農平均

農 區 別	段 當		合 計	一石當生產費	段當收入金額
	直接生產費	間接生產費			
東北區平均	五九・九七	四七・一六	一〇七・一三	四三・四六	七〇・七三
關東區平均	六八・七五	五三・一七	一二一・九二	五二・九九	七二・九一
北陸區平均	六二・九六	五四・六九	一一七・六五	四九・六七	六四・五一
東海區平均	六七・四五	五〇・四一	一一七・八六	四三・八四	八三・九八
近畿區平均	六三・六六	六四・二七	一二七・九三	四三・二三	九五・五七
中國區平均	六六・五八	五七・五三	一二四・一一	五四・八二	六九・七二
四國區平均	六七・二九	五八・九七	一二六・二六	四七・一三	八一・二七
九州區平均	五四・二〇	四八・〇二	一〇二・二二	三八・二一	七七・五五
北海道區平均	五三・五〇	一四・六三	六八・一三	三三・七一	五四・〇二
各區平均	六二・六七	四九・八八	一一二・五八	四五・二三	七四・四七

四、米價ノ移動ト土地資本ノ利率ヲ異ニシタル生產費(段當)
自作農

農 區 別	段 當 收 入 金 額				同 生 產 費 (直接間接合計)			
	石 參拾圓	同 參拾五圓	同 四拾圓	同 四拾五圓	金 利三分 ノモ	同 四分 ノモ	同 五分 ノモ	同 六分 ノモ
東北區平均	八〇・五二	九六・三三	一〇五・六六	一一七・四八	八八・五五	九七・七四	一〇〇・四四	一〇三・三三

費目	粗生産費 (段當)		玄米生産費 (段當)	
	自作	小作	目	金額
粗収入金額	二七六八	二四六〇	粗代	一六八
副収入金額	一九一〇	一七〇八	粗代	〇二七
支出金額	一七五五	一五六一	袋代	〇四三
勞働代	七八一	七三〇	運賃	〇三八
肥料代	〇二八	〇二八	検査手數	〇〇八
農具費	〇五九	〇五三	其他	〇〇二
其他諸費	一〇四	〇五八	計	一二八六
土地資本利	四七五	七八八	出週期(大正十一年十二月ニ於ケル平均相場)	一三四八
小作料	二一九	〇七〇		
租税公課	六八〇	七七六		

備考 一、本表ハ各州ニ照會シタル調査ヲ平均セルモノナリ。
 二、一石當リノ生産費ノ算出法ハ自作ニアリテハ支出金額ヨリ副産物收入ヲ差引キ
 粗収量ニテ除シ、小作ニアリテハ小作料以外ノ支出金額ヨリ副産物收入ヲ差引キ小
 作人ノ實際取得セル粗収量ニテ除シタルモノナリ。
 三、本島ノ慣習トシテ農家ハ粗ノ盛賣買スルヲ以テ粗生産費ハ農家ニ就テ玄米生産
 費ハ粗摺業者ニ就テ調査セリ。

第三章 消費費

第一節 日本全國ヨリ觀タル米穀消費

日本全國(内地朝鮮臺灣樺太)ヨリ觀タル米ノ消費量ハ最近五箇年平均約八千六十九萬七千石、十箇年間平均七千七百三十九萬石餘ニシテ、別表ニ示スガ如ク殆ンド逐年増加ノ傾向アリ。乃チ大正元年六千九百萬石ニ過ギザリシ消費量ハ、同八年ニ於テ八千萬石ヲ突破シ、同十年ニハ經濟界好況ノ影響ヲ受ケテ八千三百六十五萬石ト未曾有ノ増加ヲ示シ、十一年ハ歐洲戰亂終熄ノ爲經濟界ノ不況ニ因リ八千萬石臺ヲ割リシモ、翌十二年ニ及ビ再ビ八千萬石臺ヲ突破シ八千二百三十二萬石(大正元年ニ比シ約一割九分増加)ニ上レリ。

惟フニ米ノ消費量タル人口ノ増減、財界ノ好不況ニ支配セララル、ハ勿論ナレドモ生産量ニ因由スルコト又看過スルコトヲ得ズ。蓋シ米産額多量ナルトキハ米價ハ自ラ低下シ、購買力増大シテ消費量増加スベク、凶作ナレバ米價ハ騰貴シ、消費ハ節約セラレ、他物ノ代用行ハル、ヲ以テ消費量ハ減少スベケレバナリ。

年次	種別	生産高	貿易		消費高
			輸入額	輸出額	
大正十二年	元	六,四八五,五五〇石	二,〇九六,〇九三石	四,四三三,三三三石	六,九二二,三二二石
十一年	元	六,四六六,六三九石	三,七三三,三五五石	五,八六六,〇〇〇石	六,八六一,四六一石
十年	元	六,六八九,九四七石	三,七六二,六六六石	四,八三三,九九九石	六,九一七,四七四石
九年	元	七,六〇七,七五〇石	五,四七七,七六五石	一,〇〇四,八三〇石	七,五七〇,四三七石
八年	元	七,三三七,二五九石	二,九七三,三六六石	一,一三三,三〇七石	七,二八四,一七八石
七年	元	七,七〇二,六九九石	六,一一〇,六六六石	一,六二二,三三六石	七,六二四,一四三石
六年	元	七,三〇四,六七一石	三,九八四,三三三石	四,三一九,九九〇石	七,六五九,九二四石
五年	元	七,四六二,七三三石	五,八二〇,〇〇三石	二,〇五五,九一一石	八,〇一〇,一三五石
四年	元	七,八四二,六五二石	九,四三三,〇三五石	三,三三三,七三三石	七,九一三,六一三石
三年	元	八,三〇六,八七八石	九,〇七〇,〇四四石	三,三三三,九六四石	八,三三三,〇九八石
二年	元	八,三〇六,八七八石	三,八三三,八四六石	三,八八三,三五五石	七,八一四,一三七石
十一年	元	七,四七〇,七四九石	三,八三三,八四六石	三,八八三,三五五石	七,八一四,一三七石
十二年	元	八,一〇八,七四二石	一,六六一,五三〇石	三,五五七,七三三石	八,三三三,〇九八石

備考 一、輸入超過額欄中符號(-)印ヲ附セルハ輸出超過額ヲ示ス。
 二、消費額ハ産額ニ輸出入差額ヲ加減セルモノニシテ前年度ヨリノ持越米及翌年度
 へノ繰越米額ヲ含マズ。
 三、農商務省調査ニ依ル。

第二節 内地

内地消費量 内地ニ於ケル大正十二年中ノ米ノ消費量ハ前年ノ生産額六千六十九萬石、
 輸移入超過額五百五十一萬石合計六千六百二十萬石(本邦消費米總量ノ約八割)ニシテ、之ヲ人
 口五千七百七十四萬人ニ割當ツルトキハ一人當消費量一石一斗四升七合ニ當ル。今之ヲ明
 治七年ニ比スルニ消費量二千三百九十六萬石ニ於テ實ニ十七割六分、一人當消費量ニ於テ約
 六割二分ノ増加ヲ示セリ。蓋シ明治七年乃至二十八年ニ於テハ國內ノ生活程度低ク爲ニ
 活達ナル消費ヲ見ズ、却テ之ガ輸出超過ヲ見ルノ状態ナリシガ、爾來人口ノ増加及生活程度ノ
 向上甚シキモノアリタレバナリ。

消費額

(持越額ヲ加算セルモノ)

年次	前年ヨリノ持越額	産額	輸移出入額		消費額		翌年へノ持越額	人口
			輸移入額	輸移出額	消費總額	一人當消費額		
大正十二年	三,九二一,五五三石	五,〇五九,三三七石	四,三〇九,九〇〇石	三,六五三,八〇〇石	五,二三三,九六〇石	〇.九八一	五,八四四,九七五	
十一年	五,八四五,九七三石	五,七〇〇,七五二石	三,〇八四,六〇〇石	七,八一六,六五五石	五,八九三,三四七石	一.一三一	六,三三三,〇三二	
十年	六,三三三,〇三二石	五,九四三,四〇七石	二,四三三,三三三石	八,八七〇,〇一一石	五,七八七,二八六石	一.〇七八	五,八二〇,二二四	
九年	五,八四二,三四五石	五,八四二,三四五石	二,五〇五,四五六石	一,〇七四,〇〇六石	六,一三三,九四六石	一.一三七	四,四七四,四四五	

七	四四七四、四三五	五四、五六、三三七	六、五、六、三、三三	四七五、一八九	六〇六、一〇三四	六、七、七、九、七七五	一、四、四	三、六、一、九、二一	五、四、八、四、七、七六
八	三、六、一、九、二一	五、四、七、三、一〇三	九、五、〇、一、三、四三	三、三、九、八、六	九、七、八、一、五、七	六、〇、八、一、四、五五	一、三、五	四、一、六、〇、八、七	五、五、三、〇、〇、六、三九
九	四、一、六、〇、八、七	六〇、八、一、八、六、八	三〇、六、六、七、〇	三、三、一、七、五	二、八、四、三、六、五	六、三、三、一、六、三、四三	一、二、八	五、五、〇、六、八、七	五、五、七、二、一、六、七
一〇	五、五、〇、六、八、七	六三、三、八、五、四、三	四、七、五、七、三	二、八、二、〇、七、五	四、四、七、三、六、九、七	六、五、〇、七、八、三、五	一、五、四	八、一、六、一、三、九一	五、六、三、六、三、四、四
一一	八、一、六、一、三、九一	五、五、一、八、〇、五、三九	七、六、七、一、〇、七、五	八、〇、六、六、六	六、八、〇、四、〇、九	六、三、八、九、六、九、六九	一、〇、三	七、三、〇、五、三、七〇	五、七、〇、四、六、二、四九
一二	七、三、〇、五、三、七〇	六〇、六、九、三、八、五〇	六、三、〇、六、〇、六	六、三、三、二、六	五、五、一、三、七、九〇	六、六、七、七、六、一、八、三	一、二、六	六、七、七、六、七、七	五、七、七、四、〇、五、〇、三

一五八

備考

- 一、其ノ年生産ノ内地米ノ大部分ハ翌年ニ於テ消費セラル、ヲ以テ産額ノ欄ニハ各前年ノ産額ヲ計上セリ。
- 二、消費總額ハ産額ヨリ輸移出超過額ヲ減ジ又ハ之ニ輸移入超過額ヲ加ヘ更ニ前年度ヨリノ持越額及翌年度ヘノ持越額ヲ加減シ算出セリ。
- 三、一人當消費額ハ人口ニテ消費總額ヲ除シテ算出セリ。
- 四、人口ハ内閣統計局調査ニ依ル人口ヲ基礎トシテ算出シタル四月末現在トス。
- 五、本表ノ年度ハ前年十一月一日ニ始リ其ノ年十月末日ニ終ル。
- 六、大正十年以前ノ再輸移出入額、内地朝鮮間外國米移出入額ハ月別調査詳ナラザルニ付曆年ニ依ル。

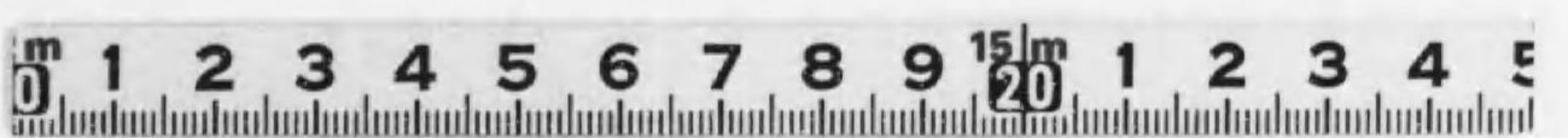
米消費量累年調

内地

(特越米ヲ加算セザルモノ)

種別 年次	産額	輸移入額				輸移出額				消費總額	一人當消費額	人口
		輸入額	移入額	再輸出額	以上合計	輸出額	移出額	再輸出額	以上合計			
明治元	—	83,909	—	—	83,909	—	—	—	—	83,909	—	—
2	—	648,285	—	—	648,285	—	—	—	—	648,285	—	—
3	—	2,150,843	—	—	2,150,843	—	—	—	—	2,150,843	—	—
4	—	167,832	—	—	167,832	—	—	—	—	167,832	—	—
5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	—	7,637	—	—	7,637	—	—	—	—	7,637	—	—
7	24,021,738	4,701	—	—	4,701	62,925	—	—	62,925	58,224	23,963,514	0.706
8	25,914,016	4,096	—	—	4,096	2,282	—	—	2,282	1,514	25,915,830	0.755
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	24,743,351	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	26,630,181	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	25,282,540	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	31,678,249	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14	31,433,740	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	29,971,383	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	30,692,327	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
17	30,542,392	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18	27,131,087	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
19	34,042,773	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20	37,101,424	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	39,999,199	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	38,645,470	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	33,007,566	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
24	43,937,809	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	38,181,405	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26	41,429,676	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
27	37,267,418	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	41,859,047	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
29	39,900,798	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	36,240,351	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
31	33,039,293	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32	47,388,766	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
33	30,698,258	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
34	41,466,422	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
35	46,914,434	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
36	36,932,266	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
37	46,473,298	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
38	51,430,221	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
39	38,172,560	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
40	46,392,530	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
41	49,032,065	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
42	51,933,891	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
43	52,437,662	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
44	46,633,376	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大正元	51,712,433	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	50,222,394	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	50,239,379	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	57,007,511	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	55,294,078	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	58,432,435	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	54,566,227	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8	54,742,102	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	60,818,688	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	63,208,542	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	55,189,539	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	60,693,850	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 1. 其ノ年内産ノ内地米ノ大部分ハ、整年ニ於テ消費セラル、マテ産額ノ額ニハ各前年ノ産額ヲ計上セリ
 2. 輸移入超過額欄中符號一印ヲ附セルハ輸移出超過額ヲ示ス
 3. 消費總額ハ産額ヨリ輸移出超過額ヲ減シ又ハ之ニ輸移入超過額ヲ加ヘタルモノニシテ前年度ヨリ持越額及翌年度ヘノ持越額ハ之ヲ加減セズ
 4. 一人當消費額ハ人口ニテ消費總額ヲ除シテ算出セリ
 5. 人口ハ内閣統計局調査ニ依ル人口ヲ基礎トシテ四月末現在トス
 6. 本表ノ年度ハ前年十一月一日ニ始リ其ノ年十月末日ニ終ル
 7. 明治十年以前ノ輸出額、明治十二年以前ノ輸入額、明治四十二年以前ノ臺灣間移出輸入額、特越米ノ移出輸入額、正十年以前ノ再輸出額、内地朝鮮間外國米移出輸入額ハ月別調査詳テラザルニ付、年ニ依ル



三、米國

種別	大正十年	大正十一年	大正十二年	三箇年平均
輸出	七四九、六一六	六三九、二七三	二一五、四四六	五三四、七七八
輸入	一、三〇三、一八七	三四、七三五	八七六、五七六	七三八、一六六
消費	一、三〇三、一八七	三四、七三五	八七六、五七六	七三八、一六六
人口一人當消費高	四七、五三三、八四五	四七、七〇三、六五四	四七、八五六、〇五二	四七、六九七、八五〇
人口一人當消費高	〇〇、二七四	〇〇、〇〇七	〇〇、一八三	〇〇、一五五

四、佛國

種別	大正十年	大正十一年	大正十二年	三箇年平均
生產	五、一四三、八三二	五、六六二、五六五	四、五四八、一〇四	五、一八一、一六七
輸入	二二九、七六五	一八六、七二一	一四五、三七八	一八七、二八八
輸出	二、一九三、八〇三	一、三三八、〇三一	一、〇六四、三七八	一、五三二、〇七一
消費	一、九六四、〇三八	一、一五一、三一〇	九一九、〇〇〇	一、三四四、七八三
人口一人當消費高	三、一七九、七九四	四、五一、二五五	三、六二九、一〇四	三、七七三、三八四
人口一人當消費高	一〇八、五四〇、八三九	一〇九、九五五、九四七	一一〇、九三八、一四七	一〇九、八一、六四四
人口一人當消費高	〇〇、二九三	〇〇、四一〇	〇〇、三二七	〇〇、三四四

五、獨逸

種別	大正十年	大正十一年	大正十二年	三箇年平均
生產	二〇一	三六九	九四〇、六四一	八〇七、八四九
輸入	七九一、一二四	六九一、七八一	一四七、三七六	一五八、一八二
輸出	一五六、一八二	一七〇、九八七	七九三、二六五	六四九、六六七
消費	六三四、九四二	五二〇、七九四	七九三、二六五	六四九、六六七
人口一人當消費高	六三五、一四三	五二一、一六三	三九、四〇六、二九三	三九、三三四、一二九
人口一人當消費高	三九、二五九、七五九	三九、三三六、三三五	三九、四〇六、二九三	三九、三三四、一二九
人口一人當消費高	〇〇、一六二	〇〇、一三二	〇〇、二〇一	〇〇、二〇一

種別	大正十年	大正十一年	大正十二年	三箇年平均
生產	二、〇九二、六八七	一、一九六、三二二	一、〇一七、九八九	一、四三五、六六六
輸入	二〇〇、〇八八	一〇一、五〇二	一四、八〇八	一〇五、四六六
輸出	一、八九二、五九九	一、〇九四、八二〇	一、〇〇三、一八一	一、三三〇、二〇〇
消費	一、八九二、五九九	一、〇九四、八二〇	一、〇〇三、一八一	一、三三〇、二〇〇
人口一人當消費高	一、八九二、五九九	一、〇九四、八二〇	一、〇〇三、一八一	一、三三〇、二〇〇

人	六二、二五二、五〇〇人
人口一人當消費高	六二、一六六、五〇〇人
人	六二、二七七、五〇〇人
人口一人當消費高	六二、二一五、五〇〇人

一六二

六、伊國

種別	大正十年	大正十一年	大正十二年	三箇年平均
生産高	三、一五七、七一〇石	三、一一一、四八〇石	四、三九〇、〇三〇石	三、五五三、〇七三石
輸入高	五三、八一六	四、五〇二	八、一〇五	二二、一四一
輸出高	一六八、二一六	六四四、一八九	五〇五、九八〇	四三九、四六二
輸出超過高	一一四、四〇〇	六三九、六八七	四九七、八七五	四一七、三二一
消費高	三、〇四三、三一〇人	二、四七一、七九三	三、八九二、一五五	三、一三五、七五三
人口一人當消費高	三八、九八四、三〇三人	三九、二八一、〇二七	三九、五七七、七五一	三九、二八一、〇二七
人口一人當消費高	〇〇、七八一	〇〇、六二九	〇〇、九八三	〇〇、七九八

備考

- 一、本表中外國ノ部ハ一、九二三年度萬國農事協會統計年報ニヨル。
- 二、消費量中ニハ持越米、繰越米ヲ含マズ。
- 三、日本米ノ生産量ハ玄米ニシテ輸出入關係ノモノハ白米ナルモ量僅少ナルヲ以テ玄米トセリ。外國米ハ總テ白米トス。

即チ日本ヲ除ク他ノ強國ニ於ケル米ノ消費量ハ甚ダ少ク一人當消費量僅カニ二三升ニ過ギズ、伊國ニ於テ漸ク七八升ノ消費ヲ見ルノミ、是レ我國民ガ米ヲ常食トスルニ因ル。

府縣別消費量 府縣消費米ノ數重ハ概ネ其ノ人口ノ多寡、米ヲ原料トセル工業ノ發達程度、運輸交通ノ便否等ニ因リテ異ル。今大正十年乃至十二年ノ三箇年平均ニ就テ觀ルニ東京府ノ三百六十三萬石最モ多ク、兵庫、大阪、福岡、愛知ノ府縣之ニ亞ギ、沖繩縣ニ於テ最モ少ク、僅カニ二十六萬石ニ過ギズ。又一人當消費量ノ最モ大ナルハ秋田縣ノ一石三斗四升ニシテ京都、滋賀、石川、兵庫ノ府縣又多ク、沖繩縣最モ少シ。

翻ツテ之レヲ道府縣別生産トノ關係ニ於テ觀ルニ、米ノ生産多キ縣ハ新潟、山形、秋田、愛知、兵庫、福岡、北海道、千葉、茨城、富山、宮城、熊本ニシテ、其ノ中生産額ノ消費額ニ滿タザルハ北海道ノ外、福岡、兵庫、千葉、愛知ノ四縣ナリ。

新潟縣ニ産スル米ハ東京、神奈川、長野ノ府縣ニ、千葉、山形、秋田、宮城ノ諸縣ニ産スルモノハ東京府ニ、茨城縣ニ産スルモノハ東京府及神奈縣ニ、富山縣ニ産スルモノハ大阪、東京兩府ニ、熊本縣ニ産スルモノハ福岡、長崎縣ニ主トシテ移出セラル。

福岡縣ハ熊本縣ノ外尙大分縣等ヨリ、愛知縣ハ福井、石川兩縣ヨリ、北海道ハ秋田縣ヨリ、千葉縣ハ東京府ヨリ、兵庫縣ハ山口、岡山縣等ヨリ供給ヲ仰グ。

外國米ノ供給ヲ受クルコト最モ多キハ兵庫縣ノ九十一萬石、神奈川縣ノ三十二萬石、沖繩縣ノ十六萬石、北海道ノ十三萬石、臺灣米ノ供給ヲ受クルコト多キハ神奈川縣ノ二十七萬石、愛知

縣ノ二十二萬石、東京府及福岡縣ノ十四萬石、兵庫縣ノ十二萬石、朝鮮米ノ供給ヲ受クルコト多キハ大阪府ノ二百四十五萬石、兵庫縣ノ五十二萬石、廣島縣ノ三十五萬石、愛知縣ノ二十二萬石等ナリ。

道府縣ニ於ケル米ノ過不足及消費高調

(食糧局)

道府縣別	種別		
	米ノ過不足高	消費量	
北海道	(-) 一、〇三七、八五七石	二、三二三、三四二石	〇、八九八石
青森	一五六、八六一	八三九、一六五	一、〇八五
岩手	一〇二、一七五	九六四、九四六	一、一〇八
宮城	四六八、〇〇一	一、一六、七七四	一、一四五
秋田	五九六、九〇五	一、二二七、一六二	一、三四一
山形	六五九、三一八	一、二六四、六九九	一、二八六
福島	八五、三四二	一、四五〇、九三九	一、〇三八
茨城	六一五、三七九	一、三一四、七〇四	〇、九五〇
栃木	四八五、六九七	九五八、一二四	〇、八九一
群馬	二四四、八九八	九四二、九六一	〇、八七二
埼玉	二四一、四二〇	一、〇一九、四五六	〇、七五九
千葉	四九三、四六九	一、七三五、四四八	一、二九二

一六四

道府縣別	種別		
	米ノ過不足高	消費量	
東京都	(-) 三、一三三、九八一	三、六二九、〇七五	〇、八九六
大阪府	(-) 四八七、五四〇	一、一七七、七一五	〇、八七五
京都府	(-) 一、一四一、一六二	二、〇〇三、〇二八	一、一五
滋賀縣	(-) 六四八、三五七	九一五、六二二	一、二五一
愛知縣	(-) 一三八、四一〇	九六六、四九二	一、二八四
靜岡縣	(-) 二七二、四七九	七一九、一四〇	一、一六七
岐阜縣	(-) 一三一、四八七	五五三、一七一	〇、九二八
長野縣	(-) 三四四、九二二	一、八一三、〇三三	一、一三二
山梨縣	(-) 三九、六〇六	一、一〇一、七五六	一、〇一〇
福島縣	(-) 一〇七、〇二九	一、四四五、四四八	〇、九〇四
茨城縣	(-) 三九〇、一二一	二、四三四、五六九	一、一二八
栃木縣	(-) 七六、四二六	一、二六九、一四五	一、一七七
群馬縣	(-) 四四四、八九一	九八三、〇五二	一、五〇三
埼玉縣	(-) 八一、六九六	一、七八九、三一六	一、三三八
千葉縣	(-) 一、八八六、八二七	三、〇八九、七九八	一、一一〇
東京都	(-) 六八五、五四四	三、〇五二、九二一	一、二七四
大阪府	(-) 七五、七七七	七〇〇、四六五	一、二二九
京都府	(-) 二二五、五七三	八九三、〇九九	一、一六七
滋賀縣	(-) 一四二、九九三	五六九、五八三	一、二三九

一六五

島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長門	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計
一八四、一四二	四三九、〇二四	三三四、四八七	一八六、八三九	一、五〇二	二八九、三七五	九一、五六七	一六六、二八〇	二九七、四九九	四三九、〇五六	三九四、八四二	六四四、三六一	二〇二、一四八	一九一、八三七	一二四、一七二	(最近三箇年平均) (一)一九八、八〇三	八五六、三二〇
一、二〇六	一、一〇三	一、一四二	一、一八七	〇、八二一	〇、九一六	〇、八九四	一、一八五	一、一六七	〇、八二〇	〇、八二〇	一、〇六四	一、〇六四	一、〇六四	〇、六九五	〇、四三五	一、〇七一
一、三二〇、四八一	一、七八三、六〇八	一、二四九、六八六	五五五、〇二四	六二〇、二一八	九四九、五六四	八〇五、七一〇	二、七〇〇、五九五	七三二、一一四	九五三、八九三	一、〇二二、九六六	九二二、八二四	七一一、七六〇	一、〇一三、四四一	二五九、一七七	五六一、八九〇、二七八	五五六、八九〇、二七八
(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)
一六六																

備考 一、本調査ハ道府縣ニ於ケル米搬出入見込高調ヲ基礎トセルモノナリ。
二、米ノ過不足高ハ搬出入超過高ヲ以テ示ス(一)即ハ不足ヲ示ス。

各府縣ニ於ケル米搬出搬入高調 (大正八年)

三、消費量ハ大正十、十一及十二ノ各年ニ付各前年ノ收穫高及殘存米ヲ合シ之ニ各年ノ搬出入超過高ヲ各加減シ更ニ各年ノ殘存米ヲ控除シタルモノノ三箇年平均ニシテ一人當消費ニ用ヒシ人口ハ統計局ノ調査ニヨル。

府縣	管外搬出高	管外搬入高	搬出入超過高
北海道	五六、六八三	一、三二六、六六五	(一) 一、二六九、九八二
東北	四七二、〇二六	二四三、三四八	二二八、六七八
東關東	四八八、六二六	五五、四一八	四三三、二〇八
茨城	五八九、九四七	一一四、九九九	四七四、九四八
栃木	五二九、九九五	八八、三六〇	四四一、六三五
群馬	二五、七三一	二四〇、九二七	二一五、一九六
長野	一〇七、七七〇	四二六、一一七	三一八、三四七
山梨	九、三〇〇	一二六、〇一六	一一六、七一六
新潟	一、二一一、五一八	二六九、六五一	九四一、八六七
富山	七三五、〇四八	七五、七八四	六五九、二六四
石川	二二六、六三三	一一六、四八八	一一〇、一四五
福井	三〇九、四九二	五一、九六〇	二五七、五三二

山	島	島	德	香	愛	高	福	佐	長	大	熊	宮	鹿	沖
口	取	根	島	川	媛	知	岡	賀	崎	分	本	崎	島	繩
三九五、四三九	一六五、八七三	二二五、二三四	二四、九五九	二九〇、三九九	一四六、三三七	九〇五	一六〇、三二三	三九九、八一	一、〇八四、四四八	一八〇、〇二六	六九九、四二一	一七七、一四七	二四九、〇六二	一四、五三四、〇一五
二七三、二〇〇	三七、四八二	七一、二四四	三五、七四九	三〇、一一六	四一、八〇八	一一五、九〇二	五四五、一三八	四四、一五五	一、四九八、〇七六	七九、五二九	六三、四二〇	三七、八〇七	一〇三、二六四	一四、二一四、五四八
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
一二二、二三九	一二八、三九一	一五三、九九〇	一〇、七九〇	二六〇、二八三	一〇四、五二九	一一四、九九七	三八四、八一五	三五五、六五六	四一三、六二八	一〇〇、四九七	六三六、〇〇一	一三九、三四〇	一四五、七九八	三一九、四六七

福	宮	山	秋	岩	青	神	靜	愛	三	岐	滋	京	大	奈	和	兵	岡	廣
島	城	形	田	手	森	川	岡	知	重	阜	賀	都	阪	真	山	庫	山	島
一八九、六三六	四九二、九四一	六九五、四二八	五六六、四〇〇	一五六、五〇四	二九〇、九三三	一三、三九二	一、一七〇	三一五、九〇六	三九一、八四八	一六二、二四二	四二四、七八七	三〇、一七六	三六五、六九〇	一二四、六六五	二〇、三一三	八〇五、六〇六	四六〇、〇〇〇	六四、二二五
一八四、八九一	一四二、二七六	一七六、二三〇	一一七、五二四	一一一、七二二	二三九、〇六四	二六二、二六三	一一、七七二	五五六、二一一	三八四、〇四五	一三八、一二〇	二六、七四八	七七〇、一二八	二、五一二、三三六	四六、三五九	二五〇、六〇四	一、六三六、五〇二	九四、四〇〇	四四〇、九三〇
(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
四、七四五	三五〇、六六五	五一九、一九八	四四八、八七六	四四、七八二	五一、八六九	二四八、八七一	一〇、六〇二	二四〇、三〇五	七、八〇三	二四、一二二	三九八、〇三九	七三九、九五二	二、一四六、六四六	七八、三〇六	二三〇、二九一	八三〇、六九六	三六五、六〇〇	三七六、七〇五